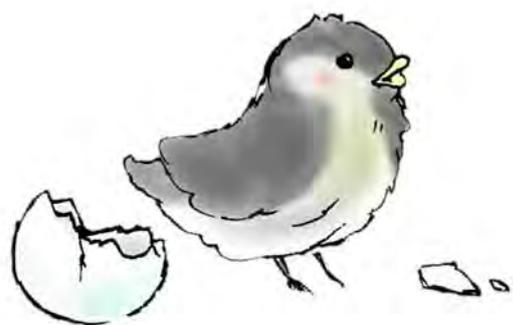


## 第2章

# 公民館10年のあゆみ





## 1 保育室と公民館

子育て中の母親の状況は以前と異なり、パソコンやスマートフォンの普及により、育児等で分からないことをすぐ調べられる時代になった。インターネットの情報は、量が多くどれが正しいのか分かりづらい。子育て事情は常に変化をしており「昔はこうだった（祖母世代）」ということは通用しない。

この10年の保育室の変化としては、保育室併設講座は期間が長くハードルが高そうという声もあり、より多くの市民に講座を受けてもらいたいとの思いから平成23（2011）年度から託児保育付講座も開始された。

保育室併設講座は、保護者の参加経験の少ない方を優先し、全16回程度行っている。テーマに沿った学習のほか、保育室学習会を組み込み、毎回の子どもたちの様子を伝える「保育室だより」を発行している。

これに対し、託児保育付講座は全6回程度と初めての方向けの短い講座で、保育室学習会の実施や保育室だよりの発行はない。

預かるおさんはどちらも月齢満5ヶ月以上を原則としている。

子どもを預けたことのある参加者は保育の質がよいと話す。

公民館の保育室に預けたいと思い再度講座に参加する方も多い反面、働く女性が増え、講座の途中で保育園が決まったからと講座を辞退する人も増えている。幼稚園と違い、育

休となると1歳児での復帰が増え、また、幼稚園のプレ保育が始まり開催曜日によっては2歳児の参加が少なくなった。

最初は子どもと少しでも離れたたい、勉強したい、同じ子育てをしているママ友を作りたい、ママ友と交流したい、という理由で講座に参加する。

出産や育児のエピソードを話す場面で感情的になり涙を流す参加者もいる。子どもを保育室に安心して預けている環境で子育てについて真剣に考え、参加者同士で意見を述べ合う。

親が講座室で学ぶ間、子どもは保育室で異年齢児と交流し、さまざまな経験をする。子どもの年齢は幼稚園のプレが始まった影響で0～1歳の子がほとんどで、入室時は親と離れることが分かり泣く子が多い。しかし、何回か入室をしていると子ども自身が学習し、親と離れ自らの足で入室していく。保育室の中でも自分より小さい子を気にかけてたり、おやつのお当番バッジをつけて0歳の子でも保育者と一緒におやつを運んだりという姿がある。その様子を各回の最後に保育者が参加者に伝える。これを「10分の伝え」と呼んでおり、親から離れている間の保育室の様子が分かる好評である。

0歳児の赤ちゃんを預けている参加者は、泣き声が聞こえて気になったと話さことがある。しかし講座に参加する中で、上記の「10分の伝え」や保育室学習会、保育室だより等で保育者の話から子どもたちの変化していく姿を聞くことで、母親自身も気持ちが切り替わっていく。

保育者に「保育室の中の様子をビデオに撮って、参加者に見せたらどうか？」と提案したことがある。自分が知らない我が子の姿を



平成29年3月 金曜本館保育室&講座を終えて

見るのはよいことだと思ったためである。

保育者の答えは「子どもが保育室でどう過ごしたのか想像するのも親として大切なことだから、ビデオに撮ることはしない」とのことだった。

保育室で預かった子どもたちはこれから先、保育園や幼稚園、小学校へと進んでいく。見えない我が子を想像することも、親の役目なのかもしれない。

平成19(2007)年度 保育室併設講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催	
食事は女性が作るもの？	5月～10月	15	大人 子ども	40 40	現在における女性が置かれている状況を考え合う。	本館
自分らしい子育てを	11月～3月	15	大人 子ども	148 161	家族関係を見つめなおし、子育てについて話し合う。	
手作り絵本教室	10月～3月	15	大人 子ども	206 192	今の想いを絵本に残して子どもに伝えていく。	松林
母親の語り場	6月～10月	15	大人 子ども	69 54	女性自身の生き方、子どもとの関係を振り返り、「家族の絆」と「女性の自立」を語り合う。	白梅
母親の語り場	11月～2月	15	大人 子ども	115 85	「自身の生き方」「子どもとの関係」「夫との関係」についてを中心とした対話型学習会	

平成20(2008)年度 保育室併設講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催	
どうしたらいいの？子育てとテレビ	5月～9月	15	大人 子ども	169 165	子どもの成長発達とテレビ・ビデオの関係を考える。	本館
私が輝いていくために	5月～9月	15	大人 子ども	62 62	子育てをしながら働くために何をすべきかを考える。	
子育てコーチングでお母さんも子どももハッピーになろう♪	11月～3月	15	大人 子ども	201 203	コーチングを通して子どもや自分を好きになる。	松林
手作り絵本教室	10月～3月	15	大人 子ども	204 201	今の想いを絵本に残して未来の子どもに伝えていく。	
私の語り場—なかまと話そう ママ・妻・わたし—	10月～2月	15	大人 子ども	126 163	日常生活、夫や子どもとの関係のなかで感じている事を語り合う。	白梅

平成21(2009)年度 保育室併設講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催	
私再発見！子育て・家庭・仕事 私が私であるために	5月～9月	15	大人 子ども	120 119	子どもの成長・発達を確かめ合い、仕事を視野に入れた生き方設計について語り合う。	本館
心を育む子育てコーチング	11月～3月	15	大人 子ども	171 184	コーチングで子育てのイライラを解消	
食育って何だろう？	5月～10月	15	大人 子ども	140 135	心とからだ・いのちを育む食について考える。	松林
素敵なママ時間	5月～9月	16	大人 子ども	121 105	子育てについて本音で話し合いリフレッシュ	
子育てママの健康づくりのためのホームケア	10月～3月	15	大人 子ども	178 190	母親自身の心身の健康管理や、セルフストレスケアなどの方法を学ぶ。	白梅

平成22(2010)年度 保育室併設講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催	
大切にしたい『私』の時間	5月～10月	18	大人 子ども	222 220	自分の言葉で語り合い、仲間と共に学びあう。	本館
見つめよう私の言葉、育もう心のコミュニケーション	10月～3月	17	大人 子ども	238 220	アサーティブやコーチングの技術を習得し、相手との円滑なコミュニケーションや関係づくりを目指す。	
食育講座	5月～10月	18	大人 子ども	185 165	心とからだ・いのちを育む食について考える。	松林
本音で語ろう、夫のこと、子どものこと、自分のこと	10月～3月	18	大人 子ども	176 157	仲間とのかかわりを通して、自立・人権・社会性を獲得する。	白梅

## 平成23(2011)年度 保育室併設講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
見つめよう私の言葉、育もう心のコミュニケーション(平成22年度延期分)	4月	1	大人 11 子ども 10	アサーティブやコーチングの技術を習得し、相手との円滑なコミュニケーションや関係づくりを目指す。	本館
心も体ものびのび子育て	6月～10月	12	大人 160 子ども 161	モンテッソーリ教育を学習し、子どもの成長に繋がる環境づくりを考える。	
子どもの遊びと心身の発達	9月～11月	10	大人 82 子ども 60	子どもの日常生活や食生活、また、親の役割と育児について理解を深める。	松林
勇気づけでにこにこ子育て	12月～3月	12	大人 153 子ども 156	アドラー心理学の「勇気づけ」について学ぶ。	白梅

## 平成23(2011)年度 託児保育付講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
食育基礎講座	11月～12月	4	49	「食」を見つめなおし、現代の暮らしや子育てに求められている食育の視点を学ぶ。	本館
かわいい手づくり小物	1月～3月	5	48	手縫いや手編みで、お子さんのための小物をつくる。	
暮らしを整理してスッキリ子育て	2月～3月	4	72	ライフオーガナイズの学習を通し、時間や思考を効果的に整理する方法を学ぶ。	
子どもを育て自分を育てる	9月～11月	11	91	コーチングで自分発見をし、30年後の自分を描く。	白梅

## 平成24(2012)年度 保育室併設講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
子どものリズムで子育て	10月～12月	14	大人 176 子ども 175	シュタイナー教育を通し、成長のリズムをはじめ、幼児期の子どもにとって何が必要で大切かを学ぶ。	本館
知っておきたい子育て家庭の経済教室	5月～7月	10	大人 95 子ども 88	「家庭のライフイベント」「安心な生活設計」等について学ぶ。	松林
しゃべり場ー自分のこと、夫のこと、子どものことー	1月～3月	10	大人 98 子ども 87	教育の専門家を交え、次の社会の変化を視野に入れながら子育てを考える。	白梅

## 平成24(2012)年度 託児保育付講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
見つけよう！わたし流時間術	9月～10月	6	63	ライフオーガナイズの学習を通して、時間や思考を効果的に整理する方法を学ぶ。	本館
子育てとセルフカウンセリング	10月～12月	5	22	セルフカウンセリングを学び、子育てを行う親同士及び親子の交流のきっかけづくり	
生活のストレスを脳からリフレッシュしよう！	1月～3月	8	129	ハーブやぬり絵など自宅でも気軽にできる方法で、脳をリフレッシュさせ、日々の活力を養う。	
子どもにとって家の中も危険がいっぱい	11月～12月	6	38	子どもの安全安心を考え、日常の心配事などについて話し合う。	松林
講座就学に向けて考える子どもの教育と支援のかたち	1月～3月	6	60	子どもの将来設計、いじめ・不登校の問題・特性に合わせた支援などをテーマに、サポート方法を学ぶ。	
子どもの成長発達と絵本・おもちゃ	6月～7月	6	47	絵本やおもちゃを媒介として、親子が時間・空間を共有し、ゆったりとした子育てにつなげていく。	白梅
子どもの健康を考える	9月～10月	6	82	放射能問題に重点を置きながら、原子力や放射能に造詣の深い専門家から基礎知識やその実態を学ぶ。	

平成25(2013)年度 保育室併設講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
心も体もゆったり子育て	1月～3月	10	大人 137 子ども 125	他者(夫や祖父母、友人)の力や行政の助けを得ながら、皆で(地域で)子育てを行っていく。	本館
自然で楽しい子育て	9月～12月	11	大人 148 子ども 135	「食べて、動いて、よく寝よう!生活リズム向上大作戦」と、アドラー心理学に基づいた「勇気づけ子育て入門編」を学び、自然で楽しい子育てについて考えていく。	松林
子育てサロン～食育のすすめ	4月～7月	14	大人 114 子ども 100	食についての基礎的な知識を持ち、自分の認識を深めていく。	白梅

平成25(2013)年度 託児保育付講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
子育てエッセイ	6月～7月	5	54	さまざまなエピソードを文章にし、親子の絆を深めたり見つめ直す。	本館
あの人もっと仲良くなる!フォト講座	9月～10月	6	55	写真を活用したコミュニケーション	
心を元気にするアートセラピー講座	11月～12月	5	56	アートセラピーを通して心の内面を作る作業を行い、参加者同士元気になることを考える。	
「再就職準備講座」ママ・主婦の多様な働き方	6月～7月	6	57	就職事情や就職するために必要な準備、求められる知識などを学ぶ。	松林
自分の時間をデザインする	1月～3月	6	58	時間短縮方法やワークライフバランスについて学ぶ。	白梅
あなたも今日から童話作家	9月～10月	7	60	子どもたちに伝えたいメッセージを童話という技法を使い、作品として仕上げていく。	
手づくり絵本教室	10月～12月	7	59	手づくり絵本の創作を通して、オリジナルの作品を一緒に作る楽しさ、喜びを味わう。	

平成26(2014)年度 保育室併設講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
子育て中も自分磨き!女性のためのアサーティブ・トレーニング講座	1月～3月	10	大人 60 子ども 61	「自己を尊重し、相手も尊重する」という考え方・態度により、対等で良好な人間関係を築いていく。	本館
幼児の健康～食事と心から考える～	5月～7月	10	大人 127 子ども 127	栄養・食事と参加者の気質も踏まえた学習を行う。	松林
子育て女性のための心とからだのセルフケア	10月～12月	10	大人 124 子ども 129	ヨーガを中心に実際に体をほぐしながら、日常の中で忘れがちな自己の感覚、こころよさを実感していく。	白梅

平成26(2014)年度 託児保育付講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
ナチュラルに暮らしを楽しむ	11月～12月	5	57	手づくりでバランスが取れた健康的な食生活の習慣をつくり、体調を整える。	本館
親子でランチ!作って食べよう	2月～3月	2	36	親子で料理をつくり、いっしょに食べながら、親子のコミュニケーションを深める。	
手遊び・わらべ歌遊びでリフレッシュ	9月～11月	6	59	手遊びやわらべ歌を学び、体育遊びや道具作りを交え、楽しみながら学習する。	松林
アート&自分再発見 コラージュを作ってみよう	2月	4	60	身近な素材を使って、自由な創造を楽しみ、ストレスを発散する。	白梅
あなたも今日から童話作家	6月～7月	7	61	子どもたちに伝えたいメッセージを童話という技法を使い、作品として仕上げていく。	
子育てと暮らしを語り合う	2月～3月	6	62	子どもを預けることから気づく子どもの変化や日常の暮らしについて参加者同士語り合う。	

## 平成27(2015)年度 保育室併設講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
子育てを応援！ワンデイカフェをプロデュース	10月～3月	16	大人 131 子ども 138	自己の可能性を見つめなおし地域での活動や再就職も見据えながら、ライフプランを考えていく。	本館
目指そう！本気で再就職！あなたも明日からキャリアママ♪	4月～7月	12	大人 80 子ども 91	就職するために必要な知識や、在宅での働き方、起業などについて学ぶ。	松林
子育て女性のための健康づくり教室	10月～12月	12	大人 156 子ども 158	ストレッチ・筋トレ・エアロビクスを中心に体を動かし、健康で体力のある体作りを目指す。	白梅

## 平成27(2015)年度 託児保育付講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
「子どもの気持ちによりそって」～上手に聴いてハッピーコミュニケーション～	6月～7月	5	71	話すことが苦手でも聴くことから始められるコミュニケーション	本館
これでパッチリ入園準備！	9月～10月	5	19	手作りグッズ制作や悩みを解消するための心構え・健康教育など。	
私の毎日を幸せにする！ママのための整理収納講座♪	1月～3月	6	86	家事全般に関わる使い勝手の良い機能的な収納を学習	
「子育て中にリフレッシュ＆リラックスヨガ」お役立ちミニ講座付	9月～10月	4	43	子どもの病気対処法・手当法(病院に行く前の基本的な心得)や親子で一緒にできるマッサージなどについて学ぶ。	松林
子育てと自分を磨く話し方講座	1月～3月	6	60	話し方を学び自分をスキルアップし、子育てや今後の自分の居場所につなげ生かしていく。	白梅
手作り絵本教室	5月～7月	8	83	子どもの誕生や成長、大切な思い出や創作したお話などを絵本にする。	
しゃべり場 ～子育てと暮らしを語り合う～	1月～3月	7	46	子育てや日常の暮らしについて語り合う。	

## 平成28(2016)年度 保育室併設講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
やる気と自信がぐんぐん育つ～勇気づけ子育て～	11月～3月	13	大人 190 子ども 124	褒めるだけの子育てではなく、勇気付けの子育てで親子共に自分らしく生きていけるヒントを見つけ出す。	本館
子育てするなら福生!福生大好きなイキイキママになろう♪	9月～2月	15	大人 107 子ども 129	自分達が暮らす街について知り、また仲間を作ることで、福生に誇りと愛着を持ち、住み続けていく、“福生大好き人”を作っていく。	松林
手作り絵本教室	5月～9月	13	大人 171 子ども 129	今の想いを絵本に残して未来の子どもに伝えていく。	白梅

## 平成28(2016)年度 託児保育付講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
自分で『じぶん』をフォローアップ	6月～10月	11	118	女性が、あらゆる場面でそれぞれ活動していくには何が必要なのかを学ぶ。	本館
実践で悩み解消！わが子のためのクッキング	2月～3月	6	76	安全で健康な生活への意識づくり、食を通しての親同士の交流	
子育て期にこそコミュニケーション力を！	6月～7月	6	71	傾聴、コーチング、ファシリテーションなどを通して、人とのコミュニケーション力を高めあい、互いに心を開くスキルを学ぶ。	松林
～子育てはこれで安心～子育てに大切なことはコレ!	2月～3月	6	84	将来にわたり“生きる力”を育むために大切なことを様々な視点から学ぶ。	
知りたいね、『食』のこと	10月～11月	6	76	子どもの食について学ぶ。	白梅
スッキリ解決！子育ての悩みを話そう	1月～2月	6	43	参加者同士で子育ての悩みを話し、解決していく。	

## 公民館の保育室事業を担う保育者として

公民館保育者 塩川英美・三浦佳江

はじめに

福生市の公民館が創設され、保育室事業が実施されて40年を迎えました。平成23(2011)年度には、1コース約半年間の講座期間となる従来の保育室併設講座に比して、講座期間が短く気軽な参加を促すことを主な目的に、新たに託児保育付講座が開講されました。託児保育付講座開講以来、紆余曲折を経て、平成29(2017)年度は本館・松林分館・白梅分館の3館で年間3コースの保育室併設講座(全16回)、年間5コースの託児保育付講座(全6回)が行われています。

保育室事業は、講座参加者の子ども(未就学児)を保育室で保育者が預かり、その間、親は講座室で学習します。それぞれの講座の学習内容の他、子どもを預け預かることを通して、毎日の生活や育児を共に考えます。

生涯教育(人が生まれてから死ぬまでの学び)を支える公民館において、誰でもいつの時期にも「人と共に学び、人として成長し合えることが大切だ」という考え方は欠かせません。「子どもと母親が共に成長する場」として、公的教育機関である公民館が、幼い子どもを持つ親たちの学習とともに、子どもも親も「人」の中で共に成長する場を保障してきました。

### 社会状況をみると

近年、地域社会の教育力が低下していると言われていています。核家族化の定着で、子どもの周囲におじいちゃん、おばあちゃんがいなくなったこと、近所の子どもたちが集まって遊べるような広場も少なくなり、携帯電話、インターネット、ゲーム機の普及とともに子どもたちが地域や自然に触れ合う機会も減ってきました。

また、夫婦とも就労している共働き世帯の割合は上昇傾向にあり、女性の労働力率の推移から、結婚や出産を機に仕事を離れ、再び就労することを示すM字カーブが年々浅いM字に移行しており、結婚・出産後も就労を継続する女性は増加している傾向にあります。

そうした中、育児休業制度や待機児童ゼロなど国による子育て支援の政策も、子どもを取り巻く環境の変化や景気の動向、社会動態の影響、子育ての多様化などによって、より多くのニーズに対応していく事が課題となっています。福生市においても、児童館や保健センター、福祉センター、子ども家庭支援センターなどで子育て支援の場を持ち、保育園、幼稚園、認定こども園では短時間保育・一時預かり・時間外保育、ファミリーサポー

トセンター事業などさまざまな家庭生活に合わせた支援が行われています。母親を「ほっとさせよう」「ひとりで孤独な育児にさせまい」という目的に沿ってこのような場が考えられています。

父親の意識も時代とともに変化し、家庭を重視する男性が増えてきています。男性が子育てや教育などに参加して家庭生活を充実し、家庭と仕事の両立を図るためには、企業や仕事中心のライフ・スタイルを変えた方がよいと考え、家庭や子育てを大切にす生活へと意識が変わってきていることもうかがえます。

しかし、長時間労働は全体的に減少傾向にあるものの、子育て期にある男性は依然として長時間働き、家事・育児の時間の大半は母親が担っていることが多いのが現状です。

地域社会においては、都市化・過疎化の進行や地域社会の連帯感の希薄化などから地域の子どもの関わりを持つことが少なくなってきました。隣近所の人や地域との繋がりが薄れ、身近に困りごとや不安を気軽に相談できる相手がいないと、誰もが不安に思う小さな子育ての悩みであっても、ひとりで抱え込んで悩んでしまい、孤立していると感じやすいのです。地域で気軽に子育てについて相談できるような相手が少ないという環境面の問題に加え、コミュニケーションの問題、さまざまな親世代の特性なども育児不安に影響を与えています。自分の子育ての悩みについて他人に相談できない人も増えてきています。母親が育児不安を抱え込む前に多種多様な場で相談しやすい環境をつくることが課題となっています。

また、子どもを持った親自身が学ぶ場をどう提供するのが課題となっているのではないのでしょうか。

### 現在の公民館保育室

このような社会状況の中、育児に協力的な夫が「イクメン」と称され増加傾向にあるかのように見える一方、「ワンオペ育児」という言葉に象徴されるような母親の「孤育て」の状況にも警鐘が鳴らされています。地域の繋がりが希薄化している中だからこそ、幼い子どもを育てている親たちが、この時期に仲間を作り、共に学び合い、親子が地域で繋がることで「孤育て」の状況を変え、親と子の人間的成長にとってプラスになるような社会教育の場としても、公民館が果たす役割は大きなものがあります。

公民館保育室は、子どもを預けて共に学び合う中で、自らの暮らしの状況に気付いていけるように、そしてその中から問題をつかんで学習の課題にできるように、さらにその学習を通して自分の生き方をつかめるように支えていきます。

また、公民館保育室では次の三つを保育目標としています。

- ① 子どもの人格を尊重し、人権意識を育てる。
- ② 子どもの自立を支える。
- ③ 子どもの社会性を育てる。

具体的には…

- ① 自分のことを大切にす。人と関わる中で、自分の気持ちに気づき、相手に伝えることを支え、相手の気持ちも大切に受け止める力を育てます。
- ② 自分のことが自分でできた喜びや、やろうとする気持ちが育つように支え、子どもたち一人ひとりが、自分のことは自分で考えて、行動できる力を育てます。
- ③ 仲間たちがそれぞれ信頼し、期待し、一人ひとりが大切にされる関係づくりを支え、一緒にいることが楽しいと思える仲間関係を育てます。

近年、共働き世帯の増加傾向、多様な子育て支援策の充実化に伴い、公民館保育室の利用は低年齢化の傾向にあります。育児休業中の利用、幼稚園プレ入園までの間の利用など〇、1歳児の利用が増加しています。子どもたちの保育室での過ごし方や低年齢児を受け入れる保育体制の充実などには変化はあるものの、この理念のもとに実践していくことが、保育室を便利な託児サービスや子どもの一時的預かり所にしない「公的教育機関として大切な場所」にすることだと思っています。

#### 公民館保育室のこれから

福生市の公民館保育室は、40年間の歴史の中で、さまざまな人たちに支えられ、歩み続けてきました。福生市の子育て支援施策の合言葉「子育てするならふっさ」は「公民館保育室があるからこそ」との利用者の感想も寄せられています。さらに保育室活動がより確かな活動になるよう、保育者同士の研修も定期的に持ち、学習を重ねています。

しかし、公民館保育室は保育者だけの力で成り立つものではありません。職員と保育者によって行われている担当者会議において、講座の学習の視点と、保育室の保育活動の視点を確かめ合い、共通の理解を持って取り組んでいく努力を重ねていく必要があると考えています。

これからも私たちは公民館保育者の役割、認識を持ち、研鑽を重ね続けていきます。

## 保育室併設講座

山田 由美子

私が公民館を初めて利用したのは、平成 18 年 10 月開始の保育室併設講座に参加した時でした。子どもも幼稚園の年中になり、日中時間が空いた事と、子育てに自信もなく不安な日々から抜け出したいという思いから、全く内容も分からないのに気が付けば申し込みをしていました。何故か自宅から一番遠い白梅分館で「私の語り場―仲間と話そう ママ・妻・わたし」という講座でした。

参加者も初めて会うママばかりで、自分の事を話すなんて出来るだろうかとドキドキでしたが、子育てに悩みや不安を抱えていること、夫のこと、親のこと、色んな立場での思いを知り、気持ちを共有できた事で孤独感から救われたように思いました。回を重ねる内に講座に参加するのが楽しみになり、心を許せる仲間と時間と場所が持てたことで、自分自身が変わっていったのを感じました。子育て中に子どもを預けて、学んだり、じっくり話を聞きあったりする場があるなんて思ってもいなかったのですが、参加したことで、日常を振り返ったり、視野が広がったり、自分自身に目を向けたりと生活に余裕が持てることを実感出来ました。子どもに対しての接し方も子育ての考え方も変わったように思いました。もっと早く参加できていればと何度も思った程です。

この講座の中で「公民館の主催事業で 15 回以上の長い期間保育室併設講座を開催している行政は、ほとんど無い。」とのお話を聞き、福生市が子育て支援に力を入れていることを知り、恵まれた環境の中で子育てできることは有難いと思いました。

その後も何度か保育室併設などの講座に参加し、内容も毎回充実していて、講師の方から目から鱗のお話が聞け、参加するのがますます楽しみになりました。また、毎回の講座が終わる前の 10 分間、保育室で親から離れて過ごしている子どもたちの様子を保育者さんから聞いたり、毎回発行される保育室だよりや、保育室学習会に参加する中で、子どもたちを預かっている保育室の雰囲気は温かく、保育者さんたちが子どもたち一人ひとりを丁寧に見てくださり、子どもたちの小さな小さな世界をととても大切にしてくださっているのを感じ、私も自分の子どもを預けて講座に参加したいという思いが強くなり、なんと 6 年振りに子どもを授かることが出来ました！念願の親子で保育室併設講座に申し込みを果たし、保育室での我が子の成長を見ることが出来たのは本当に嬉しかったです。最初に参加した講座のメンバーの第二子、第三子と一緒に保育室に入れたのも心強かったです。保育者さんの言葉に何度も救われ、励まされ、親子で成長することができました。今でも講座の自己紹介の時には第二子のお話をしています。

大袈裟ではなく、保育室併設講座に参加することで、自分の人生が大きく変わったと思います。もちろん良い方입니다。今でも時間が合えば講座に参加していますが、その度に私の人生の道しるべとなり、前に進む後押しをしてもらっているように思います。メンバ

一に恵まれ、地域に信頼できる仲間が増えたことが一番感謝していることです。最近参加した保育室併設講座は松林分館の「子育てするなら福生！福生大好きなイキイキママになろう♪PartⅡ」でした。まだまだ続く子育てと自分らしく向き合いながら、これからの暮らし方や働き方、将来のビジョンの描き方を学び、福生でイキイキママになりたいと目標を持ってました。

講座をはじめ、公民館のいろいろな事業を通して、イキイキしている人が増えることで、福生がますます住みやすい街になると思います。これからも公民館からつながる地域の輪が大きくなることを楽しみにしています。



## 2 青少年と公民館

異年齢集団活動の必要性が子どもの成長期に重視されて久しい。学校教育においては同じ地域の異年齢の子どもが必然的に集まってくることを活かし、「縦割り班」などを構成して年間を通して活動日や活動内容などを決め計画的に取り組んでいる。

一方、公民館で行われている異年齢集団活動は、講座を開設し、その時偶然集まった子どもたちが主体的に作り上げていく点で、かつての近隣や家庭での異年齢交流に近い活動ができる可能性を持っている。

以前の子どもたちの遊びは内容やメンバーが決まっているものではなく、自然発生的に集まった者同士でその時々で何をやるかは自分たちで考えて遊んでいた。

その中で自分たちのルールで一緒にやっていくうちに、自分の立場や役割に気付き、集団にとって必要だと考え自ら行動することを繰り返すようになることで社会性が育つ要素を持っていた。また、年齢の高い者がリーダーシップをとり、年齢の低い者は、上のものの行動を見て手本としていく青少年リーダー養成の機能も併せ持っていた。

こうした子どもたちの自発的な行動を培う講座は、本館では「子どもキャンプ教室」、「夏休み自然体験教室」、松林分館では「子ども教室」及び「すんばらしいリーダー会」、白梅分館では「しぜんたんけん隊」などが実施され、時には3館合同でキャンプを行うなど活発に行われていた。

しかし、新たな分野の講座開設の要望や子どもたち自身のライフスタイルの変化に伴い、こうした自然環境の中で、子ども同士が関わら合う講座は減少している。公民館主催事業には「文化系」が多く、屋外で自然から学習する「自然科学系」の事業が少ない。現在、

本館の「ジュニア自然体験教室」のみとなっており、白梅分館「熊川分水たんけん隊」も、実施回数が少なくなっている。

そのほかにも子どもを対象とした講座は実施されてはいるものの、主に夏休みなどの長期休み期間中に文化体験的なもので、子どもの異年齢集団の構築という課題に取り組むまでには至らない。

本館では、夏休み期間前後のみ実施していた「夏休み自然体験教室」を平成25(2013)年から期間を3月までに設定し、できるだけ年間を通じ公民館で子ども同士が関われる場を設け、お互いの関係を深められるよう図っている。また、名称も平成28(2016)年度から「ジュニア自然体験教室」として、年間事業としての意識を高めている。

参加者の傾向としては、日頃から自然や野外での活動を行っていて向上心を持って参加する子どもよりも、普段は全く関心のない未経験者が保護者等の意向で参加している場合が多くなってきている。

こういった事情から年々プログラムをより安全に行うことが重視され、体力的にも登山が敬遠されキャンプ活動を中心に学校や学年の違う仲間づくりの要素が強くなってきている。子どものときにしかできない方法で自己や自治意識を獲得していく場、子どもと地域の専門家が出会う場としての事業のあり方が求められている。

公民館へ関わりを持ってくれる子どもの中からすでに学校や自主的な活動にも積極的でリーダーの資質を持っている子ども、まだ潜在的な能力を持っている子どもを見だし、将来のまちづくりを担う人材へとつなぐ役割が公民館の青少年対象事業にはある。

第2章 公民館10年のあゆみ 2 青少年と公民館

平成19(2007)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
夏休み自然体験教室	7月～8月	7	85	夏休み期間での、学校や学年の異なる仲間づくり	本館
そうさく仲間'07	7月	4	40	色鮮やかなタイルを使い、モザイク画を作る。	松林
たんけん仲間'07	7月～8月	4	40	市内の公園や多摩川で遊びを通して自然とふれあう。	
平和を考える日	8月	1	20	戦争や平和についての絵本の朗読	
ボードゲーム教室	7月～11月	12	81	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、児童の遊び場・居場所としての公民館づくりを目指す。	白梅
子どものための食育講座	11月～3月	4	311	ジャガイモの生育や調理体験を行うことにより食の大切さを学び、伝統食の継承につなげる。	

平成20(2008)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
夏休み自然体験教室ジュニアリーダー会	6月～10月	8	29	夏休み自然体験教室の運営や指導などを担うリーダーの集まり	本館
夏休み自然体験教室	7月～8月	7	42	夏休み期間での学校や学年の異なる仲間づくり	
夏休みエコ・キッズ2008	7月～8月	5	84	生活の中で身近に出来ることから環境問題を考える。	
熊川分水たんけん隊	8月	1	6	分水を身近に感じ地域の歴史との関わりを考える。	
福生ちいきの食育講座(子どもの陶芸教室)	7月～8月	2	28	利用者が講師となり、児童の食べることへの愛着を育むため、陶芸で食器を作成する。	白梅
子どものための食育講座(学童クラブサツマイモ体験)	6月～11月	2	119	学童クラブを対象とし、サツマイモの生育を通して食の大切さを学び、関心を育む。	
世界のボードゲーム教室	5月～1月	14	100	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、異世代・地域でのコミュニケーションを図る。	

平成21(2009)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
夏休み自然体験教室ジュニアリーダー会	6月～7月	6	21	夏休み自然体験教室の運営や指導などを担うリーダーの集まり	本館
夏休み自然体験教室	7月～8月	6	62	夏休み期間での、学校や学年の異なる仲間づくり	
子どものための食育講座(学童クラブサツマイモ体験)	5月～11月	2	111	学童クラブを対象とし、サツマイモの生育を通して食の大切さを学び、関心を育む。	白梅
子どもための世界のボードゲーム教室	6月～12月	11	96	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、異世代・地域でのコミュニケーションを図る。	

平成22(2010)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
夏休み自然体験教室ジュニアリーダー会	6月～9月	5	14	参加する小学生の支援、指導を目的とする。	本館
夏休み自然体験教室	7月～8月	6	81	登山体験を中心に参加者の体力や協調性を培う。	
松林夏休み子ども教室「子どもビーズ教室」	7月	1	23	夏休み期間中の小中学生のために、サークルメンバーが講師になって教室を開催する。	松林
松林夏休み子ども教室「子どもステンド教室」	8月	2	24	夏休み期間中の小中学生のために、サークルメンバーが講師になって教室を開催する。	
松林夏休み子ども教室「子ども陶芸教室」	8月～9月	4	52	夏休み期間中の小中学生のために、サークルメンバーが講師になって教室を開催する。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
親子のための世界のボードゲーム教室	6月～11月	5	50	ボードゲームで遊ぶことにより、マナーを守る大切さを学び、親子間、児童間のコミュニケーションとする。	白梅
子どもための世界のボードゲーム教室	6月～12月	11	109	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、マナーを守る大切さやコミュニケーションを学ぶ。	

## 平成23(2011)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
夏休み子どものアトリエ	7月～8月	4	56	もの作りを通して手作りや自己表現の楽しさを感じる。	本館
夏休み自然体験教室	8月	7	74	登山体験を中心に参加者の体力や協調性を培う。	
松林分館サークルによる夏休み子ども教室	7月～8月	12	157	夏休み期間中の小中学生のために、サークルメンバーが講師になって教室を開催する。 「ビーズ、生け花・スケッチ、ステンドグラス、マジック、消しゴムはんこ作り、とうげい、写真で見る福生の歴史」 全7教室。	松林
親子のための食育(前期)	5月～11月	10	115	サツマイモの生育とベランダ菜園に則した野菜の生育を行い経過を観察、収穫後に陶芸で作成した皿を使用し食べることで食と農作の関係を学ぶ。	白梅
熊川分水たんけん隊	8月	1	21	熊川分水に入り生物を採集・観察することにより自然と関わり、市の財産としての分水の大切さを学ぶ。	
子どもための世界のボードゲーム教室	9月～11月	6	79	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、異世代・地域でのコミュニケーションを図る。	
親子のための食育(後期)味覚と健康	1月～3月	4	39	食の安全を考えるため、味覚の側面から親子で体験型・講義型の学習を行う。	

## 平成24(2012)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
夏休み子どものアトリエ	7月～8月	4	61	もの作りを通して手作りや自己表現の楽しさを感じる。	本館
夏休み自然体験教室	8月～9月	8	109	登山体験を中心に参加者の体力や協調性を培う。	
子どものための音楽会		1	58		松林
松林分館サークルによる夏休み子ども教室	7月～8月	7	39	夏休み期間中の小中学生のために、サークルメンバーが講師になって教室を開催する。 ①ビーズ ②生け花・スケッチ ③消しゴムはんこ作り ④ペットボトルで風車を作ろう ⑤童謡をうたおう 全5教室	
夏休み子ども陶芸教室	7月～8月	5	65	利用者が講師となり、児童の共有体験として陶芸作品の制作を行う。(作品:茶碗、湯呑み)	白梅
熊川分水たんけん隊	8月	1	17	熊川分水に入り生物を採集・観察することにより自然と関わり、市の財産としての分水の大切さを学ぶ。	
冬休みボードゲーム教室	12月	3	34	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、異世代・地域でのコミュニケーションを図る。	
春休みボードゲーム教室	3月	3	58	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、異世代・地域でのコミュニケーションを図る。	

平成25(2013)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
夏休み子どものアトリエ	7月～8月	4	57	もの作りを通して手作りや自己表現の楽しさを感じる。	本館
夏休み自然体験教室	7月～3月	9	122	キャンプや登山を通して発見する喜びや達成感を得る。	
夏休み子ども草笛教室	7月	4	66	草笛をとおして自然や音楽に親しむ。	
松林分館サークルによる夏休み子ども教室	7月～8月	10	122	夏休み期間中の小中学生のために、サークルメンバーが講師になって教室を開催する。 「七夕はゆかたを着ていこう、生け花・スケッチ、ピーズ教室、飛び出すカード作り、葉っぱでカタツムリを作ろう、歌って遊ぼう、消しゴムはんこ、おじいちゃん、おばあちゃんから昔話を聞こう」 全8教室	松林
子どもも大人もみんなで作ろう(ワークショップ)	12月	1	24	親子で手作りを楽しむ講座。クリスマスツリー・羽子板。	白梅
夏休み子ども陶芸教室	7月～8月	5	57	利用者が講師となり、児童の共有体験として陶芸作品の制作を行う。(作品:マグカップ2点)	
夏休み工作教室	7月	3	33	はりこで動物を作成し、子ども達の自由な想像力の具現化を図る。	
熊川分水たんけん隊	8月	2	33	熊川分水を歩くことで市の財産としての価値を知り、実際に分水に入り生物を採集・観察することにより自然と関わりを学ぶ。	
冬休みボードゲーム教室	12月	2	30	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、マナーを守る大切さやコミュニケーションを学ぶ。	
春休みボードゲーム教室	3月	2	21	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、マナーを守る大切さやコミュニケーションを学ぶ。	

平成26(2014)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
夏休みのランチはおまかせ! キッズクッキング講座	6月～7月	5	71	食べることの大切さを感じ、子どもであっても自ら主体的に栄養バランスの取れた食事に目を向ける。	本館
夏休み子どものアトリエ	7月～8月	4	52	もの作りを通して手作りや自己表現の楽しさを感じる。	
夏休み自然体験教室	7月～3月	9	106	キャンプや登山を通して発見する喜びや達成感を得る。	
夏休み子ども草笛教室	7月	3	49	草笛をとおして自然や音楽に親しむ。	
夏休み子ども教室 いつもとはちがう夏休みにしよう!	8月	2	173	公民館サークルの方から学び、自分だけの特技を身につける。	
春休み親子講座 子どもの生きる力を育てる「お金」とのつきあい方～どうする?おねだり おこづかい～	3月	3	46	子ども参加型の買い物体験を通じ、生きる力を育む。「お金」とのつきあい方、大切さを学ぶ。	松林
松林分館サークルによる夏休み子ども教室	7月～8月	8	134	夏休み期間中の小中学生のために、サークルメンバーが講師になって教室を開催する。 「ピーズ、一閑張り(2回)、飛び出すカード、絵手紙、ゲームで遊ぼう、元気に歌って遊ぼう、消しゴムはんこ」 全7教室	
子どものための食育講座「夏野菜を作ろう」	6月～9月	7	66	キュウリとミニトマトの生育を行い経過を観察、収穫後に食べることで食と農作の関係性を学ぶ。	
夏休み子ども陶芸教室	7月～8月	5	74	利用者が講師となり、児童の共有体験として陶芸作品の制作を行う。(作品:皿)	白梅
熊川分水たんけん隊	8月	1	21	熊川分水に入り生物を採集・観察することにより自然と関わり、市の財産としての分水の大切さを学ぶ。	
冬休みボードゲーム教室	1月	2	32	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、マナーを守る大切さやコミュニケーションを学ぶ。	
子どものための食育講座「じゃがいもの植え付け」	3月	1	11	次年度の食育講座に向けて、じゃがいもの生育のために畑に種芋を植え付ける。	

## 平成27(2015)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
夏休みのランチはおまかせ！キッズクッキング講座	6月～7月	4	23	食べることの大切さを感じ、子どもであっても自ら主体的に栄養バランスの取れた食事に目を向ける。	本館
夏休み自然体験教室	6月～3月	9	142	キャンプや登山を通して発見する喜びや達成感を得る。	
夏休み子どものアトリエ	7月～8月	4	40	ひとつひとつの物を作り上げる楽しさを知る。	
夏休み子ども草笛教室	7月	3	38	草笛をとおして自然や音楽に親しむ。	
夏休み教室(バルーンアート教室・リコーダー教室・ペーパーアート教室)	8月	3	75	公民館サークルが講師となり、その成果を子どもたちに伝え、子どもたちには家族以外の大人と触れ合う機会とする。	
夏休み教室「親子でクッキング」	8月	1	10	学校給食の人気メニューを親子で協力してつくる。	
親子でクッキング	11月～12月	3	35	福生の親子が考えた地元食材のメニューをつくる。	
松林分館夏休み子ども教室	7月～8月	8	11	夏休み期間中の小中学生のために、サークルメンバーが講師になって教室を開催する。「切り絵、ビーズ、浴衣の着付け(2回)、ゲームで遊ぼう、根付け、草笛、消しゴムはんこ」全7教室	松林
子どものための食育講座「じゃがいもを作ろう」	5月～6月	3	30	じゃがいもの生育を行い経過を観察、収穫後に食べることで食と農作の関係を学ぶ。	白梅
熊川分水たんけん隊	7月	1	16	熊川分水に入り生物を採集・観察することにより自然と関わり、市の財産としての分水の大切さを学ぶ。	
夏休み子ども陶芸教室	8月	5	45	利用者が講師となり、児童の共有体験として陶芸作品の制作を行う。(作品: ステンドグラス風壁掛け)	
子どものための食育講座「秋冬野菜をつくろう」	9月～12月	7	59	ほうれん草と小松菜の生育を行い経過を観察、収穫後に食べることで食と農作の関係を学ぶ。	
白梅ボードゲーム教室	3月	2	36	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、マナーを守る大切さやコミュニケーションを学ぶ。	

## 平成28(2016)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
ジュニア自然体験教室	6月～3月	10	213	子どもたちが野外活動など、主体的に自然にかかわる。	本館
夏休み子どもサイエンス	8月	2	19	理科の実験を行い化学の楽しさを知ってもらう。	
松林分館夏休み子ども教室	7月～8月	7	95	夏休み期間中の小中学生のために、サークルメンバーが講師になって教室を開催する。「レジン、切り絵、パズルで遊ぼう、水彩画、ビーズ、消しゴムはんこ、草笛」全7教室	松林
子どものための食育講座「落花生を作って食べよう」	6月～10月	8	67	落花生の生育を行い経過を観察、収穫後に食べることで食と農作の関係を学ぶ。	白梅
夏休み子どもの陶芸教室	8月	5	48	利用者が講師となり、児童の共有体験として陶芸作品の制作を行う。(作品: 象嵌技法を用いた皿)	
熊川分水たんけん隊	8月	1	31	熊川分水に入り生物を採集・観察することにより自然と関わり、市の財産としての分水の大切さを学ぶ。	
白梅ボードゲーム教室	3月	2	44	ボードゲームのルールを学び遊ぶことにより、マナーを守る大切さやコミュニケーションを学ぶ。	

## 公民館との出会いから市民活動へ

NPO法人自然環境アカデミー 事務局長 野村 亮

私と公民館との出会いは、小学校二年生のとき（1977年）でした。冬に「自然観察教室」という講座があり、同級生から一緒に行こうと誘われたことがきっかけです。この事業は、市民の方が参加する全5回の野鳥観察の講座でしたが、参加者の中には鳥に詳しい市民の方がたくさんいて、そういう方から鳥のことをいろいろ教えてもらうことになりました。当時この講座は、公民館職員の加藤さんが企画をしており、伊東さんがスタッフのような形で講座をサポートしていました。その後、伊東さんは公民館職員になりましたが、福生自然観察グループというサークル活動を行っていた関係で、そのグループで山に行くときや鳥を見に行くときには私も誘われ、気付いたらグループのメンバーになっていました。

元々、公民館事業やサークル活動といったものに興味があったわけではなく、そこに行けば鳥のことをいろいろと教えてくれるだろうと、個人的な鳥に対する興味でつながっていました。その流れで伊東さんとの個人的なお付き合いも始まりました。公民館職員として伊東さんの主催する講座はやがて、鳥から自然のこと、環境のことへと広がって行きました。たまたま私の関心事が主催事業として展開していったため、講座に参加するようになりました。最初は鳥に興味を持ち、のめり込んで行くに連れ、もっと知りたいという気持ちから図鑑を見て自分で調べたり、人から聞いたり興味を深めていきました。

しかし、なぜそこまでのめり込んで行ったかということ、実は、それなりの理由がありました。自然観察グループには、鳥や昆虫の先生という役割の方が参加していました。その方々が、当時小学生だった私に対しさらに関心が湧くような言葉をかけてくれたのです。教えていただいたことの中で、今でもはっきりと覚えているのは「翼鏡（よっきょう）」という言葉です。カモには光る羽があり、その色は種類によって違うので区別するポイントになる、ということです。このような専門用語を知ることは、当時子どもの私にとって、ほかの友だちの知らない、大人の世界でしか知ることができない特別な体験でした。また、それを教えてもらったことが、すごく背伸びしたような、特別扱いされたような気分になりました。このように声かけしてくださったことで知的好奇心をくすぐられると同時に、メンバーの一員として認めていただいた気がしました。大人と同じように見ていただいていることが、とても嬉しかったのだと思います。

活動を始めてから数年経過したある日、講座の資料を作って欲しいと伊東さんに頼まれました。1980年、12歳のときです。そこで私は、多摩川で見られるチドリを3種類描き、資料を作りました。図鑑を見ながら、一生懸命描いた記憶があります。私のような小学生の参加者に資料を作らせるなど、こちらとしては、少し恥ずかしいような、得意になるような経験をさせていただき、育てていただいたことをとても懐かしく思い出します。このように伊東さんとの関わりを通して、鳥への興味関心から公民館事業への参加、サークルへの参加と自身の活動範囲も広がっていきました。

伊東さんが白梅分館に異動されてからは、毎日のように公民館が伊東さんを慕う人のた

まり場になっていました。入り口の小さいテーブルに4つほどある椅子を毎日のように占拠し、何をするというわけでもありませんでしたが、ただ集まって話をしていました。白梅会館は、地域の施設としての役割もあるため、当然ながらご近所の方も利用するわけです。単に仕事の邪魔をしていたのかしれませんが、私たちが集まると伊東さんは、お茶を出して一緒に話をしてくれました。お互いに話しやすい関係というか、個人的なつながりというか、信頼関係を大切にしていました。

福生自然観察グループのメンバーは、元々福生の方で構成されていましたが、福生から引っ越して行く方もおり、年を重ねるにつれグループのメンバーが固定化し、全体的に年齢が上がっていきました。このままだとグループ自体が自然消滅してしまうかもしれないという危機感を、少しずつ感じるようになりました。

上の世代からこれまで教えていただいたものを受け取るだけでなく、下の世代へ還元していく、そういう役割を、今度は私たちが担わなくてはいけないのではないかという責任を感じ始めました。同時に、伊東さんがこの時期に公民館から異動され、公民館事業として自然観察会ができなくなってしまいました。

このようなことが重なり、これまで公民館事業で行っていた自然観察会の担い手となることをその目的の一つとして、2001年に「NPO 法人自然環境アカデミー」を立ち上げることにしました。

活動内容としては、主に環境教育として自然体験、自然観察を中心にさまざまなことを行っています。活動する仲間は生き物好きな人が多いので、生き物の調査や、けがをした動物、哺乳類や鳥の保護活動をしています。また、緑地の調査も行います。具体的には、里山の保全活動、緑地の保全活動、河川環境の保全活動等で、最近ではカワラノギクという希少植物の保全活動等も行なっています。

それから、市の事業として、子どもと多摩川で遊ぶ「水辺の楽校」という活動も月に一度のペースで行っており、好評をいただいています。この事業では、大人のスタッフとして一緒に子どもを遊ばせる役をやってくださる方がいます。この方は、公民館講座で当時一緒に遊んだ仲間の一人です。その方も地域でいろいろなことを教えてもらい育てていただいたという感謝があり、何かの形で恩返しをしたいという思いから、自分が次世代を育てる番だと引き受けてくださっているところがあるのかと思っています。

人と人とのつながりが豊かな信頼関係を築いていく、このことを伊東さんと出会い、また、公民館の主催事業やそこでお世話になった皆さんとの関わりを通して学んでいきました。今後、自然環境アカデミーの活動を通して、公民館や市の各部署との協働事業を継続する中で、豊かな人間関係をさらに広げ、私たちが受け継いできた知恵や知識を一人でも多くの若い世代へとつないでいきたいと考えています。

### 3 成人と公民館

#### はじめに

福生市公民館では、主催事業として乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に、さまざまな主催講座を実施している。ここでは、成人を対象として実施した主催講座について述べる。

#### 公民館の学び

公民館が実施する講座は、単なる個人的な学びや資格を習得するために実施されているのではない。

公民館は、他者と共に学び合うというスタンスのもとに、学びの成果を地域につなげて、地域活動に生かしていく場である。

そして、公民館での学び合いを通して、自己が変わり地域が変わり、社会が変わっていくという自己変容の学習に結び付けることが、公民館の学習である。

#### 地域と公民館

地域づくりは人づくりとも言われるが、公民館の学びは、地域や社会に関心を持ち、地域づくりに主体的に参加できるような人材を形成することを目的としている。

生活課題や地域の現状に即した課題を提起し、その解決に向けた講座を実施することが、公民館学習の目指すところである。

一見、趣味的に思えるような講座があるかもしれないが、講座終了後サークルが立ち上がり、活動の成果を町会や地域のイベントで発表し、地域の人々や高齢者に楽しみや生きがいを感じられるような、地域のための活動につなげられるのであれば、その講座は公民

館学習に沿った講座であると言えよう。

地域学習については、地域を知るということで地域の方を講師に迎えて企画・実施した白梅分館の「熊川分水」をテーマにした講座、子どもを対象に公民館サークルのメンバーが先生となって実施している「松林夏休み子ども教室」、また地域課題に向け本館で実施している「地域福祉講座」など、地域と直結した講座を各館で実施してきた。

ここ10年は地域の人々、サークルのメンバー、NPOなど地元の人たちによる協働形式で実施する事業も目立つようになってきた。

地域の課題を学んだ市民が学習を重ね、次は話題提供者・講師となり公民館講座に参加し、共に学習していくことは、まさに学びを地域に還元していることであり、公民館学習たる所以である。

#### 10年間の実施状況

次ページの表は、10年間の講座実施状況である。主催講座数（全コース）は、年平均77コース、うち成人コースは46コースで、約6割を占めている。回数にすると、全体で498回、うち成人コースは244回で、約5割を占める。

年度	総講座数	成人講座数	%
平成19年度	71コース	43コース	60.6%
平成20年度	77コース	45コース	58.4%
平成21年度	68コース	33コース	48.5%
平成22年度	83コース	46コース	55.4%
平成23年度	80コース	51コース	63.8%
平成24年度	72コース	45コース	62.5%
平成25年度	75コース	46コース	61.3%
平成26年度	77コース	47コース	61.0%
平成27年度	85コース	52コース	61.2%
平成28年度	84コース	57コース	67.9%
10年合計	772コース	465コース	60.2%
平均値	77.2コース	46.5コース	60.20%
年度	総講座回数	成人講座回数	%
平成19年度	592回	286回	48.3%
平成20年度	597回	283回	47.4%
平成21年度	537回	238回	44.3%
平成22年度	570回	253回	44.4%
平成23年度	459回	243回	52.9%
平成24年度	448回	240回	53.6%
平成25年度	444回	228回	51.4%
平成26年度	425回	220回	51.8%
平成27年度	465回	224回	48.2%
平成28年度	448回	230回	51.3%
10年合計	4,985回	2,445回	49.0%
平均値	498.5回	244.5回	49%

## 成人コース

成人コースでは、日本の文化を伝承する市民文化教室、人権講座、地域福祉講座、地方自治講座、多文化共生講座、食育講座、環境講座、歴史講座、平和事業、文学講座、市民音楽講座、男の料理教室、防災講座、フォト講座、LGBT講座、DV防止講座、白梅歴史懇話会、熊川分水に親しむ講座、福庵でおもてなし講座など、さまざまな主催講座が行われてきた。

## 継続している講座

10年以上継続している講座について、二つの例をあげてみる。

### 1 市民文化教室

福生市文化協会と公民館が共催事業として、

毎年実施している事業で、初心者を対象に日本の伝統文化・芸術を学ぶ入門講座である。

毎年10コース（1コース10回）を基本に実施してきている。講師は文化協会に加盟している各連盟から推薦された方をお願いしている。講師は自分が学んだことを、市民文化教室を通して市民に提供する形となっている。

市民の文化活動の要求に応え、個々の創造的感性を養い、地域での人とのつながり、地域文化の向上を目指して継続実施している。

文化教室終了後は、自主化し公民館サークルを立ち上げるグループもあり、公民館活動へと交流が広まっていく。

参加者はコースによってばらつきがある。応募が5名に満たないと教室が成立しないという条件もあり、25年度から10コースが開催できない状況であるが、コースによっては定員を超えて、相変わらず人気のあるものもある。コースはほぼ毎年同じジャンルであるが、講師の所属流派等による違いなど、奥の深いものとなっている。

なお、講師の高齢化もあり連盟からの推薦が困難な事例もある。

今後、文化協会とコースや講師の選定、市民ニーズの把握に努め、検討していかねばいけない。

### 【市民文化教室】

年度	講座回数	延べ参加人数
平成19年度	100回（10コース）	882人
平成20年度	100回（10コース）	904人
平成21年度	100回（10コース）	1064人
平成22年度	100回（10コース）	978人
平成23年度	100回（10コース）	835人
平成24年度	100回（10コース）	828人
平成25年度	80回（8コース）	773人
平成26年度	80回（8コース）	618人
平成27年度	70回（7コース）	638人
平成28年度	90回（9コース）	838人
平均値	92.0回（9.2コース）	835.8人

## 2 市民音楽講座

平成 18 (2006) 年度から講師に高橋逸子先生を迎えた市民音楽講座「みどりのハーモニー」がスタートした。小学生から高齢者まで多くの市民が集まり、毎年行われる市民音楽祭に向けて練習をし、その成果を発表している。毎回多くの市民が参加し、楽しさを共有し、交流の和が広がっていった講座である。

平成 28 (2016) 年度までに過去 10 回実施され (平成 23 年度は東日本大震災のため中止)、1 コースの実施回数は 10 回から 12 回、延べ参加者は平均 935 人である。

地域の多くの人に認知され、音楽を通して地域での交流も活発であり、現在も継続して実施されている講座である。

### 【市民音楽講座】

年度	講座回数	延べ参加人数
平成19年度	10回	824人
平成20年度	10回	880人
平成21年度	10回	880人
平成22年度	12回	987人
平成23年度	中止	中止
平成24年度	11回	894人
平成25年度	11回	1,066人
平成26年度	12回	1,087人
平成27年度	12回	909人
平成28年度	12回	894人
平均値	11.1回	935.7人

### 地域福祉講座

平成 19 (2007) 年度、「市民が担う地域で支える成年後見」というテーマで地域福祉講座 1 コース 3 回を実施し、延べ 35 人が参加した。

その後、平成 24 (2012) 年度から現在に至るまで毎年実施している。公民館サークルの地域福祉学習会「ハートフル」と毎年テーマを考えながら、行政 (福祉関連部署) にも関

わってもらい、協働という形で実施している。

実施回数は 1 コース 3 回、平均延べ参加者数は 47 人である。

内容は、成年後見制度、孤独死、認知症、セーフティーネット、老後の保障などをテーマに、市民を対象に福祉の関係部署の職員を講師に交えながら、地域福祉の現状、課題をさぐり、地域の中での問題解決に向けて、意見交換や話し合いを行った。

### 人権講座

人権学習というと、その範囲は広い。極端な表現をすれば、公民館すべての事業、学習がその対象になるのではないかと。

#### 1 DV防止講座

パープルリボン週間 (11 月中旬) の時期に行われている。DVの現状、DVに関する正しい知識やDV防止の情報やヒントなどを探る。テーマ設定や当事者が参加した場合の対応など、ナーバスな問題やイメージが想定されるためか、毎回参加者は少ないが、大切な人権学習の一環として実施してきている。

#### 2 いのちのメッセージ講座

犯罪被害や交通事故に遭った遺族や家族の人権をテーマに、平成 24 (2012) 年度から 27 (2015) 年度までの継続事業として実施した。被害にあった遺族の方に体験談を話してもらい、「いのち」の大切さを直接感じ取ってもらう体験談型の講座で、心にズシりとくる講座であった。

福生市公民館では、以前から「犯罪被害者の人権」をテーマに 4 年ほど連続で実施してきた。

#### 3 LGBT講座

LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセ

クシャル、トランスジェンダーの頭文字からとった言葉で、性的少数者の総称である。

福生市公民館では初めて試みる講座で、LGBTについての正しい知識を学び、差別や偏見の無い誰もが生活しやすい社会の構築を考える機会として、平成27(2015)年度から実施した。

他市の公民館ではあまり実施していない先駆的な人権講座である。

### 平和学習

戦争、平和を考える機会として、毎年8月と3月に平和学習事業として継続して実施している。

8月は、広島・長崎の原爆や終戦をテーマに、市民との協働事業として講演会やパネル写真の展示を実施した。また、市民の協力により、市民が所蔵する戦争絵画を展示した。

市内在住の戦争を体験した方からは「五日市線多摩川鉄橋の惨劇」「学徒出陣」「機銃掃射攻撃」などの講演会を実施した。

3月は、東京大空襲をテーマに「平和パネル展」を実施し、空襲で被災した東京の惨状を写した写真を展示することで、戦争の恐ろしさを伝えた。また、大空襲を体験した方のガイドによる、被災地を歩くフィールドワークも実施した。

いずれも、講演会や展示会などを通して、戦争の恐ろしさ・愚かさ、平和のありがたさ、命の尊さを改めて学習する機会として継続実施している。

### 地域を知る講座

子どもの自然体験や地域と自然環境、地域と歴史環境問題など、多様な問題に幅広く対

応するため、白梅分館では、熊川分水に関する講座や自然観察散歩などを実施してきた。

熊川分水に関する講座は平成15年度に実施した「熊川分水再発見講座」からサークル化した「熊川分水に親しむ会」との協働で、毎年継続実施している。

また、平成26(2014)年度からは「白梅歴史懇話会」と題し、地域の古老から熊川の歴史を知る講座を実施した。

### 公民館PR講座

公民館のことを多くの市民にもっと知ってもらえるように、平成27(2015)年度松林分館において「行って得する公民館講座」を実施した。

講師に野澤初代公民館長、伊東元公民館長や公民館設立に関わった市民、公民館利用者を迎え、公民館の魅力を話していただいた。

### 特徴のある講座

公民館では、茶室「福庵」を管理している。そのため、福生市公民館が茶室福庵を利用して主催講座を実施している。

平成20(2008)年度から「お茶席体験」を茶室の立礼席で行い、市民が気軽に「お茶席」を楽しめるよう、市民の協力を得て月に2回実施してきた。

平成25(2013)年度に茶室開設20周年をむかえ、記念事業として、建築家による講演会「茶室を楽しむ」を実施した。また茶室を利用しての「秋を楽しむ盆栽展」「福庵で聴く篠笛の調べ」を実施した。

これを機会にその後も、日本の伝統文化をテーマとした「福庵でおもてなし」事業を実施し、茶室を有効活用してきた。

この茶室を利用した講座や事業は、福生市公民館ならではの特色ある講座の一つである。

### そのほかの事業

講座ではなく行事として継続して行われている事業にサロンコンサートと名曲コンサートがある。

サロンコンサートは、年4回NPO法人与協働で実施している。地域に関わっている方をゲストに招き、サロン形式で音楽を聴きながら市民の交流を図る憩いの場となっている。

名曲コンサートは、公民館活動に理解を示してくれる音楽家の協力により実施してきたコンサートである。平成24(2012)年度から東日本大震災復興支援チャリティーとして位置付けて実施し、現在に至っている。

### これからの公民館主催講座に向けて

公民館主催講座については、年度当初3館

でそれぞれが予算枠内で事業計画を作成し、それに基づいて企画実施しているが、実施後に各事業の評価をしなければならない。

事業評価について現状は、職員それぞれが事業報告書を作成し(自己評価)、それを職員会議で報告、公民館運営審議会の中で実施講座の報告をし、委員からの意見を求めている程度であり、正式な第三者機関が評価をしているわけではない。

今日的課題に即してこれからの公民館主催講座につなげていくためには、前年度に実施した事業をしっかりと評価・検証した上で、企画していかなければならない。

また、今後はESD(Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育)等の概念を視野に入れ、体系的に公民館事業に取り組んでいかなければならないであろう。

平成19(2007)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
市民音楽講座「福生の空に響けみんなの大合唱」	4月～6月	10	824	小学生から高齢者まで幅広い層を対象に市民音楽講座を開催し、6月に行われる市民音楽祭に向けて歌唱の練習を行う。	本館
男の料理教室	4月～7月	6	82	料理の基礎を学び、メニューを考え、買い物から後片付けまでを楽しみながら行う。	
自転車教室	4月～5月	4	25	自転車のメンテナンスやパンクの修理を自分で行い、安全で事故の無いサイクリングをする。	
木工作教室	5月～6月	8	54	無垢の板材を留め継ぎ(額縁のような組み方)で加工し、透明ガラスのふた付き小物入れを作る。	
まち再発見講座	5月～9月	2	23	「東京ウォーターフロントの今昔探訪」一月島・佃島をめぐる……もんじゃと佃煮のまちを歩き下町風情の保存と水辺空間の利用を再発見する。	
音響照明機材操作講習会	6月	2	13	音響機材(マイク・スピーカーや音響調整卓など)や照明機材(スポットライトや調光卓など)の操作を学ぶ。	
初心者楽しいギター講座	7月～9月	10	92	初心者を対象にギターを楽しく学び、仲間づくりのきっかけとする。	
ゆかたの着付け教室	7月	2	21	夏を迎え、日本の伝統あるゆかたの着付けを学ぶ。	
夏休み親子マジック教室	7月～8月	3	15	夏休みを利用し、親子を対象にマジックの初歩を学ぶ。	
防犯講座「振り込め詐欺を撃退しよう！」	7月	2	30	振り込め詐欺の被害に遭わぬよう、福生警察地域安全課職員からその手口や電話対応などを学ぶ。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
市民文化教室 三味線	8月～10月	10	78	市民文化教室は福生市文化協会との共催で、公民館ができる以前から実施してきたものである。 福生市文化協会の持つ人材(指導者)を活用し、公民館と協力し、伝統文化、伝統芸能を学ぶための入門コースとして実施 コース設定及び講師については文化協会との打ち合わせを持ち、決定 市民文化教室への職員のかかわりについては、通常、職員は各コースの初回のオリエンテーションと最終回の修了式に参加し、運営は講師と参加者が自らの教室として主体的に関わる。	本館
市民文化教室 民舞踊・新舞踊	8月～11月	10	101		
市民文化教室 剣舞(水曜)	8月～11月	10	39		
市民文化教室 剣舞(土曜)	8月～11月	10	20		
市民文化教室 天王ばやし	8月～10月	10	62		
市民文化教室 民謡	8月～10月	10	109		
市民文化教室 書道	8月～11月	10	168		
市民文化教室 茶道	9月～11月	10	56		
市民文化教室 いけばな	8月～10月	10	73		
市民文化教室 着付け	9月～11月	10	176		
再び男声ハーモニー	10月～12月	9	142	男声コーラスを目指して、男性だけのハーモニー講座を実施する。	
作ってびっくり身近なものでリサイクル	10月	4	31	福生市のごみの知識を学び、都内のリサイクル施設を訪問する。	
地方自治を考える	1月～2月	5	97	憲法がえがく原則から、地方自治の組織や財政、道州制等地方自治をめぐる動きをふまえ、日常生活の中に基本的人権を実現するための政策への市民参加について学ぶ。	
文学講座「平家物語を読む」	1月～2月	5	105	「平家物語」を読み、古典文学を通して学ぶ楽しさ、生きがいを楽しむ。	
裁判員制度講座	2月	3	24	裁判員制度がどのようなものなのか、私たちの暮らしにどのように関わってくるのかを考える。	
街なかの広告ウォッチング～メディア・リテラシー入門	3月	6	42	新聞・雑誌の広告をはじめ、立川駅周辺のフィールドワークを通し、広告が綿密な戦略のもとに私たちをターゲットにしていることに気付く。ワークショップ形式で楽しく学んでいく。	
社会教育公民館を考える講座「地方分権と私たちの学び」	3月	2	4	地方分権の大きな流れを振り返りながら、私たちの大事な学びの拠点である公民館や社会教育について考える。	
地域福祉講座「市民が担う地域で支える 成年後見」	3月	3	35	判断能力が不十分な方の財産や生活を守る成年後見人制度の概要を学ぶとともに、市民が担い、地域で支えるにはどうしたらいいかを考える。	
男女共同人権講演会「ドメスティックバイオレンスを知っていますか」	3月	1	11	ドメスティックバイオレンスは女性差別、女性蔑視が原因で起こることが多く、被害女性が相談している相手は家族や友人である。身近で起こる犯罪であるDV。家族や友人を救うため、経験豊かな講師を迎えて講演会を行う。	
平和フィールドワーク「深川付近を歩く」	3月	1	14	東京大空襲で被災した東京下町の深川を実際に空襲で被災された方と歩き、当時の状況を語っていただき、戦争の悲惨さ、平和の尊さを肌で感じ取る機会として実施する。	
園芸クラブ	6月、9月、10月、2月	4	25	6月…自宅にあるさつきを持参し、植え替えと剪定を行う。9月…クンシランの植え替えを行う。10月…ボケの剪定と植え替えを行う。2月…サギソウの植え替えを行う。	
水彩画「ルネサンスの巨匠から学ぶ」	7月	4	64	ルネサンスの巨匠レオナルド・ダ・ヴィンチやデューラーの水彩画を模写しながら、デッサンの基礎や水彩画のテクニックを学ぶ。	
初心者「コサージュ'07」	9月～10月	6	46	玄関にも飾れるコサージュを作る。	松林
わら細工講座	9月～12月	4	42	昔からの伝統工芸であるわら細工で、自分だけのオリジナルを作る。(わら馬、花びん、輪飾り「正月用」など)	
家族講座「パパ、ママ出番ですよ」	1月～2月	5	102	子どもと接している時間が少なく「遊び方がわからない」「わが子と楽しむ時間を見つけない」と願うパパ、ママの立ち止まる時間にする。子どもは大きな部屋で、パパやママと楽しいときを過ごし、親は交代で「家族って何？」をテーマに別の部屋で話し合う。	
福生かるたを作ろう	1月～2月	6	36	福生を題材にふっさオリジナルかるたを作る。	
大人の食育講座	4月～5月、6月～9月、3月	24	170	農家の手伝いをしながら春・夏野菜の栽培に関する知識と実践を体験する。最初は公民館で講義形式により知識を習得し、その後、市内の農地で農作業を実践する。	
俳句講座(前期)	5月～10月	10	79	市民と公民館が一緒になり開催する俳句講座。成果として俳句集を作る。	白梅
パソコン教室	7月、9月～10月	5	156	デジカメで撮った写真への文字入力や画像の合成を行う。	

第2章 公民館 10年のあゆみ 3 成人と公民館

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
熊川分水を考える講座	9月・3月	3	77	富士山の湧水として有名な静岡県の柿田川湧水群見学し、その景観と生活にかかる水辺の環境を再認識し、地元の身近な水の大切さを見つめ直す。	白梅
子育てネットマップづくり	10月～3月	16	34	福生の子育て情報誌「ぶらんこ」をもとに最新の情報を集め直して、ホームページを立ち上げて掲載する。	
俳句講座(後期)	11月～3月	10	68	市民と公民館が一緒になり開催する俳句講座。成果として俳句集を作る。	
地震講座	3月	1	20	立川防災館で地震の揺れを体験する。その後白梅会館に戻り、阪神淡路大震災の被災時に住民自らが人命救助・消火活動や避難所生活支援で目覚ましい成果を成し遂げた神戸市長田区真野地区の事例を学ぶ。	
親子学習「育児＝つらい」ってほんと?	5月～10月	13	304	自分の子どもを含め、保育士と一緒に子どもを保育する。	松林
お母さんも成長するための「子育て講座」	2月～3月	5	26	「脳生理学」と「発達心理学」の理論を通して、心豊かな親子関係を学ぶ。	

平成20(2008)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
市民音楽講座「福生の空に響けみんなの大合唱」	4月～6月	10	880	小学生から高齢者まで幅広い層を対象に市民音楽講座を開催し、6月に行われる市民音楽祭に向けて歌唱の練習を行う。	本館
まち再発見講座	5月～11月	4	87	他市の町並み・歴史・文化財等を多角的な視線で見つめ、福生市の町並みを再発見する。	
男の料理教室	5月～6月	4	23	料理を作る楽しさを体験すると共に、男女共同参画社会を目指す機会として実施する。	
初心者楽しいハーモニカ講座	6月～7月	5	81	初心者を対象に、ポケットに入れて持ち歩ける楽器、ハーモニカを使って演奏を楽しむ。	
市民文化教室 日本舞踊	7月～11月	10	82	10コース 各10回 7月～12月 市民文化教室は福生市文化協会との共催で、公民館ができる以前から実施してきたものである。福生市文化協会の持つ人材(指導者)を活用し、公民館と協力し、伝統文化、伝統芸能を学ぶための入門コースとして実施 コース設定及び講師については文化協会との打ち合わせを持ち、決定市民文化教室への職員のかかわりについては、通常、職員は各コースの初回のオリエンテーションと最終回の修了式に参加し、運営は講師と参加者が自らの教室として主体的に関わる。	
市民文化教室 民舞踊	7月～10月	10	103		
市民文化教室 詩吟	8月～10月	10	54		
市民文化教室 書道	8月～11月	10	65		
市民文化教室 いけばな	8月～12月	10	69		
市民文化教室 尺八	9月～11月	10	26		
市民文化教室 天王ばやし	9月～11月	10	95		
市民文化教室 民謡	9月～11月	10	129		
市民文化教室 茶道	9月～11月	10	158		
市民文化教室 着付け	9月～11月	10	123		
ワークショップ入門	9月～11月	6	62		
コミュニケーションワークショップ	10月～11月	4	123	コミュニケーションづくり、人づくりのためのスキルを学ぶ。	
社会教育講座「西多摩の学習・文化活動の歩み」	11月～3月	5	23	福生の社会教育の歴史を当時の社会教育主事と振り返り、今後の福生を生み出す学びの機会とする。	
福生の自然を学ぶ	11月～2月	6	68	植物を採集し標本づくりを学び、福生の植物やその変化について学ぶ。	
文学講座「ヤマトタケル物語を読む」	1月～2月	5	64	ヤマトタケルをテーマに、「古事記」、「日本書紀」を読み、古典文学の楽しさ、生きがいを享受する。	
災害時のこころの準備	2月	4	25	災害に対する事前の心構えや準備をワークショップを通して学ぶ。	
教育講座「思春期の子どもたちはいま」	2月～3月	5	37	中学生を取り巻く教育問題を考える。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
福生市の財政講座	2月～3月	6	36	福生市の地方財政の仕組みと現状を学ぶ。	本館
みんなで考えよう「自治基本条例」	2月～3月	3	49	地方自治制度の基礎と住民自治を考える。	
親子食育講座「親子クッキング」	2月～3月	3	37	料理を通して親子の時間を楽しむ。	
人権講座「デートDV」	3月	1	9	デートDVの正しい理解と対応についてみんなで考える。	
裁判員制度をあらためて考える	3月	4	18	平成21年度から実施される裁判員制度について、課題を考える。	
平和フィールドワーク「深川付近を歩く」	3月	1	9	東京大空襲で被災した東京下町の深川を実際に空襲で被災された方と歩き、当時の状況を語っていただき、戦争の悲惨さ、平和の尊さを肌で感じ取る機会として実施する。	
親子で学ぶ折り紙教室	7月	2	32	親子で折り紙の基本を楽しみながら学ぶ。	松林
ゆかたの着付け教室	7月	2	17	浴衣の素晴らしさを見直すとともに、夏祭り等で着用する機会を増やす。	
家族学習「パパ ママ一緒に」	7月～10月	4	40	子どもは大きな部屋でパパやママと楽しい時を過ごす。親は交代で「家族」について別の部屋で話し合う。	
市民レポーター養成講座	8月～1月	12	20	レポーター養成のため、インタビューから記事作成までの手法を学習する。	
わら細工講座	9月～12月	5	36	昔からの伝統工芸であるわら細工で、花びん、わら馬、携帯用ストラップ、輪かざり(正月用)などを作る。	
木を使ってかざりを作ろう	9月	1	79	松林分館に植栽されていたケヤキを使い、記念表を作る。	
平和なとき	10月	1	67	だれでもなんでも展における、松林分館主催の絵本の読み聞かせ	
健康ハイキング	11月	1	11	ハイキングを通して健康づくりや交流を図る。あきる野市金剛の滝、広徳寺を巡る中級者向け講座。	
親子「コサージュ'08」	1月～3月	7	152	オリジナルコサージュを作る。また参加者が交代で子どもを預け合う。	
初心者絵手紙教室	2月～3月	4	65	絵手紙を基礎から学び、身のまわりにある自然や建造物などを書きとめる。	
松林「樹木ウォッチング」	2月	2	22	松林会館の庭にある草木を観察し、自然に対して理解を深める。	
松林ウォーク	3月	1	18	市内を探索。写真や絵手紙に収め、改めて地域を知る。	
バルーンアート初級講座	3月	2	41	初心者を対象に、バルーンアートの基礎を楽しみながら学ぶ。	
俳句講座	5月～10月	10	88	福生の季節や風景、日々の出来事や感じたことを俳句に詠む。	白梅
大人のための食育講座	5月～3月	34	244	畝管理によって自給用の作物を栽培し、畑に負担をかけない農法を学ぶ。そして自給作物づくりという自らの生活レベルでの楽しみから、それを共有した仲間と共に農地保全・緑地保全を行なう機会をつくる。	
子育てネットマップづくり	6月～10月	15	96	福生の子育て情報ネット「ぶらんこ」について、昨年度はホームページの立ち上げに集中。今年度は見る側の立場に立って、よりきめ細かい視点で完成形に近づけていく。	
熊川分水を考える講座	9月	3	61	熊川・福生の歴史を正しく把握する学習を行うことで、福生市の水と緑の環境づくりの一役を担う熊川分水について、地域遺産として人々の関心を高める。	
福生ちいきの食育講座「ゆでまんじゅうとお抹茶」	10月	1	22	実体験で小麦を栽培し、地域の高齢者を講師として向かえ、「ゆでまんじゅう」作りを行う。できあがったものを菓子としたお茶席を体験する。	
アロマでリフレッシュ	3月	2	41	病気を防ぐコツ、リラックス方法を学び、健康美につなげる。	

第2章 公民館 10年のあゆみ 3 成人と公民館

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
親子学習「笑顔を探る」	5月～9月	12	249	自分の子どもを含め、保育士と一緒に子どもを交代で保育しながら学ぶ。	松林
親子共育講座	2月～3月	5	45	子育て中の方やこれから親になろうと考えている方に向けた講座。振り返りとディスカッションを通して、子育ての在り方に気付く。	
親と子の音楽講座	5月～7月	10	358	親子で音楽を通して仲間づくりを楽しむ。	白梅
ふっさ男女共同参画フォーラム準備講座	5月～10月	15	86	市におけるフォーラムの歴史を学びながら、男女共同というテーマで身近な生活の話し合いを進める。	

平成21(2009)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
市民音楽講座「みどりのハーモニー2009」	4月～6月	10	880	小学生から高齢者まで幅広い層を対象に市民音楽講座を開催し、6月に行われる市民音楽祭に向けて歌唱の練習を行う。	本館
地方自治講座「自治基本条例案を作ってみよう」	7月～3月	16	112	自治基本条例作りを通して、福生の特徴や地方自治の学びを深める。	
市民文化教室 日本舞踊	7月～10月	10	74	市民文化教室は福生市文化協会との共催で、公民館ができる以前から実施してきたものである。福生市文化協会の持つ人材(指導者)を活用し、公民館と協力し、伝統文化、伝統芸能を学ぶための入門コースとして実施 コース設定及び講師については文化協会との打ち合わせを持ち、決定 市民文化教室への職員のかかわりについては、通常、職員は各コースの初回のオリエンテーションと最終回の修了式に参加し、運営は講師と参加者が自らの教室として主体的に関わる。	
市民文化教室 新舞踊	7月～10月	10	71		
市民文化教室 詩吟	7月～10月	10	78		
市民文化教室 山野草	7月～11月	10	100		
市民文化教室 天王ばやし	8月～11月	10	90		
市民文化教室 民謡	8月～11月	10	129		
市民文化教室 書道	9月～12月	10	179		
市民文化教室 茶道	9月～12月	10	90		
市民文化教室 いけばな	8月～12月	10	101		
市民文化教室 着付け	10月～12月	10	152		
ロシア文学講座「罪と罰を読む」	9月～10月	5	42		
わくわくワークショップ入門	9月～10月	5	61	参加者一人ひとりの想いを引き出し、つなげ、分かち合い、豊かな話し合いを進めていくためのコミュニケーションと会議手法を身に付ける。初対面の人同士が打ち解けて、話しやすい雰囲気作りから、参加意識を高め相手を理解するための方法や、カードを使用した整理術などを実際に体験しながら学んでいく。	
季節を味わうパン講座	10月～11月	4	41	秋に美味しい野菜を使って手ごねでパンを作る。	
市民企画講座実行委員会	11月～3月	7	33	ワークショップの技術を学び、コミュニケーション力、ファシリテーション力を地域に生かす。	
文学講座「伊勢物語を読む」	1月～3月	6	85	「伊勢物語」を読み、古典の楽しさ、学ぶ楽しさを享受する。	
男の料理教室	1月～2月	6	63	男性を対象に料理をつくることを通して、男女共同参画社会のきっかけづくりとする。	
人権講座「聞くことの出来ない男、伝えられない女」	3月	1	15	男女や夫婦の関係を悪化させるコミュニケーション不足や暴力。恋愛、結婚、離婚から考える、お互いが尊重される関係になるためにできることを考える。	
教育講座「子ども達のネット遊びの実態と危険性」	3月	2	22	インターネット利用について子どもたちにリスクをしっかりと教え、子どもたちを守るために大人ができることを考える。	
初心者折り紙教室	7月	2	21	子ども会や老人ホーム、ふっさっ子などでボランティアで折り紙を教えたいと考えている方を対象として、折り紙を基礎から学ぶ。	松林
ゆかたの着付け教室	7月	2	16	ゆかたの着付けを初歩から学び、福生の夏祭り、七夕まつりへの理解を深める。	
初心者マジック教室	9月～11月	7	51	マジック初心者向けの講座。コインマジック、ロープマジック、カードマジックなど、さまざまなマジックを覚えて、ボランティア活動、地域のお祭り、パーティーの演出等での活躍を目指す。	
初心者絵手紙教室	10月～2月	8	110	絵手紙を基礎から学び、身のまわりにある自然や建造物などを書きとめる。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
わら細工講座	10月～12月	5	45	昔からの伝統工芸であるわら細工で、自分だけのオリジナル作品を作る。	松林
松林ウォッチング	10月	1	30	松林分館の庭の植栽を紹介したり、園芸に触れる機会を作る。	
平和なとき	10月	1	65	だれでもなんでも展における、松林分館主催の絵本の読み聞かせ	
大人のための食育	5月～3月	30	188	継続的に関わっている市民をリーダーに、新しい市民層にも参加を呼びかけながら、かつて福生で広く伝わっていた郷土料理や伝統食、味噌作りなどを再現し、次の世代にも農地や伝統食を継承し、健康で楽しい自然とのつながりを大切にしたい暮らしの提案をしていく。	白梅
熊川分水を考える	6月～9月	4	92	①大人対象事業：流れが非常に複雑な経路や高低差を持っている柴崎分水と熊川分水との関連や比較など当時の土木技術と歴史などを学ぶ。(1回) ②大人対象事業：熊川分水を見て歩き、片倉製糸工場の歴史など地域の歴史と人の営みを学ぶ。(現地見学と講座スタイルで2回) ③子ども対象事業：夏休みに分水で遊びを通して生物の観察や分水が設置されるまでの歴史を学ぶ。(1回)	
パソコン教室	7月	3	88	ホームページ初心者を対象にホームページ作成の基礎を学ぶことにする。	
陶芸教室(灯りをつくろう) 2コース	10月～11月 2月～3月	12	92	福生市のライトダウンキャンペーンに、家庭でできるところから協力することを目的に、間接照明の灯りを作る。	
熊川の歴史を学ぶ(熊川八幡宮と上川原の惣十稲荷)	1月	1	18	今も信仰の対象としてまつられている熊川八幡宮や拜島上川原の惣十稲荷について、その建立経緯や類似点、人々の信仰について講師の話を変えながら一緒に考える。	
親子学習「新米ママの育児」	10月～12月	8	64	子ども、親、近所の先輩ママを交えて、預け合う事を経験し、講座後も地域の仲間としてつながっていける関係を築いていく。	
親子共育講座	2月～3月	5	30	子育て、親子の繋がりについて「脳生理学」や「発達心理学」の理論を通して、心豊かな親子関係を学ぶ。	

平成22(2010)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
市民企画講座実行委員会	4月～3月	9	34	あそびのワールドカフェ等市民が企画から企画し講座等を実施する。	本館
市民音楽講座「みどりのハーモニー2010」	4月～6月	12	987	音楽講座に参加して歌唱の練習を行い、その成果を市民音楽祭で発表する。	
市民文化教室 日本舞踊	7月～10月	10	105	10コース 10回 7月～12月 市民文化教室は福生市文化協会との共催で、公民館ができる以前から実施してきたものである。 福生市文化協会の持つ人材(指導者)を活用し、公民館と協力し、伝統文化、伝統芸能を学ぶための入門コースとして実施 コース設定及び講師については文化協会との打ち合わせを持ち、決定 市民文化教室への職員のかかりについては、通常、職員は各コースの初回のオリエンテーションと最終回の修了式に参加し、運営は講師と参加者が自らの教室として主体的に関わる。	
市民文化教室 新舞踊	8月～10月	10	89		
市民文化教室 詩吟	8月～11月	10	60		
市民文化教室 社交ダンス	9月～11月	10	118		
市民文化教室 天王ばやし	8月～10月	10	115		
市民文化教室 民謡	8月～10月	10	110		
市民文化教室 書道	8月～11月	10	120		
市民文化教室 茶道	9月～11月	10	71		
市民文化教室 着付け	9月～12月	10	134		
市民文化教室 いけばな	10月～12月	10	66		
音楽講座「初心者ハーモニカ講座」	8月～10月	6	82		
ワークショップスポットセミナー	8月～11月	4	24	参加者一人ひとりの想いを引き出し、つなげ、分かち合い、豊かな話し合いを進めていくためのコミュニケーションと会議手法を身に付ける。 話し合いのテーマを「子どもも大人も一緒に遊べるには」とし、ファシリテーショングラフィックのスキルを学ぶ。	
ロシア文学講座「カラマーゾフの兄弟を読む」	9月～10月	6	84	ドストエフスキー著「カラマーゾフの兄弟」を読み合い、感じた点を話し合う。	

第2章 公民館10年のあゆみ 3 成人と公民館

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
応急手当講習会「AED操作講習会」	9月	1	10	いざというときのためのAED(自動体外式除細動器)操作を用いた応急手当講習を行う。	本館
地方自治講座「自治基本条例案を作ってみよう②」	10月～3月	10	50	自治基本条例の「試案」作りを行う。	
異文化クッキング	10月～3月	6	89	外国人の料理講師を招き、その方の母国料理を参加者と共に作ることで交流する。食べながら異文化コミュニケーションを図る。	
人権講座「ふれあいタッチング」	12月	1	65	容姿で人をいじめたり、差別しないよう、全国の学校で「タッチしてごらん」とアザに触れてもらうことなどで「容貌障害」を理解してもらう。	
男の料理教室	1月～3月	8	77	料理の基礎を覚え、メニューを考え、買い物から後片付けまでを行う。	
季節を味わうパン講座	2月～3月	3	35	食卓に身近なパンを旬の野菜や果物を使って手ごねで作る。	
文学講座「うつぼ物語を読む」	2月～3月	4	62	源氏物語に先立つ物語を学習することにより、今後の学習予定の「源氏物語」にどのような影響を与えたかを考える。	
体験日本の文化「煎茶道」	3月	1	10	煎茶を味わいながら、その文化や「より美味しいお茶を味わうための技術」について触れる。	
初心者篆刻教室	6月～7月	8	77	消しゴムで絵手紙用の印、青田石で年賀状向けの印を作成する。	松林
パパママ講座	6月～7月	6	44	家族との時間を大切にするために、育児を考え、子育てを体験する。	
初心者折り紙教室松林	7月	4	40	折り紙を基礎から学ぶ。	
初心者バルーンアート教室	7月	2	27	細長い風船で動物などを作る。	
初心者マジック教室	9月～12月	8	90	コインマジック、ロープマジック、カードマジックなどさまざまなマジックを覚える。	
健康ハイキング	9月～11月	3	21	①御岳山と武蔵御嶽神社 ②鎌倉街道めぐりと吉野梅郷 ③御嶽溪谷散策	
松林ウォッチング10	10月	1	30	松林分館の庭の植栽を紹介したり、園芸に触れる機会を作る。	
平和なとき	10月	1	65	だれでもなんでも展における、松林分館主催の絵本の読み聞かせ	
初心者せんてい講座	11月	1	17	自宅の庭や鉢に植えた樹木や草木の剪定ができるように、松林会館の庭で経験する。	
クリスマスコンサート	12月	1	22	幼い子どもと親とが気軽に音楽を楽しむことを目的とする。今回は、白梅分館と共催して事業を実施	
初心者折り紙教室「サンタを折ろう」	12月	1	12	折り紙でサンタクロースなどクリスマスにちなんだ物を折る。	
新春絵手紙写生ツアー	1月	1	17	新春の富士山を絵手紙で写生する。小池邦夫絵手紙美術館や忍野八海をめぐる。	
異文化教室「インドネシア」	2月	2	10	インドネシアの踊りや布、食について学ぶ。	
歴史講座「熊川村の庭場と講中」	5月	1	18	江戸時代から熊川地域に伝わる庭場は四ヶ所あり、それぞれを構成する人たちは講中と呼ばれていた。地元年配者を交え、一緒に話をする。	白梅
熊川分水を考える	5月～9月	7	120	①大人対象事業(3回):近隣の分水や用水を見て歩く学習を行い地域の歴史と人の営みを学び最後に総括をする。 ②親子・子ども対象事業(4回):分水で遊びを通して生物の観察や分水が設置されるまでの歴史を学ぶ。	
福生ちいきの食育講座「親子の食育(前期)」	6月～11月	10	87	親子で、農作業や陶芸を体験し、自然や食への理解を、深めていく。	
パソコン教室「初めてのインターネット」	7月	3	47	入力の基本操作とインターネットの見方とメールの送受信の基礎を学ぶ。	
気功講座「こころの癒し、からだの健康」	9月～11月	10	210	以前、白梅分館で活動していたサークルが活動を停止した。存続を期待する声も多いことから、新たに気功の講座を開設、実行委員会方式で講座を運営し、終了後の自主サークル化を目指す。	
福生ちいきの食育講座(親子のためのゆでまんじゅうとお抹茶体験)	9月	1	10	福生で作られた地粉を使い、地域の方に教わりながら「ゆでまんじゅう」を作り、昔ながらの地域の食を体験する。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
陶芸教室「手づくりの灯りで癒しの空間を楽しむ」	10月～11月	7	92	福生市のライトダウンキャンペーンに協力。間接照明の灯りを作る。	白梅
福生ちいきの食育講座(親子・子どものお飾り教室)	12月	1	9	お飾りを作るだけでなく、実際に収穫時期の稲穂などの姿を学習するとともに、参加者の交流をはかる。	
福生ちいきの食育講座「親子のためのずり出しうどん」	2月	1	16	地域に代々伝えられてきた「ずりだしうどん」を親子で体験し、地域の助け合いの心を伝えていく。	
福生ちいきの食育講座「親子で味噌づくり」	2月	2	42	青森産大豆と地元のコメ麴による味噌づくりを行い、食べ物の恵みや尊さを知る機会とする。また味噌づくりを通じて、地域のおじさんおばさんと、親子の絆や交流を深めていく。	
親子リトミック講座	11月～12月	4	70	楽しく歌ったり体を動かして、親子で音楽を楽しむ。	松林
親子学習「ドキドキママのすつきり子育て」	10月～2月	12	136	自分の子どもを含め、保育士と一緒に交代で保育係をしながら学ぶ。	
親子共育講座	1月～3月	6	63	反抗期を迎える年ごろまでのさまざまな出来事に悩んだりしないよう、子どもと一緒に成長していくためのエッセンスを心理学を基に学ぶ。	
親子工作講座	2月～3月	2	19	樹脂粘土を使って、花、果物等を額の中に取り入れ、記念となる作品を作る。	

平成23(2011)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
季節を味わうパン講座(H22年度延期分)	4月	2	17	食卓に身近なパンを旬の野菜や果物を使って手ごねで作る。	本館
市民会館バックステージツアー～舞台裏探検～	6月	1	11	舞台の器具や音響機器類の操作実演を見学し、舞台機能の理解を深める。	
文学講座「うつほ物語を読む」(H22年度延期分)	6月	2	26	源氏物語に先立つ物語を学習することにより、今後、学習予定の「源氏物語」にどのような影響を与えたかを考える。	
市民文化教室 日本舞踊	7月～10月	10	93	10講座 10コース 7月～11月 市民文化教室は福生市文化協会との共催で、公民館ができる以前から実施してきたものである。 福生市文化協会の持つ人材(指導者)を活用し、公民館と協力し、伝統文化、伝統芸能を学ぶための入門コースとして実施 コース設定及び講師については文化協会との打ち合わせを持ち、決定 市民文化教室への職員のかかわりについては、通常、職員は各コースの初回のオリエンテーションと最終回の修了式に参加し、運営は講師と参加者が自らの教室として主体的に関わる。	
市民文化教室 新舞踊	8月～10月	10	77		
市民文化教室 詩吟	8月～10月	10	75		
市民文化教室 社交ダンス	8月～10月	10	107		
市民文化教室 大正琴	8月～10月	10	70		
市民文化教室 民謡	8月～10月	10	99		
市民文化教室 書道	8月～11月	10	52		
市民文化教室 茶道	9月～11月	10	26		
市民文化教室 華道	9月～11月	10	85		
市民文化教室 着付け	9月～11月	10	151		
夏休み自然体験教室スタッフ養成講座	8月	3	6	自然体験教室の活動を支えるスタッフを育成し、子どもの自然体験活動の充実を図る。	
男の料理教室	12月～3月	8	97	料理の基礎を学び、メニューを考え、買い物から後片付けまでを楽しむ。	
メンタルヘルス講座「心を軽くして小さなことでクヨクヨしなくなる！」	2月～3月	3	44	自分自身と向き合い、トレーニングを通して心を軽くするためのコツを学ぶ。	
平和講座「国際平和を支えるものとひと」	3月	1	6	人道支援と物資協力による国際援助活動の現状を写真と供与物資の見本と講演で紹介する。	
人権講座「これってDV? パープルリボンを知っていますか」	3月	2	8	友人や家族、自分がDVの当事者にならないために、暴力が起きる背景に気づき、正しい人権意識と感覚を身につける。	
しの笛を作る	4月～8月	4	59	初めてのしの笛を手にとられる方を対象に、笛の持ち方、音の出し方、指使いなど、やさしく丁寧に、わかりやすく教える。	松林
地方自治講座「自治基本条例案を作ってみよう」(H22年度延期分)	5月～6月	2	10	自治基本条例の「試案」作りを行う。	

第2章 公民館10年のあゆみ 3 成人と公民館

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
日本の文化シリーズ 煎茶道 (茶室福庵) (H22 年度延期分)	5月	1	6	日本の伝統文化を体験し理解する。日本伝統文化の奥の深さ、歴史などを身近なものとして捉え継承して行く。	松林
日本の文化シリーズ「扇の話」展示・展示説明会(茶室福庵) (H22 年度延期分)	5月	1	90	扇は、あおいで涼をとるための道具。また、装身・儀礼用の道具、舞踊の道具でもある。扇を鑑賞しながらその歴史や文化にふれる。	
知っておきたい子どもの日常「子どもの事故予防」「思春期の子どもの行動」(託児付き)	7月	2	11	子どもの成長、子どもたちの抱える問題、子どもの発達や不適応行動(非行など)をめぐる問題、そして保護者の対応などを考える。	
浴衣着付け教室「福生七夕まつりは、浴衣で行こう」	7月	2	31	きもの入門として手軽な浴衣の着付けを学び、「七夕まつり」等で着用していただき、着物の理解と着る楽しみを体験する。	
和綴じ本を作る	9月～10月	5	57	日本の伝統的な美しい和綴じ製本を学ぶ。用紙を袋に折り、糸で綴じる(半紙版・茶懐紙版二点を作成)。また、日本の伝統的な表具全般に触れ、その歴史等についても学ぶ。	
健康ウォーキング (H22年度延期分)	9月、2月～3月	3	46	山歩きの効用、山歩きの健康効果、山歩きの魅力と科学的効用、そして運動の効果や歩く効果で健康を維持増進し、ひいては健康な身体で何をなすべきかなども考える。①御岳渓谷付近を歩く。②京浜急行北品川駅を出発して鮫洲駅までの旧東海道を歩く。③江戸時代の政治の中心であった江戸城(現在の皇居)周辺を歩く。	
日本の文化シリーズ「人生を装う着物展」・展示説明会(茶室福庵)	9月	1	70	「誕生」から「旅立ち」まで、七五三、成人式、結婚式など人生の節々を装う着物を通して人の一生をたどる展示をし、着物を通して人の一生を見つめる。また、展示説明会は、「着物の装いTPO(時間・場所・場合)とルール」と題して薄れて行く着物の取り決めごとなどを学習する。	
平和なとき	10月	1	30	だれでもなんでも展における、松林分館主催の絵本の読み聞かせ	
「お正月は着物で！」着付け教室	11月～12月	4	68	きもの入門として、正月に晴れ着を着る伝統に結び付け着物の理解と着る楽しみを体験する。	
歴史講座「玉川上水入門」	11月	2	24	市内を流れる身近な玉川上水の歴史やそれにまつわる話などの学習会と見学会を開催する。	
初心者せんてい教室	11月	1	16	自宅の庭や鉢に植えた樹木や草木の剪定ができるように、松林分館の庭で経験する。	
健康を考える学習会「救急救命」・「癌と糖尿病」	12月	3	32	いざというときのためのAED(自動体外式除細動器)操作講習会を実施する。さらに応急救護についても学ぶ。肺がんと胃がん及び生活習慣病といわれる糖尿病について学習する。	
たのしい絵画入門	12月～2月	6	110	絵画を描くことをとおして、創作する楽しさを学ぶ。作った作品を公民館、松林分館に展示する。	
パントマイムでからだ遊ぶ	1月～3月	5	55	楽しみながらパントマイムの基本動作や身体を動かす楽しさを体験する。	
心を元気にする「セラピー」(託児付き)	2月～3月	4	43	さまざまな環境の影響で受けた心や身体の不快な諸症状に気づき、セルフ・コントロールすることによってストレスの原因を緩和・軽減・消去する療法を学ぶ。	
放射線の基礎知識・食品の放射能汚染を考える(託児付き)	3月	2	30	放射線の基礎知識及び食品と放射線とのかかわりについて学ぶ。	
日本の文化シリーズ「篆刻展」・展示説明会(茶室福庵)	3月	1	43	篆刻は、書道・絵画・彫刻の要素をもつ東洋的な芸術。作品の印影と印材(石)を共に机上展示する。	
健康講座「西洋と東洋の知恵を学んで目指す健康」	5月～7月	11	135	自らの心身の弱点を知り、自然治癒力をアップする方法を学び、前向きに生きる力を仲間とともに高める。福生の公民館で健康講座の指導に関わって来た講師の協力を得て、医学や薬学、健康学など幅広い知見や視野から、市民の健康増進とちいきの交流を図る。	白梅
親子のための食育(前期)	5月～11月	10	104	親子で農作業や陶芸を体験し、継続的な農業体験や自然観察、陶芸の体験などを積むことによって、自然や食への理解を深めていく。	
陶芸教室「手づくりの灯りで癒しの空間を楽しむ」	6月～7月	6	55	節電を意識して、ランプシェードではなくキャンドルシェードとして使えるようなものを制作する。照明を落として蠟燭の柔らかい灯りを楽しみながら、普段何気なく使っていた電気について、その使い方を改めて考える。	
はじめてのホームビデオ編集	6月～11月	10	76	携帯電話やデジタルカメラ、ビデオで撮影した動画の編集を学ぶ。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
パソコン教室「はじめてのインターネット&ワードで暑中見舞い」	8月	3	39	マウスやキーボードの使い方や、インターネット、メール、文書作成ソフトの使い方などについて学び、パソコンの基本的な操作を覚える。	白梅
アロマキャンドル教室	9月～10月	3	27	見た目や香りも楽しめるバラの形のアロマキャンドルを作成する。	
地域の食育「ゆでまんじゅうとお抹茶体験」	9月	1	15	福生で作られた地粉を使い、地域の方と一緒に、かつての農家の日常食である「ゆでまんじゅう」を作る。	
地域の食育「サツマイモコース」	10月～1月	5	30	サツマイモの保存や料理について学び、食を楽しみながら食文化を継承し、食や農への関心を高め、交流や地域のつながりを図り健康的な食文化を次の世代に伝えていく。	
地域の食育「味噌がめ作りからはじめる味噌作り」	11月～2月	9	86	味噌がめと味噌を作る。味噌についても学習会をしながら、味噌の種類や歴史、働きなどを総合的に学ぶ機会とする。	
親子のための食育(後期)味覚と健康	1月～3月	4	27	「食の安全」や「健康を守る」ために必要な考え方や認識をもつために、「味覚の授業」を親子で体験する。	
熊川の歴史「ぶらり熊川歴史散歩」	2月	2	20	熊川地域の文化遺産を歴史的な視点から見直し、熊川の魅力を探り、地域を見直すきっかけとする。	
熊川分水を考える	3月	1	8	熊川地域の癒しの空間熊川分水を歩き、分水の成り立ちと地域や地場産業との関わりについて考える。	
防災講座	3月	3	68	地震の発生確率が高まっている今、過去の震災を教訓に自分や家族のいのちをどう守っていくのか。生き延びるために必要なことはなにか、皆で学び合っていく。	
男女共同参画講座 3館	2月	3	20	家族が介護を必要としたときに、誰が介護を行うのか。介護保険を受けられるが、内容がわからない。また介護を行うにあたって仕事との両立をどうするのか。そして男性が介護をするときにどんな問題が起きるのかなど話し合う。	3館
親子学習	5月～7月	10	105	親は気づきの学習講座と保育係の体験を学ぶ。子どもたちは、仲間と共に遊ぶ経験を通じて成長し、保育士とも信頼関係を築いていく。	松林

平成24(2012)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
市民音楽講座	4月～6月	11	894	初心者の方でも気軽に合唱に参加出来る機会として講座を行い、練習を通して、歌う楽しさ、参加者みんなで声を合わせ一つの曲を作り上げる喜びを体験する。また、発表を含め12回約3ヶ月間にわたり講座に参加することで、参加者同士の交流を図る。講師とともに一体感を持ち、福生市民音楽祭で講座の成果を発表する。	本館
市民文化教室 書道	6月～11月	10	115	10講座 10コース 7月～12月 日本の伝統文化・伝統芸能に触れ、理解を深めるために、入門編として初心者を対象に、福生市文化協会との共催で、10コースを実施コース設定については文化協会との打ち合わせのうえ決定。講師については、文化協会に加盟している分野の指導者から決定。市民文化教室への職員のかかわりについては、職員は各コースの初回のオリエンテーションと最終回の修了式に参加し、運営は講師と参加者が自らの教室として主体的に関わる。なお、教室での成果を市民文化祭で発表する。	
市民文化教室 詩吟	7月～11月	10	51		
市民文化教室 華道	7月～12月	10	74		
市民文化教室 着付け	7月～12月	10	131		
市民文化教室 日本舞踊	8月～10月	10	56		
市民文化教室 社交ダンス	8月～10月	10	71		
市民文化教室 大正琴	8月～10月	10	58		
市民文化教室 民謡	8月～10月	10	136		
市民文化教室 新舞踊	8月～11月	10	61		
市民文化教室 茶道	9月～11月	10	75		
平和講座「戦争絵画とその時代」	8月	1	89	二人の語り手から当時の世相や時代背景などをお話いただき、戦争絵画という新たな切り口で平和について考える。	
平和展示会「戦争絵画とその時代」	8月	1	160	同時に「戦争絵画パネル展」も開催し、絵画への考察を深める。	
体験！日本の文化(俳画展)	9月	1	53	あまり知られていない“俳画”を取り上げ、四季折々の風物を大胆な省略と少ない筆遣で表現した日本独自の絵画の世界を紹介する。	

第2章 公民館 10年のあゆみ 3 成人と公民館

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
人権講座「生命(いのち)のメッセージ講座」	10月	4	33	生命の大切さについて、交通事故などで遺族となった方々からの実例をもとに、自らの体験談や思いを語っていただく。	本館
地域福祉講座「孤独死問題などを考える」	12月	3	54	在宅で暮らす高齢者の実情について、福祉関係者から実情を話していただき地域福祉の課題・問題点を探る。	
体験！日本の文化(箏の調べ)	1月	1	55	“箏”をテーマに、新年の幕開けを箏の音色で祝う機会として、福庵でのミニコンサートを実施する。	
人権講座「DV防止講座」お互いを尊重したよりよい関係を目指して	2月	1	4	DVに関する正しい知識を学びながら、自分も相手も大切にすることを一緒に探す。	
男の料理教室「パパごはんを作ってみよう」	2月～3月	3	15	子育て中の男性を対象に初心者向け料理の講義と実習を行う。	
しの笛を吹く	4月～8月	10	146	初めてのしの笛を手にされる方を対象に、笛の持ち方、音の出し方、指使いなどを学ぶ。	松林
今昔エコ講座～地球にやさしく夏への準備	6月	3	22	身近にできるエコ技術を学ぶと共に皆で考え、実践できる機会を公民館で実施していく。	
災害時にも役立つアウトドア料理教室	7月	2	18	いざという時に役立つ野外料理を学ぶ。家族や地域のレクリエーションとして楽しみ、体験する。	
実践夏をおしゃれに浴衣着付け講座「福生七夕まつりは、浴衣で行こう」	7月	2	15	夏の風物詩とも言える浴衣を手軽に着れるように着付けを学ぶと共に、福生七夕まつり等で実際に着ていただくことで、浴衣への理解や着る楽しみを実感してもらう。	
健康ウォーキング(国分寺周辺、六義園周辺)	7月・11月	5	85	コースを歩く前に歩き方・靴・服装など一般的な注意点も学ぶ。歩く場所の事前学習会も行う。 1:国分寺史跡周辺、2:駒込周辺	
ジャズ入門講座	8月	5	90	ジャズの歴史をたどりながらCDやDVDでジャズ音楽を鑑賞する。	
サイクリング入門講座	9月～10月	4	28	ロードレースで優勝経験を持つ元アマチュアレーサーが、自転車の魅力や楽しみ方を語る。また、正しい自転車の乗り方やメンテナンスについて学んで、自分の自転車でサイクリングに行く。	
平和なとき	10月	1	30	だれでもなんでも展における、松林分館主催の絵本の読み聞かせ	
病気と健康を考える講座	11月	3	49	市民が健康に過ごすため病気に対する知識を深め予防・対処法などを学ぶ。	
歴史講座「幕末会津藩をめぐる群像」	11月～3月	8	148	幕末から明治にかけての歴史について当時の資料等を通して学習する。毎回人物に焦点をあて歴史に触れる。	
着付け教室(着付と文化史)	11月～12月	4	68	きもの入門として、正月に晴れ着を着る伝統に結び付け着物の理解と着る楽しみを体験する。	
わたしのこれから「自分で選ぶ老後設計」	1月～2月	4	79	団塊の世代を対象に、これからの自分らしい生き方をするためにどのような支えが必要か考える。各テーマの講師からのお話を伺い自分が望む生き方を考える。	
上手な「話し方、聴き方、伝え方」講座	2月～3月	4	39	人とのコミュニケーションの楽しさ、話す・聴くの大切さ、どのような場面でも臆せずに話せることの気持ちよさなどを体験学習をしながら学んでいく。	
心と体にやさしくらくらく介護講座	2月～3月	5	59	家庭や地域で体の不自由な方をサポートする際のちょっとしたコツを学ぶ。また、介護者の心のケアについて皆さんで考えていく。	
初心者俳句教室「みんなで詠もう五・七・五」	2月～3月	5	63	俳句の決まりごとを学習し、俳句を作って味わう。また、福生神明社境内で、俳句や芭蕉句碑をとおして福生の昔に触れる。	
小さな鉢に大きな宇宙「盆栽」を楽しもう！—盆栽や鉢植えの見方と手入れ方法—	2月～3月	4	48	盆栽、鉢植えの見方とその手入れの方法を学習する。最終日には、好きな植物を持参し鉢植えを作り、長い期間楽しむための手入れの方法を学ぶ。	
親子のための食育(前期)	6月～12月	8	120	今年も、白梅の裏の小さな畑で土との触れ合い、作物を育て収穫することの喜びや楽しさを、親子で体験してもらう。	白梅
四季の博物誌	6月・8月・10月・12月・2月	5	158	四季を通じてそれぞれの時期に気象の仕組みや特徴、注意点、年間行事や歳時記、博物誌などについても幅広く学び、気象とのつきあい方を学んでいく。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
大人の食育(前期)	6月～7月	4	45	塩分控えめ、添加物ゼロの梅干しや、カリカリ梅、ゆかり、梅塩、シソジュースなどの作り方、効果効能を学ぶ。	白梅
パソコン教室「はじめてのパソコン～ワードで文書作成」	7月～8月	3	29	初心者の方を対象に、パソコンの基本的な使い方を学ぶ講座。マウスやキーボードの使い方から始めて、インターネットや文書作成ソフトの使い方などを学び、最後には暑中見舞いはがきを作る。	
熊川分水に親しむ講座	9月～10月	6	97	市内を流れる熊川分水の成り立ちとその役割、そして歴史的価値や魅力について学び合う。	
陶芸教室「手づくりの茶碗でお抹茶をめしあがれ」	10月	6	56	お抹茶茶わん作りにチャレンジする。茶道の流儀を踏まえ、茶碗の景色にこだわって作る。	
防災講座「ゲームで学ぶ災害対応」	11月～12月	2	18	災害対応カードゲームを楽しみながら、いざという時の私たちの判断や行動について考え合っていく。	
大人の食育(後期)	1月～3月	4	55	健康によい発酵食品の味噌とキムチを作る。味噌作りは、かまどを使った昔ながらのやり方で作る。食文化を比較し、交流を深める。	
親子のための食育(後期)	1月～3月	5	109	小正月を祝うまゆ玉や、昔ながらの手作り味噌、節分のお飾りを作る。最後にお餅をついてひな祭りの菱餅や、千代紙でひな飾りを作る。	
熊川の歴史をひもとく	3月	2	44	近世の熊川村における支配層と人々の暮らしに焦点をあてて歴史を振り返る。	

平成25(2013)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
市民音楽講座	4月～6月	11	1,066	初心者の方でも気軽に合唱に参加出来る機会として講座を行い、練習を通して、歌う楽しさ、参加者みんなで声を合わせ一つの曲を作り上げる喜びを体験する。また、発表を含め12回約3ヶ月間にわたり講座に参加することで、参加者同士の交流を図る。講師とともに一体感を持ち、福生市民音楽祭で講座の成果を発表する。	本館
住民自治講座「原発事故からの全村避難～今、飯館村は」	5月	1	26	原発災害により全村避難となった福島県飯館村の職員から、避難の状況・現況、避難所生活の変化、地域コミュニティーの崩壊、健康問題、自治組織の課題など語っていただき、助言者から、飯館村の復興に向け、これからのまちづくりについて意見をいただき、今後帰村に向けてどのような支援ができるのか、参加者と共に考えていく機会とする。	
市民文化教室 日本舞踊	7月～10月	10	83	8コース 各10回 7月～12月 日本の伝統文化・伝統芸能に触れ、理解を深めるために、入門編として初心者を対象に、福生市文化協会との共催で、市民文化教室(8コース)を実施する。 コース設定については文化協会との打ち合わせのうえ決定 講師については、文化協会に加盟している分野の指導者から決定 市民文化教室への職員のかかわりについては、職員は各コースの初回のオリエンテーションと最終回の修了式に参加し、運営は講師と参加者が自らの教室として主体的に関わる。 なお、教室での成果を市民文化祭で発表する。	
市民文化教室 詩吟	9月～11月	10	51		
市民文化教室 天王ばやし	8月～10月	10	78		
市民文化教室 民謡	8月～10月	10	140		
市民文化教室 書道	8月～11月	10	138		
市民文化教室 茶道	9月～11月	10	78		
市民文化教室 華道	9月～12月	10	42		
市民文化教室 着付け	9月～12月	10	163		
平和講演「戦争絵画とその時代」	8月	1	36	昨年度、戦争絵画集を所有している市民から資料提供があり、借用し平和について考える機会として講演会とパネル展を実施した。その講演会での質疑やアンケートの結果から、同様な企画の開催要望が多いことから、学習の継続として本講演会を計画した。今回はその続編となることから、引き続き戦争絵画を題材に、描かれた時代背景の考察とその時代の情勢について、二人の講演を聞き平和について考える機会とする。	
平和展示会「戦争絵画とその時代」	8月	1	80	また、同時に「戦争絵画パネル展」を開催し、絵画への考察を深める。	

第2章 公民館 10年のあゆみ 3 成人と公民館

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
茶室福庵開設20周年記念事業 「浴衣で七夕 & お茶席体験」	8月	2	15	茶室福庵開設20周年の区切りとして記念事業を行い、市内外に親しまれるよう周知するとともに、日本文化に親しむ機会を設け、より一層の活用促進を図る。 「浴衣で七夕 & お茶席体験」和の美しさに気付き、自らが体験することにより、日本文化を日常に取り入れるきっかけをつくる。浴衣を着用し、お茶席体験に参加できるよう、浴衣の着付け教室を1回実施する。着物を着用した際の所作指導も行う。お茶席体験当日もフォローとして予約制により着付けの指導を行う。	本館
一人称で語る「いのちのメッセージ講座」	10月～11月	4	28	交通事故や自死で被害となった遺族の方々から、自らの体験や思いを一人称で語っていただき、生命の大切さ、人権感覚を養う講座	
「史記」を読む講座	1月～2月	5	138	司馬遷の「史記」をテーマとして、サークルからの要望をとり入れ、史記の概要や特に人気・関心のあるところの一部から原文を読み、講師から分かりやすい解説・注釈をしてもらう。学ぶ楽しみを享受する。	
子どもを加害者にも被害者にもしない保護者のためのデートDV防止講座	2月	1	5	親の知らないうちに子どもたちが被害者・加害者になっていたら？ 子どもの安全を脅かすデートDVに関する正しい知識を学びながら、兆しを見つけ、子どものサポートができるヒントを一緒に探す。	
地域福祉講座「成年後見制度とその実態」	2月	2	25	実際に第三者成年後見をされている後見人からその実態を話していただき、地域福祉制度の一端を垣間見ながら、課題等を探っていく。	
楽しいボランティアで腹話術(初心者腹話術教室)	5月～11月	12	128	腹話術は相手の心を笑いと和みで開かせ、難しい話でも楽しく印象的に伝えることができるもので、子どもから老人まで楽しめる。また、セラピーや教育にも使うことができる。この講座ではこの技術を身に付け、ボランティア活動の一助になるよう学習会を進める。	松林
みんなで楽々家事～収納編・掃除編～	6月	3	57	整理収納の工夫や、重曹や酢などを使った掃除の仕方などのお話を聞き、環境に優しく効率のよい家事を習得する。	
大輪菊作りにチャレンジしませんか！	6月～10月	6	63	日本の伝統文化である大輪菊作りは、秋ともなると文化祭などで良く見られる。福生市では、菊作りの会があり活動しているが、会員の高齢化等により減少している。そこで会との共同で初心者向けに学習会を実施する。	
健康ハイキング講座	9月	3	29	健康づくりのため、身近な山にハイキングをしたいと思う人が増えてる。そこで、ケガなく楽しむために、安全な山の歩き方について学習する。	
平和のとき	10月	1	30	だれでもなんでも展における、松林分館主催の絵本の読み聞かせ	
初心者書道教室	10月～1月	8	154	パソコンや電子メールがこれだけ普及している今の時代、文字を書く機会はどんどん少なくなっている。書道は、日本が世界に誇る伝統文化の一つであり、毛筆による手書き文字は、これからも大切にしていきたい素晴らしい文化である。書道の基本を身につけながら、個々の希望やレベルに応じて学習を進めていく。また、静かなひと時を共有し、仲間作りを目的に実施する。	
みんなで楽々家事～洗濯・住居のメンテナンス・お料理・省エネ学習編～	11月～12月	4	48	家庭で出来る省エネの工夫や、電子レンジの上手な使い方を実習し、燃料費の節約の方法などを学習する。また年末の大掃除に向けて床のメンテナンスのやり方や、重曹・石けんなどを使ったしみ抜き、セーターの洗い方などのお話を聞き、環境にも家計にも優しい、効率のよい家事を習得する。	
初心者きもの着付け文化教室(着付と文化史)	11月～1月	6	52	きもの着付け、きものや帯のコーディネート、所作など、きもの文化を学ぶ。また、古くから使われている藍を用いた染色の技法、歴史などを学ぶ。	
わたしのこれから「老後設計」II	11月～1月	6	52	楽しい老後生活を送るための準備講座。個々の準備や地域で見守り合い、支え合う準備など、みんなで考える。	
防災講座「住宅の耐震化について」 「家庭でできる耐震対策」	12月	2	21	講師に住宅耐震と防災・減災・災害救援ボランティア等についてのスペシャリストをお招きして、身近なところから地震対策について学習する。	
生き生きと活動するための健康講座～腰・肩・関節等の健康法を考えよう！～	1月～2月	3	61	生き生きと日常生活が送れるように、腰・肩・関節等にまつわる障害についての予防法等を考えていく。腰・肩・関節等の専門家から、健やかに豊かで活動的な生活が送れるよう、身体の健康法・予防法等を学習する。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
昔話の魅力	2月	4	75	誰でも知っている昔話や地域で受け継がれている昔話。「昔話とは何か」、「自然暦・年中行事と昔話」「人の一生と昔話」、「妖怪変化と昔話」についてテーマごとに学ぶ。	松林
思わず読みたくなる！たよりとチラシの作り方	2月	3	27	専門家の技を聞き、手にとってもらえるチラシ、読んでもらえるたより作りを学ぶ。	
まちづくり講座「住んでよかった！」と思えるまちづくり講座	2月	3	47	福生市の魅力について講師よりヒントをもらい、住みたい「まち」について考える。福生を愛する『福生人』を一人でも多く増やしていく、考えあひ学びあう講座。	
文学講座「中里介山と『大菩薩峠』の世界」	4月～3月	12	125	近代文学の巨匠、中里介山の生涯や時代背景、思想などを知り、未完の大河小説『大菩薩峠』の世界を味わう。また、多摩を中心に介山ゆかりの地を訪ね、足跡をたどる。	
親子のための食育(前期)	5月～12月	8	100	親子で白梅の裏の小さな畑を耕して、作物を育て収穫することの喜びや楽しさを体験する。	
大人の食育(前期)	5月～12月	7	70	福生の地域の伝統食を見直し、四季に応じた保存食、行事食をすることで、食体験を伝承していく。また共通の食体験を通じて、地域の交流を深め、更に家族にフィードバックすることで、家族の絆や健康度を高めていく。	
防災講座「ゲームで学ぶ災害対応」	7月	1	21	避難所運営ゲーム(HUG)をもとに災害時の避難所運営を模擬体験する。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所(福生第二小学校)の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応していくかを考えあう。	白梅
初心者パソコン教室「エクセル入門」	8月	2	30	初心者の方を対象に、パソコンの基本的な使い方を学ぶ講座。マウスやキーボードの使い方から始めて、表やグラフの作成方法などを学ぶ。	
熊川分水に親しむ講座	9月～10月	4	52	市内を流れる熊川分水の成り立ちとその役割、そして歴史的価値や魅力について学ぶ。	
墨絵入門教室	10月～11月	4	59	これからの高齢化社会で、身近に集中力や創造力を高めながら、地域での仲間づくりやサークル活動は大事である。また利用者から、墨絵の講座の要望があった。そこで、取り組みのきっかけが少ない墨絵に気楽に親しんでいただき、サークル活動につなげていく。	
福生の四季を味わう「秋編」	10月	1	21	福生の自然と生き物、四季の移り変わり、秋の風物詩を味わう。	
陶芸教室「手づくりの茶碗とお抹茶をめしあがれ」	11月～12月	6	58	抹茶茶わんの制作を通し、陶芸の基礎を学ぶとともに、茶道具としての茶碗についての見識を深める。またお抹茶体験等を通して茶道ひいては日本の伝統文化への理解につなげる。	
パソコン教室(中級)	11月	2	20	自宅のノートパソコンを使って、ワードで年賀状の作り方を勉強する。	
大人の食育(後期)	1月	2	27	味噌の作り方を学ぶとともに、味噌や発酵食品の栄養や健康面での効果などについても学びを深め、市販の味噌と食べ比べながら、楽しく交流を深める講座とする。	
ぶらり熊川歴史散歩	3月	2	33	熊川の魅力を探り、歴史に思いをはせる。講師のお話をもとに、ゆつたりのんびりと熊川を散策する。	
福生の四季を味わう「春編」	3月	1	9	福生の自然と生き物、四季の風物詩を味わう。	
煎茶の歴史と楽しみ方	3月	2	11	お湯の温度や湯量、時間など、家庭でできる、美味しく入れるコツや味わい方などを学び、日常生活に生かしていく。また煎茶の歴史を学び、煎茶の茶会も体験し、日本の伝統文化にふれる機会とする。	

平成26(2014)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
市民音楽講座	4月～6月	12	1,087	初心者の方でも気軽に合唱に参加出来る機会として講座を行い、練習を通して、歌う楽しさ、参加者みんなで声を合わせ一つの曲を作り上げる喜びを体験する。また、発表を含め12回約3ヶ月間にわたり講座に参加することで、参加者同士の交流を図る。講師とともに一体感を持ち、福生市民音楽祭で講座の成果を発表する。	本館

第2章 公民館 10年のあゆみ 3 成人と公民館

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
市民文化教室 日本舞踊	7月～10月	10	78	8コース 各10回 7月～12月 日本の伝統文化・伝統芸能に触れ、理解を深めるために、入門編として初心者を対象に、福生市文化協会との共催で、市民文化教室(8コース)実施 コース設定については文化協会との打ち合わせのうえ決定し、講師については、文化協会に加盟している分野の指導者から決定 市民文化教室への職員のかかわりについては、職員は各コースの初回のオリエンテーションと最終回の修了式に参加し、運営は講師と参加者が自らの教室として主体的に関わる。 なお、教室での成果を市民文化祭で発表する。	本館
市民文化教室 大正琴	8月～10月	10	98		
市民文化教室 民謡	8月～10月	10	78		
市民文化教室 書道	8月～11月	10	110		
市民文化教室 詩吟	9月～11月	10	63		
市民文化教室 着付け	9月～11月	10	89		
市民文化教室 社交ダンス	9月～11月	10	66		
市民文化教室 華道	9月～12月	10	36		
福庵でおもてなし「浴衣でお茶席体験」	8月	2	18	茶室福庵を周知するとともに、日本文化に親しむ機会を設け、より一層の活用促進を図る。和の美しさに気付き、自らが体験することにより、日本文化を日常に取り入れるきっかけをつくる。浴衣を着用し、お茶席体験に参加できるよう、浴衣の着付け教室を2回連続で実施する。着物を着用した際の所作指導も行う。	本館
福庵でおもてなし「箏と語りのハーモニー」(図書館共催)	8月	1	36	音と文学を通じ、日本文化の新たな魅力を発見するものとする。なお、図書館との共催として実施し、図書館には語りを担当する「おはなしボランティアポケット★ポケット」との連絡調整や、当日の関連図書の展示による情報提供を行ってもらう。	
平和講座「戦争絵画とその時代」	8月～9月	2	18	戦争絵画を見学し、後日、学習会で戦争と平和について改めて考える。	
フォト講座「写真でアピール！福生の魅力」	9月～10月	5	76	私たちのまち福生の魅力を表現する写真を撮影し、パネルに仕立て、市民会館で展示する。また参加者の承諾を得て写真データを市ホームページに掲載する。	
人へのやさしさ「いのちのメッセージ講座」	9月～10月	4	78	交通事故で家族を亡くされた方や児童虐待などのお子さんを養育している里親、また発達障害を持つ方から、自らの体験をもとに命の大切さや人へのやさしさについて語っていただく。	
イクメン講座「お父さんと遊ぼう！」	11月～12月	3	76	子どもが身体を動かすことの楽しさを知り、父と子の絆を深める機会とともに、父親同士の地域での係わり合いのきっかけを提供する。	
福庵でおもてなし「ヴァイオリンと語りのひととき」(図書館共催)	12月	1	44	8月に箏と語りを通じ、日本文化の新たな魅力を発見する事業を行ったが、今回はヴァイオリンという「洋」の要素を加味することで、さらに広がりのある魅力を発信する。なお、図書館との共催として実施し、図書館には語りを担当する「おはなしボランティア おはなしのもり」との連絡調整や、当日の関連図書の展示による情報提供を行ってもらう。	
「史記」を読む講座Ⅱ～故事成語の由来をたずねて	1月～2月	5	138	普段何気なく使っている「完璧」などの言葉は歴史書「史記」の中に登場する。講座では「史記」を読み、故事成語の由来やエピソードをたずねる。	
新春落語「落語で学ぶ相続・遺言・後見」	1月	1	23	どこの家庭でも起こりうる相続問題。相続・遺言にまつわる問題や解決という難しい話を、相続トラブルの解決実績を多数もつ実務家行政書士が、落語で分かりやすく解説する。	
地域福祉講座「認知症の現状と地域の支援」	2月	3	52	地域で活動している専門家から認知症に関わる現状を報告していただき、その中から見えてくる地域課題や地域の支え合いなどを探っていく。	
平和パネル展「3.10東京大空襲」	2月～3月	15	540	当時の様子を撮影した貴重な写真や資料を展示する。また、空襲体験者からの解説を聞く。	
多文化クッキング&トーク「西アジア編」	3月	1	13	料理を媒介として多国籍の人が交流し、身近な多文化共生の一步として相互理解を深めることを目的とする。福生在住の外国人の方に祖国の料理を教えていただき、一緒に食事を取りながら、食文化をはじめとした祖国の文化や現在の状況、また福生に住んで感じていることなどを聞いて、相互理解と交流の促進を図る。	
大切な人を支えたい～DV防止講座～	3月	1	3	DVに関する正しい知識を学び、被害に遭った人たちをどのようにしたら支え合っていけるのか、一緒に考える。	
ハッピーセカンドライフセミナー「地域があなたを待っている」	3月	2	20	リタイア後のライフプランを地域での活動を中心に考える講座。プランを考える上で必要な情報を学び、後半は参加者も企画に加わって地域活動体験などを行う。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
大輪菊作りにチャレンジしませんか！	5月～7月・9月～10月	6	53	日本の伝統文化である大輪菊は、秋になると展示会などが各地で開かれ私たちを楽しませてくれる。今回は3本立て大輪菊作りのさし芽から栽培を学ぶ。	松林
健康ハイキング入門講座(前期)	7月	2	15	身近に安全にハイキングを楽しむ方法について学習し、生き生きとした豊かな日常生活を送る一助とする。また、実際に身近な低山に登り、周囲の景色を楽しみながら、地域の自然や歴史・文化に触れ、関心を深める。	
生き残るための防災講座	9月	2	25	一番大切なのは、災害が起きたその瞬間に命を守ること。力のない人でも楽に救助・脱出が出来る知恵と技や、子連れで避難する方法などを実践を交えて伝える。普段使っているものでの防災バッグの作り方など「ものを増やさず、減らす防災」のコツなどを学ぶ。	
平和のとき	10月	1	30	だれでもなんでも展における、松林分館主催の絵本の読み聞かせ	
初心者書道教室	10月～1月	8	124	書道は、日本が世界に誇る伝統文化の一つであり、毛筆による手書き文字は、これからも大切にしていきたい素晴らしい文化である。昨年度に引き続き、書道の基本を身につけながら、個々の希望やレベルに応じて学習を進め、文化を継承していく。また、静かなひと時を共有した仲間づくりを目的に実施する。	
健康ハイキング入門講座(後期)	10月～11月	2	30	身近に安全にハイキングを楽しむ方法について学習する。今回は、市の庁用バスを利用して、実際に身近な山に登り、周囲の景色を楽しみながら、地域の自然や歴史・文化に触れ、関心を深める。	
文学講座「源氏物語からみる女たち」	11月～1月	6	70	源氏物語を読むことにより、登場人物の人間像をひもときながら、昔の人々の生活の様子や考え方、感じ方に触れ、人間について改めて考える機会とする。光源氏の女性遍歴に特化するのではなく、その時代背景、女性の生き方について学ぶ。また物語を学びながら、言葉の豊かさに気付いたり、古典の表現が現在の表現とは違うことを読み取り、表現の楽しさ、難しさに気付く。	
松林ウインターワークショップみんなで作ろう！①松ぼっくりでリースを作ろう！②羽子板を作ろう！	12月	1	24	参加者の限定をはずし、みんなで楽しみながら教えあいながら作るワークショップを実施し、松林分館利用者の交流を図る。	
まちづくり講座「素敵なまち—こうしたまちにしたい！」	1月～2月	3	46	人とまちの資源(自然・景観等)を大切にしていちまちづくりについて考えあひ学びあう講座とする。『まちづくりはひとづくり』であることから、地域の絆を大切に福生を愛する『福生人』を育てていくには、公民館活動はじめ地域活動をどのようにしていくかを考える。	
シニアのための！楽しいスマホ教室	3月	2	40	スマートフォンを持ってはいないが、使ってみたいと思っているシニア世代を対象に、「スマートフォンとは」「インターネットとは」などの講義を受け、アプリを教材で体験し、実際にスマートフォンを操作しながら、基本の使い方や楽しく使うコツを学習する。また防災に役立つ情報も聞く。次に、スマートフォンを購入してみたが、使い方がよくわからないというシニア世代を対象に、教材でインターネットを体験し、アプリを正しく使うコツやスマートフォンならではのアプリを体験し学習する。また安全に使用するためのアプリのダウンロード方法や、災害時に役立つ情報も知らせていく。	
文学講座「中里介山と『大菩薩峠』の世界」	4月～3月	12	151	近代文学の巨匠、中里介山の生涯や時代背景、思想などを知り、未完の大河小説『大菩薩峠』の世界を味わう。また、多摩を中心に介山ゆかりの地を訪ね、足跡をたどる。	白梅
大人のための食育講座「カリカリ梅」	6月	2	46	地域の伝統食や季節に応じた行事食の背景や作り方を学び、次世代につなげていく。今回はお茶受けにぴったり、子どもも大好きな梅の砂糖漬けを作る。	
エコクラフトテープでつくる手さげバッグ(石畳編み)	7月	4	27	夏に向けて普段使いのできる、用途の広いバックを作る。	
福生の四季おりおり「夏編」	7月	1	9	多摩川や熊川分水の水辺の生き物を中心に、福生の自然環境について学ぶ。	
白梅平和映画会「ほたるの墓」	8月	1	17	高畑勲監督・スタジオジブリの「火垂るの墓」を観て平和について考える。	
熊川分水に親しむ講座	9月～11月	5	41	市内を流れる熊川分水の成り立ちとその役割、自然環境や文化的な価値、私たちの暮らしとのかかわりについて学ぶ。	

第2章 公民館 10年のあゆみ 3 成人と公民館

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
大人のための食育講座「おやき」	9月	1	7	皮にじゃがいもを使うおやきを作る。	白梅
陶芸教室「手作りティーセットでミニお茶会」	10月～11月	6	42	ティーカップ、ソーサー、スプーンのティーセットの制作を通し、陶芸の基礎を学ぶ。	
白梅歴史懇話会(熊川の歴史)	10月～3月	6	216	昭和初期の熊川の様子を、当時を知る古老にうかがいながら、地域の移り変わりや人々の暮らしの変化について懇談的に話し合う。	
大人のための食育講座「手作り味噌」	1月	2	34	味噌づくりの実践と味噌をはじめとした発酵食品について学んでいく。	
福生の四季おりおり「冬編」	1月	1	9	福生の自然と生き物、四季の移り変わり、冬の風物詩を味わう。	
パソコン教室「エクセル入門」	2月	3	30	エクセルの基本的な操作を医療費の明細を入力しながら学ぶ。	
楽しいロコトレ講座	2月～3月	4	70	ロコトレとは「ロコモティブシンドローム」(加齢に伴って足腰の筋肉や骨が衰えて歩行が難しくなる)を予防するトレーニング。いつまでも自分の足で歩き続けて行くためにロコモ予防が大切。椅子に座りながらの運動を中心に楽しくトレーニングしていく。	
人権講座「LGBTについて知ろう」	3月	1	10	講師やLGBT当事者の話を通して、すべての人にとって「自分らしく生きられる社会」を作るために学ぶ。	

平成27(2015)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催	
市民音楽講座	4月～6月	12	909	初心者の方でも気軽に合唱に参加出来る機会として講座を行い、その練習を通し歌う楽しさ、参加者みんなで声を合わせひとつの曲を作り上げる喜びを体験する。	本館	
ハッピーセカンドライフセミナー「地域があなたを待っている」	4月～3月	11	103	団塊の世代が75歳以上となり、超高齢社会を迎えるという2025年問題を控え、健康で活動が続けるというあり方を目指すことがリタイア後のライフプランには不可欠であり、特に社会貢献、地域貢献の視点が重要である。この講座では定年前後の方を対象に、地域での活動への参加促進を図ることを目的とする。 ライフプランを考える上で必要な情報を学ぶセミナーが終了し、地域活動の視察として、受講者から希望のあったコミュニティ・カフェの見学を行う。あわせて新たな地域の交流の場として注目されるシェアハウス内の交流スペースを訪問し、お話をうかがう。		
「落語で学ぶ相続・遺言・後見」	6月	1	26	相続トラブルの解決実績を多数もつ実務家行政書士が、落語で相続・遺言にまつわる問題や解決法をわかりやすく解説する。		
市民文化教室 日本舞踊	7月～10月	10	69	7コース 各10回 7月～12月		
市民文化教室 華道	7月～12月	10	120			
市民文化教室 大正琴	8月～10月	10	58	日本の伝統文化・伝統芸能に触れ、理解を深めるために、入門編として初心者を対象に、福生市文化協会との共催で、市民文化教室(7コース)を実施 コース設定については文化協会との打ち合わせのうえ決定し、講師については、文化協会に加盟している各分野の指導者から決定 市民文化教室への職員のかかわりについては、職員は各コースの初回のオリエンテーションと最終回の修了式に参加し、運営は講師と参加者が自らの教室として主体的に関わる。 なお、教室での成果を市民文化祭で発表する。		
市民文化教室 民謡	8月～10月	10	99			
市民文化教室 書道	9月～11月	10	102			
市民文化教室 社交ダンス	9月～11月	10	66			
市民文化教室 着付け	10月～12月	10	124			
多文化クッキング&トーク「ネパール編」	8月	1	13			多摩地区在住の外国人の方に祖国の料理を教えていただき、一緒に食事を取りながら、食文化をはじめとした祖国の文化や現在の状況、日本に住んで感じていることなどを聞いて、相互理解と交流の促進を図る。また、福生市内で外国にルーツのある子どもたちのサポートを行う団体の方にも参加いただき、トークの中で現況をお話いただく。
ヒロシマ・ナガサキ「原爆と人間～体験を聴く会～」	8月	2	37			太平洋戦争終結から今年で70年が経ち、戦争体験を語れる方が年々少なくなっている。このような状況から、平和について考える機会とするため、先人たちは当時何を感じ、どのように考えていたのかを聞き、語り合う学習会を行う。また、同時に、ドイツ平和村をサポートする会が所有する、広島・長崎の被爆後の記録写真パネルを借用し、パネル展を開催し、さまざまな角度から平和について学んでいく。本事業は、ドイツ平和村をサポートする会と協働し、公民館の平和事業として実施する。
ヒロシマ・ナガサキ「原爆と人間」パネル展	8月	6	6			

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
福庵でおもてなし「風呂敷の魅力再発見！」	9月	2	210	茶室という伝統文化に触れるのに最適な場所で、風呂敷の展示を行う。講師に木綿古布収集家の豊田満夫氏を招き、約5,000枚にのぼるコレクションの中から、昭和初期の風呂敷を中心に、江戸時代から現代に至るまでの風呂敷を展示、説明する。二日目に風呂敷の包み方の実習を併せて行い、風呂敷について幅広く学ぶ機会とする。	本館
福庵でおもてなし「風呂敷の魅力再発見！～風呂敷の包み方ワークショップ～」	9月	1	22		
市民歴史講座	10月～12月	5	82	江戸から明治・大正時代にかけて福生地域と周辺の人々は、どのように生きてきたのか。私たちに身近な歴史・文化を様々なエピソードなどを交えながら学ぶ。	
フォト講座「福生の魅力を再発見」	11月～1月	5	58	写真撮影の基本を学び、福生の魅力的なシーンを普段とは異なる視点で撮影する。作品を市民会館にて展示し、広く一般市民にも福生の魅力あふれる写真をPRする。	
福庵でおもてなし「箏の音色と語りを楽しむ」	2月	1	33	福生市の貴重な財産として大切に守るべき施設である茶室福庵を舞台に、茶道に限定せず、日本建築の趣きある空間を生かしてその魅力を伝える事業を実施する。	
福庵でおもてなし盆栽ワークショップ～小さな鉢に大きな宇宙「盆栽」を楽しもう！～	3月	2	33	盆栽、鉢植えの見方や手入れの方法を学習し、最終的には好きな植物を持参し実際に鉢植えを作り、長い期間楽しむための手入れの方法を学ぶ。	
東京大空襲体験画展	3月	2	-	東京大空襲が起きた3月10日は「東京都平和の日」と制定されており、福生市公民館でもこの日を中心に平和パネル展を実施し、継続して平和について考える機会としている。今回は新たに墨田区のすみだ郷土文化資料館から東京大空襲体験画キットを借用し、パネル展を開催し、平和学習の機会とする。	
平和朗読会と語り合う会	3月	1	10	東京大空襲体験画展に併せ朗読会を行い、参加者が感じたことや思いを語り合う時間を設け、平和について考えていく。	
DV防止講座「あなたも知らぬ間にしてるかも！？～家事ハラ・パワハラ・モラハラetc～」(託児付き)	3月	2	11	配偶者による暴力は家庭内の問題として表面化しにくく、実態についてはあまり知られていないのが実情。本講座ではDVの概要や福生市の現状について学び、一人でも多くの方が全般的な理解と現状を知る機会としていく。	
親子アウトドア講座	3月	2	22	やさしい野外料理や外遊びをしながら、より親子の関係を深め、野外活動の楽しさを見つける。初回はミーティング、2回目に野外実習を行う。	
健康ハイキング入門講座(前期)	5月	2	31	安全にハイキングを楽しむ方法について学習し、生き生きとした豊かな日常生活を送る一助とする。また、実際に身近な低山に登り、周囲の景色を楽しみながら、地域の自然や歴史・文化に触れ、関心を深める。	松林
シニアのための！楽しいスマホ教室	6月	2	40	スマートフォンを使ってみたいと思っている方や、購入してみたけれど、使い方がよくわからなくて困っている方への、安全なスマートフォンの使い方を学ぶ講座	
松林サマーワークショップみんなで作ろう！～涼をよぶ手描きうちわを作ってみよう～	7月	1	9	松林分館が贈る、夏のワークショップ。手描きうちわを作る。	
平和講座「平和への願い～戦争・迫害・犠牲から学ぶ」	7月	3	49	今年は戦後70年を迎える節目の年。この講座では、二人の講師から戦争と平和に関わるお話をうかがい、改めて平和や命の尊さ・大切さを学ぶ。1回目は杉原千畝のユダヤ人へのビザ発給、2回目はナチスによるユダヤ人虐殺、3回目は参加者との話し合い	
戦争体験談～九死に一生を得た～「五日市線多摩川鉄橋の惨劇」	8月	1	44	今年は戦後70年を迎える節目の年。年々戦争体験をしている人が減っている今、戦争を知る人から実体験を聞ける貴重な講演。現実空襲・機銃掃射を体験した地元の市民の方から、その体験談を聞く。	
公民館PR講座「行って得する公民館講座」	9月～10月	5	74	公民館での学びやサークル活動、人との交流、地域のつながりなどについて、公民館を通して人生を豊かにしていった市民の方を招いて、人生プラスアルファのヒントを、公民館の活動の中から探していく。	
文学講座「源氏物語からみる女たちⅡ」	9月～12月	8	141	源氏物語を読むことにより、登場人物の人間像をひもときながら、昔の人々の生活の様子や考え方、感じ方に触れ、人間について改めて考える機会とする。光源氏の女性遍歴に特化するのではなく、その時代背景、女性の生き方について学ぶ。また物語を学びながら、古典の表現が現在の表現とは違うことを読み取り、表現の楽しさ、難しさに気付く。	

第2章 公民館 10年のあゆみ 3 成人と公民館

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
「命のメッセージ講座」～社会を変える種まき～	10月	4	49	がん、自死、交通事故など理不尽なかたちで家族を失った方たちから、「命」をテーマに自身の体験を通じて、社会を変えていくための活動を語っていただく。	松林
平和なとき(平和に関する絵本の朗読)	10月	1	55	だれでもなんでも展における、松林分館主催の絵本の読み聞かせ	
健康ハイキング入門講座(後期)	10月～11月	2	29	心身ともに充実した日常生活を送るために、自然と親しむことが求められている。安全にハイキングを楽しむ方法を学び、実際に身近な山に登り、周囲の景色を楽しみながら地域の自然や歴史・文化に触れ関心を深める。	
裁判員制度講演会「裁判員裁判の現状と課題」	11月	1	20	東京地方裁判所の裁判官及び主任書記官を招いて、裁判員裁判の現状を語っていただき、裁判に関わった裁判員の様子や課題などを探る。	
松林ウインターワークショップ～クリスマスリースと消しゴムはんこで年賀状をつくろう～	12月	1	15	松林分館が贈るワークショップ。クリスマスリース、消しゴムはんこで年賀状を作る。	
地域福祉講座「知っておこうセーフティネット制度」	1月～2月	3	46	一人暮らしや認知症、介護、貧困のことなど、現在及び老後を見据え、みんなが地域で安心して暮らしていくため、地域社会を支えるセーフティネット制度がどのようなものなのか学び、その現状や課題などを探っていく。	
伝統文化講座・押絵「たまごびなを作ろう」	2月	3	54	日本の伝統文化、日本人の技を使って押絵を楽しむ。色紙にたまごの形をしたおひなさま「たまごびな」を作る。	白梅
まちづくり講座	2月～3月	4	62	人とまちの資源(自然・景観等)を大切にしていちまちづくりについて考えあひ学びあう講座とする。『まちづくりはひとづくり』であることから、地域の絆を大切に福生を愛する『福生人』を育てていくには、公民館活動ははじめ地域活動をどのようにしていくかを考える。	
文学講座「中里介山と『大菩薩峠』の世界」	4月～3月	12	191	近代文学の巨匠、中里介山の生涯や時代背景、思想などを知り、未完の大河小説『大菩薩峠』を読みながら作品の世界を味わう。また多摩を中心に介山ゆかりの地を訪ね、足跡をたどる。	
白梅歴史懇話会(熊川の歴史)	4月～3月	10	329	熊川の昔を、当時を知る古老にうかがいながら、地域の移り変わりや人々の暮らしの変化について懇談的に話し合う。	
お花と野菜のコンテナガーデン	5月～7月	3	26	見て美しく食べておいしい、野菜やハーブ、草花で寄せ植えを作る。	
大人のための食育講座「カリカリ梅」	6月	2	50	季節に応じた伝統食の作り方を学び、次世代につなげる。今回はお茶受けにぴったり、子どもも大好きな梅の砂糖漬けを作る。	
福生の自然を感じる散策「夏編」	6月	1	19	玉川上水沿いの、みずくらいど公園や日光橋公園付近を四季の移り変わりや自然を感じながら散策する。	
白梅平和映画会「うしろの正面だあれ」	8月	1	23	この映画は、「下町のおかみさん」こと海老名香葉子さん(落語家故林家三平師匠夫人)が少女期の体験を書いた児童文学が原作になっている。昭和20年の東京大空襲で家族を失う不幸に遭いながらも、みんなの分まで幸せになるんだと誓い、生きていくお話。こんな悲劇が二度と起こらないよう平和について考える。	
LGBT講座～あなたが変われば地域が変わる～	9月～2月	6	62	LGBTとは、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーから頭文字をとった、性的少数者の総称。左利きの人と同じ程度の割合とも言われている、身近にもいる多様な性を生きる人々について知り、共に学ぶ。	
熊川分水に親しむ講座	9月～10月	4	40	市内を流れる熊川分水の成り立ちとその役割について学び合い、「熊川分水に親しむ会」の方々の協力のもと、保全と活用についてともに考える。	
楽しいロコトレ講座	9月～10月	5	57	ロコトレとは「ロコモティブシンドローム」(加齢に伴って足腰の筋肉や骨が衰えて歩行が難しくなる)を予防するトレーニング。いつまでも自分の足で歩き続けて行くため、腰痛を予防する体操なども行う。	
陶芸教室「手づくりの茶碗でお抹茶をめしあがれ」	11月～12月	6	50	抹茶茶わんの制作を通し、陶芸の基礎を学ぶとともに、茶道具としての茶碗についての見識を深める。またお抹茶体験等を通して茶道ひいては日本の伝統文化への理解につなげる。	
宇宙と原子力講座	12月	2	24	ニュースなどでよく耳にする「原子力」とは、どういった活用をされ、役立てられているのか。歴史の最古ともいえる宇宙の誕生から未来の宇宙開発まで、原子力について正しく、楽しく学ぶ。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
福生の自然を感じる散策「冬編」	12月	1	9	多摩川中央公園付近を四季の移り変わりや自然を感じながら散策する。	白梅
パソコン教室「エクセル入門」	2月	3	29	エクセルの基本的な操作を医療費の明細を入力しながら学ぶ。	
楽しい食育講座「食の安全を考えよう」	3月	1	6	食品選択や安全性、表示のしくみなど、「食」に関する知識と選択眼を身につける。	

平成28(2016)年度

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
市民音楽講座	4月～6月	12	894	初心者の方でも気軽に合唱に参加出来る機会として講座を行い、その練習を通し歌う楽しさ、参加者みんなで声を合わせひとつの曲を作り上げる喜びを体験する。	本館
福庵でおもてなし「茶室を語る～福庵ができるまで」	4月	1	35	講師から、福庵の設計に携わるまでの経過、設計にあたってどのようなコンセプトで取り組んだか、どんなところに特徴があるか、完成までの工程、苦労話などをお話しいただく。	
福庵でおもてなし「盆栽ワークショップ～小さな鉢に大きな宇宙『盆栽』を楽しもう！～」	4月	2	30	講義と実技を通して知識を習得。庭や部屋のアクセントとして盆栽を楽しむ。	
市民文化教室 日本舞踊	6月～10月	10	92	9コース 各10回 6月～12月 日本の伝統文化・伝統芸能に触れ、理解を深めるために、入門編として初心者を対象に、福生市文化協会との共催で、市民文化教室(9コース)を実施 コース設定については文化協会との打ち合わせのうえ決定し、講師については、文化協会に加盟している各分野の指導者から決定 市民文化教室への職員の関わりについては、職員は各コースの初回のオリエンテーションと最終回の修了式に参加し、運営は講師と参加者が自らの教室として主体的に関わる。 なお、教室での成果を市民文化祭で発表する。	
市民文化教室 華道	7月～12月	10	67		
市民文化教室 大正琴	8月～10月	10	39		
市民文化教室 民謡	8月～10月	10	77		
市民文化教室 書道	9月～11月	10	114		
市民文化教室 茶道	9月～11月	10	71		
市民文化教室 フラダンス	9月～11月	10	194		
市民文化教室 社交ダンス	9月～11月	10	56		
市民文化教室 着付け	9月～12月	10	128		
ヒロシマ・ナガサキ「原爆と人間」朗読と芝居から感じる時間	8月	1	37		
ヒロシマ・ナガサキ「原爆と人間」パネル展	8月	12	-	「ドイツ平和村をサポートする会」から広島・長崎の被爆後の記録写真のパネルを借用しパネル展を行う。	
大人のリーダー養成講座「私がサークル代表になったら」	9月・12月	4	60	「もしも、わたしがサークル代表になったら、活動をさらに活性化させたい！会員同士の交流の輪をもっと広げていきたい！」と考えている人のための講座。会議の進め方や「場づくり」について学ぶ。	
男子の家庭科～ミンでトートバッグをつくってみよう～	1月～2月	2	6	家庭で役立つ家事を学び、育児に限定せず幅広く生活全般を改善する知識を高め、家庭生活をより豊かにしていく。	
市民歴史講座「戦後福生の文化運動から現在を照らす」	2月～3月	2	24	私たちに身近な歴史・文化を様々なエピソードなどを交えながら「茶室福庵」にて寺子屋風に学ぶ。	
東京空襲資料展	2月～3月	16	-	戦争の悲惨さ、爆撃の破壊力、凄さや恐ろしさを知るとともに、二度とこのような悲劇を繰り返さないために、語り継ぐ機会とする。東京都との共催事業	
市民歴史講座・人権講座「人権の先覚者 千葉卓三郎と五日日市憲法草案の創造」	3月	1	42	明治期に多摩地域で盛んだった自由民権運動を象徴する五日日市憲法草案について、発見者の一人である講師に発見時のエピソードやその後の研究成果などについて講義していただく。	
市民文化講座「自由な福生文化は社会教育が育んだ」	3月	1	29	文化活動を地域で支えた社会教育職員と市民との様々な交流やエピソードを語り現在・未来の福生文化創造へのヒントとする。	
福庵でおもてなし「手ぬぐいの魅力再発見！」	3月	1	32	講師が長年に渡って収集した手ぬぐいや風呂敷の中から、選りすぐりのものを展示し、それにまつわるエピソードを聞く。また、便利な使い方について実演を通して学ぶ。	
「アドラー流コミュニケーション術」～よりよい人間関係の作り方～	3月	1	29	毎日生活していくなかでのコミュニケーションの悩みについて、心の動きや言動に出てしまう無意識を意識して、その解決法を探していく。	

第2章 公民館 10年のあゆみ 3 成人と公民館

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
「知って得する免許返納サポート講座」～家族も一緒に考えよう～	3月	1	14	近年、全国各地で相次ぐ高齢ドライバーの事故。運転手が自らの運転能力の異変に気付くにはどのようにすればいいのか、運転を気持ちよく円満に卒業してもらうためにどうすればいいのか、対策案やすぐに使える方法を学ぶ。	本館
「平和のために見つめよう、あの時、そして今」～東京空襲からシリア空爆～	3月	1	20	東京空襲展示を観て、「戦争は過去のこと、今日本は平和で戦場が無くても良かった」と自己完結してしまうのではなく、現在も戦争で苦しむ人々がいることを知るため、戦争状態にあるシリアの現状を知る話を聞く。	
市民が語る平和事業「戦争中の子どもたちのうた」	3月	1	18	戦時中の時代背景を知るため、当時小学生だった市民の方に音楽を切り口に語っていただく。軍歌のみが許されていた印象があるが実はそれだけではなかったことについて、曲を聴きながら解説し、当時の子どもたちの様子を探る。	
DV防止啓発講座～人へのやさしさ思いやり～	3月	2	8	DVの現状を知り、身近に当事者などがいた場合、行動の原動力となるような何か役に立てられる情報やヒントを得ることとする。	
多文化共生講座「やさしい日本語でグローバルコミュニケーション」	3月	1	28	外国人を支援する日本人側には、外国人の母国語ができない限りコミュニケーションもできないという先入観や誤った固定観念を持っている人も多い。多言語化の対応も大切であるが、「やさしい日本語」での情報提供が、いざというときのコミュニケーションとして役立つことを実感する講座	
多文化クッキング&トーク「ベトナム編」	3月	1	21	福生市在住の外国人の方に祖国の料理を教えていただき、共同作業で調理し、一緒に食事を取りながら、食文化を初めとした祖国の文化や現在の状況、日本(福生)に住んで感じていることなどを聞いて、相互理解と交流の促進を図る。	
スマホ活用術！～フェイスブックとツイッターをやってみよう～	3月	3	17	たとえ寝たきりになっても交流することが可能なSNSの使用方法を身につける。高齢者がインターネット文化に触れる機会の充実を図り、気軽なネットワークづくりの手段として使われているSNSを学び、まちづくりの拠点として市民間の新しいネットワークづくりに努める。	
学ぶ楽しさ再発見「史記を読む講座～故事成語の由来をたずねて～」	5月～6月	4	47	司馬遷による古代中国の歴史書「史記」を読み、故事成語の由来やエピソードを尋ねる。	松林
18歳選挙権始まるよ～！！選挙に行くってどういうこと？	6月	1	16	「今の18歳はどのように政治を学んでいるのか」「選挙に行くってどういうこと？」という基本のことを学んでいく。	
山の日制定記念講演会「奥多摩の山々」	6月	1	68	平成28年から制定される「山の日」を記念して、奥多摩の山々を題材に、山岳講演会を開催する。	
松林サマワークショップ「ふくろうのブローチを作ろう」	7月	1	15	松林分館が贈る、夏のワークショップ。ふくろうのブローチがネックレスを作る。	
地域デビュー講座①「好きを見つけて地域に出よう！～消しゴムはんこ～」	7月～8月	3	29	公民館でサークル活動をしなが、実際に地域でボランティア等で活動されている方を講師に迎え、その技を習得し、地域デビューを目指す。消しゴムはんこ編	
地域デビュー講座・地域デビュー①「消しゴムはんこ教室」②「シュロの葉っぱ工作」③「パルーンで遊ぼう」2回	8月・10月・3月	4	117	公民館でサークル活動をしなが、実際に地域でボランティア等で活動されている方を講師に迎え、その技を習得し、地域デビューを目指す。	
二人の戦争体験者に聴く～学徒出陣と機銃掃射攻撃	8月	1	42	神宮外苑で行われた学徒出陣壮行会で、2万5千人の学徒を見送った方、また旧陸軍多摩飛行場で勤労奉仕の最中に機銃掃射攻撃を受けながらも一命を取り留めた方の体験談を聴く。	
地域デビュー講座②「好きを見つけて地域に出よう！～シュロの葉っぱでバツを作ろう～」	9月～10月	3	27	公民館でサークル活動をしなが、実際に地域でボランティア等で活動されている方を講師に迎え、その技を習得し、地域デビューを目指す。シュロの葉っぱ使ったバツ作りを学ぶ。	
平和なとき(平和に関する絵本の朗読)	10月	1	30	だれでもなんでも展における、松林分館主催の絵本の読み聞かせ	
障害者差別解消法講座	11月	1	14	障害をお持ちの講師から、障害者差別解消法が制定された背景、さまざまな社会の障壁(バリア)や差別の現状等を語っていただき、この法律をどのように差別解消に役立てていくか参加者と共に考える。	
松林ウィンターワークショップ「みんなで作ろう！クリスマスリース」	11月	1	24	松林分館が贈るワークショップ。ローズマリーを使ったクリスマスリースを作る。	

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催
伝統文化講座「世界にひとつの つるし飾りを作ろう」	11月～2月	5	53	日本の伝統文化、つるし飾りを楽しむ。一つひとつの細工の意味を学びながら、一針一針思いを込めて一本のつるし飾りを作る。	松林
すぐ目の前にある子どもの貧困 問題	12月	3	27	子どもの貧困をテーマに、貧困に起因する背景や現状、課題、対策などを探る。	
地域デビュー講座③「好きを見 つけて地域に出よう！～パルー ンの達人になろう♪～」	1月～2月	4	32	公民館でサークル活動をしながら、実際に地域でボランティア等で活動されている方を講師に迎え、その技を習得し、地域デビューを目指す。パルーンアートを学ぶ。講座で学んだ技を地域で披露する。	
地域福祉講座「あなたの老後は ホントに大丈夫？」	2月～3月	3	59	高齢者の権利擁護と成年後見制度をとおして、その現状や課題に迫る。	
防災講演会「生き残るために必 要なこと」	2月	1	24	東日本大震災当時福島県新地町の公民館長をされていた齋藤氏から、震災時やその後の復興状況等のお話を聞き、災害が起きた際に命を守るための心構えなどについて考える。	
多文化共生とまちづくり	2月	1	10	多文化共生を専門とする先生をお招きし、多文化共生とは何か、具体例から現状や課題についてお話をうかがう。	
平和ロビー展「3.10東京大空襲」	3月	1	-	3月10日は、72年前に東京が大空襲を受けた日。パネル写真により改めて命の大切さ、平和の尊さ、そして戦争の悲惨さ・愚かさを感じ取っていただく。	白梅
白梅歴史懇話会(熊川の歴史)	4月・ 6月～7月・ 9月～3月	10	288	熊川の昔を、当時を知る古老にうかがいながら、地域の移り変わりや人々の暮らしの変化について懇話的に話し合う。	
白梅平和映画会「おこりじぞう」 「象のハナ子」	7月	1	24	「おこりじぞう」「象のハナ子」の2本の映画を見て、平和について考える。	
初心者パソコン教室「Word& Excel」	8月	2	28	初心者の方を対象に、パソコンの基本的な使い方を学ぶ講座。文書の入力やグラフの作成などを行う。	
熊川分水に親しむ講座	9月～10月	4	40	市内を流れる熊川分水の成り立ちとその役割について「熊川分水に親しむ会」の協力のもと、分水の魅力を再発見するために話し合う。最終日にフィールドワークを行い、それまで学んだ熊川分水を実際に歩き理解を深める。	
金工作教室	2月	6	34	インテリアとしてぴったりのコーナーランプを、銅板を使って製作する。	
人権講座「子どもの心に寄り添 うために」	2月	1	7	悩みを抱えている児童の言葉と気持ちに寄り添うために、何を考え、どんな行動をするべきか。安心して意見や悩みを話せる環境づくりを考える。	
大人のための食育講座「手作り 味噌を作ろう」	2月	2	26	味噌づくりの実践と味噌をはじめとした発酵食品について学ぶ。	
人生の終い方講座「最後まで自 分らしく生きるために」	2月	1	28	終末期医療の現状と課題を学び、より良く生きるための選択の糧にしていく。	
公民館講座「公民館 はじめの 一歩 もう一歩」	3月	3	21	公民館の役割やサークル活動の楽しさ、豊かさについて、わかりやすい解説と事例を交えながら懇話的にすすめていく。	
心の健康講座「元気な心の保ち 方」	3月	1	5	心の健康に関する基礎的な知識とともに、身近にある「心の疲労」との付き合い方、心が疲れてしまった人との接し方について学ぶ。	
白梅書道教室	3月	5	80	かな習字を習う。パソコンの文字とは違う手書きの温かさを感じ、また講座を通して地域の仲間を増やす。	
la・la・laだっこdeうたおう♪わら べうた♪	10月～11月	4	30	赤ちゃんを抱っこしたまま、わらべうたを唄い、同世代の子育て中の親子の交流を図る。また、保健師も同席して、健康相談やアドバイスも行う。	松林
ママギョとして！～親子でヨガ ～	3月	3	47	親子でヨガをしながら日頃の緊張をほぐして、心と体を開放する。幼少期だからこそ親子の絆を作るための、子育て中のお母さんと子どもたちのための講座	

## 4 高齢者と公民館

### 1 高齢者対象事業の歴史

高齢者対象事業として公民館3館で「生きがいひろば」が実施されている。各館で特色ある講座を行っており、その活動の成果を発表する場として3館合同の「人生うたい語りのつどい」を毎年12月に市民会館小ホール（つつじホール）で実施している。

公民館における高齢者対象事業の歴史は、昭和55（1980）年から準備会をスタートし、翌年「語らいのひろば」が公民館3館と扶桑会館の4コースで開催した。

平成2（1990）年には市制20周年事業として寿市民ひろばが実行委員会方式で実施され、人生うたい語りのつどいで締めくくる基本型ができあがった。

寿市民ひろばは、市民創意による「ふるさと福生づくり」を基本目標として、人生80年時代を迎え「高齢期を社会の一員（担い手）として、楽しく元気に生きられるまち福生」を目指し、高齢期の自己実現・生活づくり及び健康づくりをすすめる市民の活動と公民館

との共催事業として開催し、多数の高齢者市民（関心のある若い世代を含む）の参加を得て、高齢期の生きがいのある生活・活動づくりへの広がりとなるよう実施することである。

平成24（2012）年度からは事業名を「生きがいひろば」に変更し現在に至る。

### 2 ここ10年の各館の実施状況

寿市民ひろばは平成2（1990）年度から実行委員会方式で開催されてきたが、平成19（2007）年以降、実行委員会は開催されていない。平成19（2007）年から平成22（2010）年にかけて「人生うたい語りのつどい準備講座」を白梅分館で実施してきた。

本館では合唱（童謡・唱歌）コースをサークル「若葉コーラス」との共催により毎年実施し、若葉コーラスは通年で活動を行っている。「寿市民ひろば（生きがいひろば）」から自主活動化したサークルはほかにもあり、現在も活動を継続しているサークルは、本館では「おりがみ雅」、松林分館では「さつきひ



人生うたい語りのつどい 本館合唱コース 平成23（2011）年12月9日

ろば」、「手話ダンス さんぼ」、「Mayurise POPS(まゆりーず ぼっぷす)」、「松林太極拳」、白梅分館では「コール白梅」、「熟年ひろば」、「うたごえ喫茶しらうめ」があげられる。

松林分館「さつきひろば」や白梅分館「熟年ひろば」の自主活動化に伴って、さまざまな社会的な課題を考えたり、いろいろな種目に挑戦したりするコースは減少し、本館でも「寿市民学びの舎」が平成22(2010)年度までの実施となり、以降は合唱やエッセイといった単一種目活動や製作活動が主なコースとなっている。

平成24(2012)年度から平成28(2016)年度の5年間では、本館が合唱(童謡・唱歌)と製作の2コース、松林分館が演劇と製作の2コース、白梅はエッセイ等の1コースを実施している。

12月には市民会館小ホール(つつじホール)にて「人生うたい語りのつどい」を開催し、3館それぞれの「寿生きがいひろば」の活動成果として演劇コースの舞台発表と製作コースのロビー展示を一斉に行い、フィナーレの位置付けとなっている。

### 3 今後の展望

平成30(2018)年1月現在では、福生市総人口58,384人に対して、65歳以上の高齢者は14,780人である。福生市の高齢者比率は25.3%であり、4人に1人以上が高齢者という超高齢社会を迎えている。このことが年金や医療、介護をはじめとする日本の社会保障制度の存続に大きな影響を及ぼしていることは議論を要しない。

人生100年時代と言われる今日、今一度、「寿市民ひろば」の目標である「高齢期を社会の一員(担い手)として、楽しく元気に生きられるまち福生」を目指し、高齢期の生きがいのある生活・活動づくりへの広がりとなるよう、市民の創意と協働による「ふるさと福生づくり」を目指して、事業を展開していきたい。



寿生きがいひろば うたごえ喫茶白梅 平成23(2011)年11月24日

平成19(2007)年度 高齢者対象講座

講座名		実施期間	回数	人数	内容	主催
寿市民ひろば	童謡・唱歌のひろば	9月～12月	8	205	童謡や唱歌を楽しく歌う。	本館
	寿市民学びの舎	9月～11月	7	110	脳のトレーニング、調理実習、自分史、館外研修を行う。	
	熟年ひろば	9月～1月	8	310	ゲーム体操や懐かしい思い出の曲を口ずさんだり、身近な話題を学習する。	白梅
	人生うたい語りのつどい準備講座	10月～12月	5	138	趣味やレクリエーションを通じ、生きがいづくり活動の場を広げる。(朗読とコーラス)	
ヨガ健康講座		9月～12月	12	116	ヨガを通して仲間づくりや心身の健康を図る。	松林
初心者デジタル画像編集講座(前期)		9月～10月	5	29	デジカメで撮った写真へ文字入力や画像の合成を行う。	白梅
初心者デジタル画像編集講座(後期)		1月～3月	5	27	デジカメで撮った写真を加工して楽しむ。	
人生うたい語りのつどい&名曲コンサート2007		12月	1	260	寿市民ひろばの発表と、プロのオペラ歌手による「名曲コンサート」	3館

平成20(2008)年度 高齢者対象講座

講座名		実施期間	回数	人数	内容	主催
寿市民ひろば	童謡・唱歌のひろば	9月～12月	9	234	童謡や唱歌を楽しく歌う。	本館
	寿市民学びの舎	9月～12月	6	96	環境問題を視野に入れた学びや、市内にある茶室「福庵」などで、日本の和の文化を楽しむ。また日本の政治の中核である国会や裁判所を見学する。	
	生きがいひろば	9月～11月	8	159	ゲーム体操や懐かしい思い出の曲を口ずさんだり、身近な話題を学習する。	白梅
	人生うたい語りのつどい準備講座	12月	2	21	趣味やレクリエーションを通じ、生きがいづくり活動の場を広げる。(コーラスグループ合唱練習)	
ヨガ健康講座		8月～11月	12	134	ヨガを通して仲間づくりや心身の健康を図る。	松林
ヨガ健康講座パート2		2月～3月	8	88	ヨガを通して仲間づくりや心身の健康を図る。	
初心者デジタル画像編集講座		10月～12月	11	100	デジカメで撮った写真を加工して楽しむ。	白梅
人生うたい語りのつどい&名曲コンサート2008		12月	1	200	寿市民ひろばの発表と、プロのオペラ歌手による「名曲コンサート」	3館

平成21(2009)年度 高齢者対象講座

講座名		実施期間	回数	人数	内容	主催
寿市民ひろば	童謡・唱歌のひろば	9月～12月	9	309	童謡や唱歌を楽しく歌う。	本館
	寿市民学びの舎	9月～12月	8	152	ゴム印づくりや「大人のぬり絵」、調理実習、市のバスを使用した視察研修を行う。	
	生きがいひろば	9月～10月	4	43	ゲームや体操、健康で安全・安心な暮らしづくり、また過去の悲惨な戦争について講師の話聞きながら学習する。	白梅
	謡曲講座「高砂」	8月～11月	8	81	能の一部で、祝言や長寿の祝いのときに謡われてきた古典芸能である謡曲の歌詞を覚え、謡うことで、脳の活性化や健康維持を図る。	
ヨガ健康講座09		9月～12月	15	160	ヨガを通して仲間づくりや心身の健康を図る。	松林
自然講座「デジカメで草花を撮ろう！入門編」		7月	5	79	身近な草花を自分のデジタルカメラで撮る。小学校の校庭の草花を撮って、子どもたちの植物観察の案内板を作る。	白梅
写真で見るまち再発見講座		8月～3月	8	58	福生の風景や人々の生活などを写真におさめ、「まち」の再発見をする。	
人生うたい語りのつどい&名曲コンサート2009		12月	1	250	寿市民ひろばの発表と、オペラ歌手を招いての「名曲コンサート」	3館

## 平成22(2010)年度 高齢者対象講座

講座名		実施期間	回数	人数	内容	主催
寿市民ひろば	童謡・唱歌のひろば	9月～12月	10	361	童謡や唱歌を楽しく合唱する。	本館
	寿市民学びの舎	9月～12月	8	146	「世界の名画のぬり絵」を作成する。	
	生きがいひろば	9月	4	16	高齢者が長い人生を歩んできて、今までの人生でどのような生き方(生活)をしてきたかを振り返る。	白梅
	人生うたい語りのつどい準備講座	11月～12月	6	219	「生きがいひろば」講座の中から選んだ話と、スクリーンに写す福生の原風景、童謡などコーラスのコラボレーションで、今年の「人生うたい語りのつどい」のテーマ＝村から町へ 町から市へ 語り継ぎたい暮らしと自然＝を表現する。	
ヨガ健康講座		9月～12月	15	148	ヨガを通して健康づくりをする。	松林
写真で見るまち再発見講座		4月～9月	7	32	普段見慣れている「まち・ふっさ」を写真にすることにより、「ふっさ」の特色や人々の生活など新しい発見をする。	白梅
人生うたい語りのつどい		12月	1	200	公民館活動の発表会	3館

## 平成23(2011)年度 高齢者対象講座

講座名		実施期間	回数	人数	内容	主催
寿市民ひろば	「合唱コース」	9月～12月	8	316	童謡や唱歌を楽しく歌う。	本館
	「折り紙コース」	9月～12月	8	136	子どもの頃に折った折り紙にもう一度挑戦する。まずは折り図の読み方から学ぶ。	
	生きがいひろば「うたごえ喫茶しらうめ」	10月～12月	8	147	時代を共に生きた証を曲にのせ、歌い、語りあう。	白梅
介護予防講座		1月	2	60	介護予防、生活習慣について考え、学習し、寝たきりにならないよう身体の動かし方を実習する。	本館
初心者ハンドベル教室		10月～12月	8	79	素敵な音色を奏でるハンドベル。聴くだけにとどまらず、演奏をしてみる。	松林
人生うたい語りのつどい		12月	1	215	公民館各館の高齢者対象事業の発表の場、市民の集う場として毎年開催	3館

## 平成24(2012)年度 高齢者対象講座

講座名		実施期間	回数	人数	内容	主催
生きがいひろば	合唱コース	9月～12月	9	437	童謡や唱歌を楽しく歌う。	本館
	ちぎり絵コース	9月～12月	8	138	和紙によるちぎり絵の制作を行う。	
	初心者手話ダンス講座	10月～12月	12	104	歌詞の内容を手話で表現しながら、曲に合わせたステップで踊る。	松林
	飛び出すカード作り入門講座	11月～12月	5	43	カードを開くと中の仕掛けが立体的に飛び出すカードを作る。誕生日カードやクリスマスカードを作る。	
	あなたのお話、書いて語ってみませんか	9月～12月	12	97	自分の体験談や失敗談、昔話などを掘り起こし、自分の声で表現する。	白梅
人生うたい語りのつどい		12月	1	200	公民館各館の高齢者対象事業の発表の場、市民のつどいの場として毎年開催	3館

第2章 公民館 10年のあゆみ 4 高齢者と公民館

平成25(2013)年度 高齢者対象講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催	
寿 生 ろ き ば が い	合唱コース	9月～12月	8	359	童謡や唱歌を楽しく歌う。	本館
	折り紙コース	9月～12月	7	89	季節の折り紙を作成することで、その時々を季節を感じて、楽しみながら製作を行う。	
	楽しくミュージカル曲を歌おう	7月～12月	15	315	軽いステップなどを取り入れ楽しく歌う。発声練習から学んで英語の曲にも挑戦する。	松林
	稲穂でつくる縁起物	11月	3	34	お正月に向けて、今は珍しくなってしまった稲穂を使い、縁起物の亀や来年の干支の馬を作る。	
	エッセイでとどめたい「私」の歴史	9月～12月	9	66	「私」の歩んできた人生の1ページをエッセイに綴る。	白梅
人生うたい語りのつどい	12月	1	200	公民館3館でそれぞれ歌や語りなどの学習をし、その成果を発表する。	3館	

平成26(2014)年度 高齢者対象講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催	
寿 生 ろ き ば が い	合唱コース	9月～12月	8	355	童謡や唱歌を楽しく歌う。	本館
	消しゴム版画コース	9月～12月	8	59	消しゴムでマイスタンプを作り、オリジナル絵はがきを作る。	
	フラメンコを踊ろう	7月～12月	15	119	音楽に合わせて楽しく優雅に踊ることで、姿勢を美しく保ち、男性も女性も見たい年齢マイナス5歳を目指す。	松林
	わら細工を楽しむ	11月	4	37	日本の伝統文化、日本人の技を使ってわら細工を楽しむ。縁起物の鶴や亀などを作る。	
	エッセイ入門教室	9月～12月	10	81	普段何気なく過ごしている日常の一コマをエッセイに綴る。	白梅
人生うたい語りのつどい	12月	1	180	寿生がいろはに参加した各館の参加者が一同に集い、合同で歌や踊り、エッセイなど発表する。	3館	

平成27(2015)年度 高齢者対象講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催	
寿 生 ろ き ば が い	合唱コース	9月～12月	8	337	童謡や唱歌を楽しく歌う。	本館
	はがき絵コース	9月～12月	8	73	はがきに新聞記事やカラーシールなどを貼って、オリジナル絵はがきを作る。	
	太極拳にチャレンジ	7月～12月	12	133	健康法として取り入れている楊名時太極拳に挑戦する。	松林
	わら細工を楽しむ	11月～12月	3	25	日本の伝統文化でもあるわら細工を作る。他の自然素材を生かした作品にも挑戦する。	
	エッセイ入門教室	9月～12月	10	94	普段何気なく過ごしている日常の一コマや「私」の歴史をエッセイに綴る。	白梅
白梅合唱教室	9月～11月	8	218	白梅分館で活動しているコール白梅の皆さんと共に、歌う喜びを分かち合う。	白梅	
人生うたい語りのつどい	12月	1	182	寿生がいろはに参加した各館の参加者が一同に集って、合同で歌や踊り、エッセイなど発表する。	3館	

平成28(2016)年度 高齢者対象講座

講座名	実施期間	回数	人数	内容	主催	
寿 生 ろ き ば が い	合唱コース	9月～12月	7	329	童謡や唱歌を楽しく歌う。	本館
	大人のぬりえコース	9月～11月	8	102	本格的なぬりえにチャレンジする。集中力を高める細かい作業をすることで、脳のトレーニングになる。	
	生誕120周年記念 宮沢賢治を詠む会	9月～11月	8	130	宮沢賢治の作品に親しみながら、朗読の技法を学ぶ。	松林
	押し絵を学ぶ	11月～12月	4	53	壁飾りや羽子板に使われる「押し絵」の伝統的な技術を学び、作品づくりに挑戦する。	
	エッセイ入門教室	9月～12月	8	46	普段何気なく過ごしている日常の一コマや「私」の歴史をエッセイに綴る。	白梅
人生うたい語りのつどい	12月	1	156	寿生がいろはに参加した各館の参加者が一同に集って、合同で歌や踊り、エッセイなど発表する。	3館	

## 楽しい出会いで人生充実

若葉コーラス 山本 節子

この度は公民館開館40周年おめでとうございます。

私の公民館デビューは60歳の定年を迎えたときでした。定年と同時にこれからの日常全部が自由に使える時間となったとき「さあ、これから何をしましょうか」とワクワクしてきました。

広報ふっさは隅から隅まで目を通すようになり、公民館本館の企画や講座（ハーモニカレッスン、調理実習、コーラスサークルの加入など）、体育館での体力強化講座に参加するようになりました。また、福祉センターではフラダンスの稽古など、時間の許す限りあちらこちらと出向いております。



60歳はまだまだ若いです。先も長いです。ここで自分に合った趣味を見つける事ができたとしたら、その後は良き仲間と共に充実した人生を送ることができるでしょう。そのためにも公民館の果たす役割は大きいと思います。

公民館は現在、子育て世代と熟年世代が活躍していると思います。

公民館で、子育て世代には若い親同士がつどって子育ての悩みや楽しさを共有し合い、子どもたちを健やかに育ててほしいですし、定年を迎えた人たちにはそこから人生の楽しみ、生きがいの一つ二つと見つけて活動してほしいです。

これからの公民館は多くの人たちに興味・関心を持ってもらえるようなアイデアや企画を打ち出して、楽しいサークルを増やし、元気で充実した人生を歩める市民が増えるよういっそう大切な役割を担っていくことでしょう。

今後の公民館のますますの発展をお祈りいたします。

## 私と公民館 ～ありがとう公民館～

阪田 いさ子

初めて公民館に足を運ぶようになったのは、昭和37年。夜間に開かれる地域の青年学級から始まった。

私の住んでいた栃木県足利市は、各地方の集団就職者がたくさんいて、学級は岩手、山形、宮城、福島などのお国訛りが入り混じりとても賑やかだった。

クラスは四科に分かれていた。普通科は国語や社会、一般教養。家庭科は縫物や料理。工業科、商業科。ここで簿記や珠算を習い資格を得る。月に一度ハイキング・フォークダンス・ステレオコンサート等があった。慣れない手つきでガリ版原稿も作り、筆圧が強くて破ってしまい口ウで埋めたり、謄写版機のローラー担当



とめくり担当の息が合わずインクで手を真っ黒にしたり。思い出すと懐かしい。ボランティア活動は、バス停の吸殻拾い、街なかの公衆トイレにお花を飾るなどの活動をした。

それぞれ住み込みや寮生活者が多く、工場主の理解を得て出席する。仕事が忙しくどうしても抜け出せないこともある。そんなときは友達からノートを借りて復習した。辛いこともたくさんあったが、そうして学んだことがその後の人生に大きく役立てることができた。御殿場にある国立中央青年の家で行われた、青年学級全国大会に栃木県代表として参加する機会も得た。

それから三十数年子育てなどで公民館から遠ざかっていた。

縁あって福生に住むようになった。家と会社往復の毎日。マンション住まいだったため、隣近所の人と挨拶をすることなどまったくない。他人と言葉を交わすことなく、気がつくとも十年が過ぎていた。

町会夏祭りのある日、盆踊りの音楽が聞こえてきた。公園を覗いてみると櫓の周りで輪になって踊っている。そこに居合わせた町会長さんと話をしているうちに懐かしさを感じ翌年も参加した。その折、趣味の写真の話で意気投合した。松林分館「だれでもなんでも展」に参加しようと話が盛り上がり、その年のだれでもなんでも展に町会長と夫と3人で出展した。

初めての個人参加のため会場担当者は快く指示してくれた。これが公民館再デビューのきっかけとなった。その後、しの笛を作る講座からスタートし、吹く講座、サークル発足と次々に足を運ぶ回数が増えた。

白梅分館、寿生きがいひろば「人生うたい語りのつどい」エッセイコースは今年で4回目の参加になる。申し込んではみたが、最初は不安で、抜き足差し足忍び足で会場に入った。何をどう書いたらいいのか全く解らない。ましてや、「起承転結」なんて難しい言葉は初めて聞いた。意味が分からず家に帰って調べる。自分の人生を振り返り書いてみたいと

始めたが、なかなか書けたもんじゃない。隔週ごとの全10回。出されたテーマをどのように書いたらいいのかさっぱり解らない。頭がいっぱいいっぱいの毎日だった。

作品の合評を聞いて「ああそうだったのか」と初めて気づく。臼田先生や担当の中根さんに励まされ苦しみながらなんとか1年目は終了した。

2年目、3年目とテーマにもがき苦しみながら、書く楽しみを感じられるようになってきた。多くの人たちに助けられ、今回で4年目。担当も石野さんに代わりただ今進行中。これからも続けていきたいと思っている。

いつの間にか、人の輪が広がり多くの人たちと挨拶を交わすことができるようになっていた。公民館あってこそ、人と人との繋がりができたと思う。今は退職し複数のサークルに参加し、忙しく有意義な毎日を送っている。

残りの人生再び公民館に出会い参加することができ感謝している。これからも体の許す限り足を運ぶことだろう。

「ありがとう公民館」これからもよろしく。

## 5 障がい者と公民館

### 「青年学級にじのはらっぱ」

教育機関である公民館は、市民の学習を保障する場として、サークルが活動する集会室の無料提供、利用者が集う「公民館のつどい」などの実行委員会を立ち上げて市民との協働による事業企画、また乳幼児から高齢者まで多くの市民を対象にした講座やイベントなど多様な主催事業を実施してきた。

そのような中で、公民館主催事業として障害者青年学級「にじのはらっぱ」が開設されたのは、昭和 60（1985）年であった。そのきっかけは、昭和 56（1981）年の国際障害者年であり、障がい者への福祉施策が拡充される中、障害者学級開設に向けて、福生市の関係部署の中で実施主体（担当部署）をめぐり会議がなされ、障害者学級の趣旨やその目的から、公民館が実施主体となり、障害者青年学級「にじのはらっぱ」がスタートした。

その経緯については、過去の公民館紀要や 10 年ごとの記念誌等にも記載されておりである。



にじのはらっぱ開設 30 周年記念行事から

### 1 「にじのはらっぱ」の目的

平成 26（2014）年度には「にじのはらっぱ」開設 30 周年記念行事を実施した。

現在、33 年が経過するが、開設当時どのような思いでこの事業を立ち上げたのか、今改めて「にじのはらっぱ」の目的をここに掲げてみる。

なぜなら、その目的・理念は今も変わることなく現在にまで引き継がれ、その目的に沿って活動が維持されているからである。

その目的は、

- ①障がい者に対する社会の差別や偏見、無理解を解消し、誰もが地域の大切な一員として共に生きていく「共生の社会」を目指し、
- ②社会性・人間性を育み、集団の中で学びあい、共に育ちあう関係を豊かに作り、
- ③学級生の生きがい・自分らしさが表現できる居場所を確保することである。

### 2 「にじのはらっぱ」のあゆみ

開設当初（昭和 60 年）は、講師である学校の障害者学級の先生・福祉作業所の職員、スタッフ、担当職員、そして学級生といったメンバーでスタートした。その頃は講師、スタ

ッフ、職員による「運営会議」で学級の企画や運営が行われていた。

昭和 63（1988）年からは学級生を中心とした学級運営へと変ってきた。これは学級生から運営委員を募り、「学級生運営委員会」を立ち上げ、学級生が中心となり自らプログラムを企画し（「学級生企画」）、運営をしていくものであり、

自らの活動を主体的に考え、行動する場であった。

しかし、平成11(1999)年には学級生企画は消滅する。その背景には運営委員会のマンネリ化やプログラムの企画運営委員の負担、学級生を支えるスタッフ・ボランティアや職員体制の変化などもあった。

学級生企画が無くなった後は、スタッフ・ボランティアと共に企画運営に関わってもらい、一緒にプログラムを作りあげ、学級を盛り上げていくことになる。

年間の学級活動のスローガンを掲げて、学級を構成する一員として、一人ひとりが主役ということで学級を運営していくスタイルで現在に至る。

### 3 「にじのはらっぱ」の活動

活動については、例年5月の開級式から翌年3月の閉級式まで、月に2回、日曜日に行っている。回数にすると年に約20回前後である。

以前は、ロードレース、弁論大会(四市合同)、音楽創作活動(にじのはらっぱの歌作成)、多摩川河川清掃、プチギャラリーでの作品展示会なども行っていたが、ここ数年は調理活

動、制作活動、ダンス活動、ボウリング大会、館外活動、小さな旅、防災訓練、合宿(年1回)、プログラムの話し合いやまつり等の地域活動に参加している。

地域活動への参加については、福生市の行事である「ふっさ七夕まつり民踊パレード」に毎年参加している。地域活動に参加することは、自分たちの存在を市民に知ってもらいだけでなく、市民の障がい者に対する理解を深める場として大変意義深く、障がい者も健全者も誰もが、共に地域で暮らす共生のまちをつくりあげていくことにもつながっている。同様の趣旨で青少年健全育成地区委員長会主催の「軽スポーツ&とん汁会」にも参加し、イベントを楽しみ、地域住民との交流を深めている。

また、創作活動では、公民館サークルのメンバーが講師となり、サークルと交流を図りながら作品を作り、その成果を市民文化祭や本館まつりで発表している。

以前は年に2回実施していた合宿は年1回、ここ数年は9月に実施している。寝食を共にし、集団で過ごす中で個人の新たな発見や集団としての規律や社会性、生活習慣を学ぶ機会として実施している。学級生が楽しみにしている事業でもある。

他市の障がい者学級との交流は、当初は羽村市、あきる野市、青梅市との4市合同で学級生同士の交流が図られていたが、現在は羽村市とあきる野市との「三市合同」で、それぞれの市(学級)企画運営で年3回実施し、



平成19年度 民踊パレード参加(ちゅうりっぶハウス前にて)

3市の学級生の交流を広げている。

活動回数は、年に20回前後で10年が経過する中でさほど変化は無い。参加者数は10年前が459人に対し10年後の現在は266人と193人下回る。10年前の1回あたりの参加人数は21.9人に対し、10年後の参加人数は14.8人となっている。いずれも在籍人数の減が要因となっている。逆に参加率については人数が減っている分、10年前の42.0%から10年後の49.3%へと7.3%の増となっている。

(10年間の実施状況については、「プログラムまとめ」を参照。)

#### 参加者の延べ活動回数の推移

年度	H19	H20	H21	H22	H23
参加者数(人)	459	433	397	354	331
活動回数(回)	21	21	21	21	21
1回当たり参加人数(人)	21.9	20.6	18.9	16.9	15.8
参加率(%)	42.0	43.9	45.0	36.6	38.4
年度	H24	H25	H26	H27	H28
参加者数(人)	298	314	316	286	266
活動回数(回)	19	20	20	18	18
1回当たり参加人数(人)	15.7	15.7	15.8	15.9	14.8
参加率(%)	46.1	43.6	42.7	46.7	49.3

#### 4 10年のながれ～学級生、スタッフ、職員の変遷・推移からみる課題

ここでは、学級活動の主人公である学級生及び学級に携わったスタッフ・ボランティア、そして職員の変遷・推移について述べる。

##### (1) 学級生

学級生の在籍数であるが、10年前(平成19年度)は27人であったが、平成28(2016)年度の在籍数は21人となり、6人減っている。

これは、施設やグループホームへの入所、転出、身体的状況、高齢化などがあげられるが、果たしてそれだけであろうか。学級生の

内面的な心理も職員としては考察していかないといけない。

その背景には、活動のマンネリ化、慕っていたスタッフ・ボランティアがいなくなったこと、職員の短期異動等があり、本音で言い合える対人関係を構築することが難しくなってきたのではないかと推察される。

#### 学級生在籍数と平均年齢の推移

年度	H19	H20	H21	H22	H23
参加人数(人)	27	27	26	22	22
平均年齢(才)	34.3	35.3	36.5	36.6	37.1
年度	H24	H25	H26	H27	H28
参加人数(人)	21	21	22	23	21
平均年齢(才)	37.8	38.8	39	39	39.8

次に学級生の平均年齢であるが、10年前は平均年齢が34.3歳であったのに対し10年後は39.8歳である。基本的に学級生は継続して参加しているので、10年が経過すれば単純に44.3歳であるのに対し、4.5歳下回る。これは、学級生の在籍数が減る中で、若年の学級生が参加したことによる。とはいえ、学級生の高齢化は進んでいる。

##### (2) スタッフ・ボランティア

スタッフ・ボランティアの在籍人数に関しては、25人から9人へとなんと16人の減となっている。

#### スタッフ・ボランティアの在籍数と平均年齢の推移

年度	H19	H20	H21	H22	H23
参加人数(人)	25	20	16	24	19
平均年齢(才)	32.8	35.5	38.9	34.9	37
年度	H24	H25	H26	H27	H28
参加人数(人)	13	15	15	11	9
平均年齢(才)	42.2	41.6	41.2	48.7	56.9

10年前に在籍していた若手・中堅と言われるスタッフ・ボランティアの人数が減ってしまった。現在は常時6人前後の少人数で対応している厳しい状況がある。

スタッフ・ボランティアの平均年齢は、10年前が32.8歳に対し、10年後には56.9歳である。

これは、若手・中堅のスタッフが辞めていくなかで、高齢のスタッフが残されてしまった状況と言える。スタッフ・ボランティアの深刻な高齢化問題である。

### (3) 職員

職員体制については、開設当初からの20年は担当職員二人がそれぞれ10年間、継続して関わっていたが、その後、5年の担当となり3年となり、平成24(2012)年度からは2年ごとに担当が変わってきている。

#### 担当職員の推移

年度	H19	H20	H21	H22	H23
担当職員(主)	中根	澤田	澤田	澤田	村社
担当職員(副)	石川	村社	村社	中根	石川
年度	H24	H25	H26	H27	H28
担当職員(主)	村社	笹本	宮野	森田	石野
担当職員(副)	笹本	宮野	森田	石野	西田

単純に担当年数が長ければよいというわけではないが、2年ごとの関わりでは、学級生、スタッフとどこまで対人関係が構築されるのか、あらためて職員体制を考えないといけない。

10年間の変遷の中から、学級生の高齢化、スタッフ・ボランティアの確保、職員体制などの課題が顕著化してきた。

## 5 これからの取り組み

これからのにじのはらっぱの活動に向けては、学級生の高齢化、スタッフ・ボランティアの確保、職員体制、プログラムのあり方などもう一度検討しなおす時期に来ている。



平成26年度 公民館サークルによる絵手紙教室

### (1) プログラム

プログラムについての学級生の関わりであるが、ハイキングの行き先や調理内容などイベント的なことについては学級生から意見をもらい全員で検討している。しかし、年間を通したプログラム全体をみると、今までのものを踏襲し、職員が年間プログラムを企画し、それに沿って活動しているのが現状である。

社会的自立を目指し生活習慣を身に付けるためには、学級生全体が活動日にただ参加するだけでなく、より一層「にじのはらっぱ」の活動に魅力を感じとれるよう、職員・スタッフ・学級生が一丸となって、プログラムのあり方を見直さなければならない。

例えば、自分の考えを主張できる機会を増やすために、以前行っていた弁論大会的なことを再開することも一案である。また、学習会を設置し、今の福祉サービスや福祉の制度などを学び、これからの自分の生活設計を描いていくことも、主体的な学びにつながるのではないだろうか。

### (2) 学級生の募集

学級生の在籍であるが、現在はメンバーが固定化してしまっていて新規の学級生がいない。これは決して好ましいことではない。学級生の家族による「にじの会」や「手をつなぐ親の会」などへの声かけ、近隣の特別支援学校にも出向き、にじのはらっぱの存在をPRし、

卒業生への募集をかけていく必要がある。にじのはらっぱでは、ここ数年在籍人数は 20 人前後で変化は無い。

### (3) スタッフ・ボランティアの確保

学級生の募集活動と共に、若いスタッフ・ボランティアを確保していかなければならない。喫緊の課題である。地元や近隣にある高校、大学等に今まで以上に足を運んで募集活動をしていく必要がある。そして、ボランティア活動のやりがい、スタッフ・ボランティアの存在意義が感じられるように伝えていかなければならない。

## 6 共生の社会を目指して

これから高齢化していく学級生に対してどのような学習支援をしていくのか。学級生のみならず、その親たちも必ず高齢化していく。そうなったとき、にじのはらっぱそのものへの参加が出来るのか、自分一人で通えるのか、また親の介助がなくなった場合、誰がそれを支えてくれるのか。職員、スタッフ・ボランティアだけの協力、支援ではどうにもならな

い。

日常生活を支援するものとして、各種の福祉サービスがあるものの、それだけでは到底対応できない。そこには地域で暮らす住民の理解、協力と支えも必要となる。そのためには、にじのはらっぱの目的の一つである、障がい者も健常者も共に地域で生活していく「共生の社会」を目指して、障がい者に対する差別や偏見、無理解を解消していかなければならない。

障がい者自らが積極的にまちに出かけ、七夕まつり民踊パレードなどの地域活動に参加し、自分たちの存在を周知することが共生の社会につながる。

それを市民に気付かせてくれるのが学級生であり、にじのはらっぱならではの活動なのである。

障がい者も健常者もともに住みよい共生のまちづくりを構築していくためにも、青年学級にじのはらっぱは欠くことのできない公民館事業なのである。



毎年恒例の七夕まつり民踊パレードに参加

プログラムまとめ

平成20(2008)年度 青年学級にじのはらっぱ

回	月日	曜	内容	場所
1	5月18日	日	開級式、担当決め、七夕飾り話し合い	公民館
2	5月25日	日	調理&フリー(七夕飾り作成)	公民館
3	6月15日	日	調理&フリー(七夕飾り作成)	公民館
4	6月29日	日	四市交流ボウリング大会(担当 羽村市)	羽村市
5	7月6日	日	本館まつり 七夕飾り練習	公民館
6	7月27日	日	七夕飾り作成 七夕飾り練習	公民館
7	8月2日	土	民謡ハレード自主練習(10時30分~正午)	公民館
8	8月3日	日	民謡ハレード自主練習(10時30分~正午)	公民館
9	8月8日	金	福生七夕まつり民謡ハレード参加(午後5時ごろから)	福生市内
10	8月24日	日	合宿準備	公民館
11	9月6日	土	合宿 ~7日(日)	静岡県東伊豆町
12	9月28日	日	学級生企画	サンリオピューロランド
13	10月19日	日	四市交流スポーツ大会(担当 あさき野市)	あさき野市内
14	11月2日	日	ロードレースと公園遊び	市内
15	11月16日	日	軽スポーツ&どん汁会に参加	多摩川中央公園
16	12月7日	日	福生観光コースエコウォーク	市内
17	12月21日	日	クリスマスパーティーと室内ゲーム	公民館
18	1月11日	日	餅つき大会と昔あそび	公民館
19	1月25日	日	工作をしよう&写真をとろう	公民館
20	2月8日	日	小さな旅	横浜アンパンマン こどもミュージアム
21	2月22日	日	四市交流弁論大会(担当 青梅市)	青梅市
22	3月8日	日	開級式準備、活動を振り返る(作文・絵)	公民館
23	3月15日	日	閉級式	公民館

平成19(2007)年度 青年学級にじのはらっぱ

回	月日	曜	内容	場所
1	5月20日	日	開級式、活動計画話し合い	公民館
2	6月3日	日	調理&フリー(グループ活動)	公民館ほか
3	6月17日	日	四市交流ボウリング大会(担当 青梅市)、カラオケ	青梅西東京レーン
4	7月1日	日	映画&歌謡・買物(午後から夕方の活動です)	ダイヤモンドシティ
5	7月8日	日	七夕かざり作成、本館まつりで楽しもう	さくら会館、公民館
6	7月22日	日	民謡ハレード練習、七夕かざり作成	公民館
7	7月28日	土	民謡ハレード自主練習(10時30分~正午)	公民館
8	7月29日	日	民謡ハレード自主練習(10時30分~正午)	公民館
9	8月3日	金	福生七夕まつり民謡ハレード参加 (午後5時ごろから)	福生市内
10	8月26日	日	ハーベキュー&川遊び	秋川橋河川公園
11	9月9日	日	にじはらエコウォーク、ゲーム	公民館、市内
12	9月30日	日	小さな旅	NHKスタジアムパーク
13	10月21日	日	四市交流スポーツ大会(担当 羽村市)	羽村市内
14	11月4日	日	ロードレース参加、スポーツ、文化祭見学	競技場、市内
15	11月18日	日	軽スポーツ&どん汁会で楽しもう、やきいも大会	多摩川中央公園
16	12月2日	日	調理&フリー(グループ活動)	公民館ほか
17	12月23日	日	クリスマス会	公民館
18	1月6日	日	合宿準備、書初め、もちつき大会	公民館
19	1月20日	日	合宿準備、工作(粘土)	公民館
20	1月26日	土	合宿(~27日) 宿泊 ホテルエフ	新潟県湯沢町三国
21	2月2日	土	四市交流弁論大会準備(有志)	公民館
22	2月3日	日	四市交流弁論大会(担当 福生市)	市民会館小ホール
23	2月17日	日	学級生企画	河口湖オルゴール館
24	3月2日	日	開級式準備、ボウリング大会	公民館、市内
25	3月16日	日	閉級式	公民館

第2章 公民館10年のあゆみ 5障がい者と公民館

平成22(2010)年度 青年学級にじのはらっぱ

回	月日	曜	内容	場所
1	5月16日	日	開級式 & 年間プログラム話し合い	公民館
2	5月23日	日	ダンス練習 & セタ看板作り①	さくら会館・公民館
3	6月6日	日	ダンス練習 & セタ看板作り②	さくら会館・公民館
4	6月13日	日	バターゴルフをしよう! & 絵を描こう!	昭和記念公園
5	7月11日	日	セタ民謡/パレード練習 & セタ看板作り③	さくら会館・公民館
6	7月25日	日	セタ民謡/パレード練習 & 流しそうめん	公民館
7	8月6日	金	セタ民謡/パレード本番	市内
8	8月29日	日	焼肉・焼きそばパーティー&グループ活動話し合い	公民館
9	9月12日	日	四市交流ハイキング「福生探検ウォークラリー」	福生市内
10	9月26日	日	ダンス練習 & DVD鑑賞	さくら会館
12	10月3日	日	ダンス練習 & 合宿話し合い	公民館
11	10月17日	日	グループ活動「ボウリング」&「動物園」	多摩動物公園 福生市内
13	11月7日	日	四市交流弁論大会(担当 あさる野市)	昭和記念公園
14	11月21日	日	ダンス練習&陶芸作り① ~型づくり~	公民館
15	12月5日	日	ダンス練習 & 合宿話し合い	公民館
16	12月19日	日	合宿	千葉県方面
17	1月16日	日	新春もちつき大会&ダンス練習	公民館・市内
18	1月30日	日	陶芸作り② ~絵つけ~	公民館
19	2月6日	日	ダンス練習 & カラオケ会	公民館・まねぎねこ 公民館 ダイヤモンドボウル
20	2月20日	日	ボウリング & 調理	公民館
21	3月6日	日	ダンス練習 & 来年度に向けた話し合い	公民館
22	3月13日	日	開級式	公民館

平成21(2009)年度 青年学級にじのはらっぱ

回	月日	曜	内容	場所
1	5月17日	日	開級式、中央公園で昼食会(輝きフェスティバル見学)	公民館・中央公園
2	5月24日	日	四市交流スポーツ大会・合宿話し合い①&エコ・ウォーク	公民館・市内
3	6月14日	日	四市交流ハイキング(担当 あさる野市)	昭和記念公園
4	6月28日	日	グループ活動①(調理&セタ飾り補修①)	公民館
5	7月12日	日	グループでセタ飾り練習①、にじはらボウリング大会	公民館 ダイヤモンドレーン
6	7月26日	日	グループでセタ飾り練習②、セタ飾り補修②	公民館
7	8月7日	金	セタ祭り流し踊り本番	市内
8	8月23日	日	合宿準備&四市交流スポーツ大会話し合いなど②	公民館
9	9月5日	土	合宿 ~6日(日)	群馬県渋川市
10	9月27日	日	にじはらハイキング	武蔵丘陵森林公園
11	10月4日	日	四市交流スポーツ大会準備(リハーサル含む)	公民館ほか
12	10月25日	日	四市交流スポーツ大会本番(担当 福生市)	福生第二小学校
13	11月15日	日	軽スポーツ&とん汁会	多摩川中央公園
14	11月29日	日	学級生企画	多摩川中央公園
15	12月6日	日	小さな旅	葛西臨海公園
16	12月20日	日	クリスマス会	公民館
17	1月17日	日	もちつき大会・手話合唱練習	公民館
18	1月31日	日	府中市郷土の森見学(プラネタリウム・博物館など)	府中市郷土の森
19	2月14日	日	男性VS女性、チョコ作りの対決!(チョコ交換)	公民館 福祉センター
20	2月21日	日	四市交流弁論大会(担当 羽村市)	羽村市ゆとろぎ
21	3月7日	日	グループ活動②(調理&工作)	公民館
22	3月14日	日	にじはらスポーツ会&開級式	中央体育館公民館

平成24 (2012) 年度 青年学級にじのほらっぱ

回	月日	曜	内容	場所
1	5月13日	日	開級式、活動計画話し合い(役員など)	公民館4・5集会室
2	5月27日	日	ダンス&市内エコウォーク(写真を撮ろう!)	公民館4・5集会室
3	6月10日	日	ホウリング&DVD鑑賞	さくら会館ホール
4	6月24日	日	ダンス&車いす体験	公民館4・5集会室
5	7月1日	日	民踊ハレード練習①(半日活动)	さくら会館ホール
6	7月22日	日	民踊ハレード練習②(半日活动)	公民館4・5集会室
7	7月29日	日	民踊ハレード自主練習	公民館4・5集会室
8	8月3日	金	福生七夕民踊ハレード参加(夕方~)	福生市内
9	8月26日	日	お弁当づくり & 調理 & 小さな旅の話し合い 午前中は地域の防災訓練に参加しよう	公民館1・2集会室
10	9月9日	日	お弁当づくり & カラオケ	調理室ほか
11	9月30日	日	ダンス、台宿 & 四市交流の話し合い	公民館4・5集会室
12	10月21日	日	ダンス & 紙粘土工作	公民館4・5集会室
13	11月11日	日	小さな旅	多摩動物公園
14	11月18日	日	軽スポーツ&とん汁会、台宿準備	多摩川中央公園
15	12月1日	土	台宿(~2日)	山梨方面が群馬方面
16	12月16日	日	四市交流(担当 羽村市)	羽村特別支援学校
17	1月20日	日	四市交流(担当 福生市)	公民館4・5集会室
18	2月3日	日	四市交流(担当 あきる野市)	あきる野市公民館
19	2月17日	日	ダンス & 手話台唱	公民館4・5集会室
20	3月10日	日	開級式	公民館4・5集会室

平成23 (2011) 年度 青年学級にじのほらっぱ

回	月日	曜	内容	場所
1	5月15日	日	開級式、活動計画話し合い	公民館
2	5月29日	日	DVD鑑賞 & 絵はかき作り	公民館
3	6月12日	日	調理 & 台宿話し合い	公民館
4	6月26日	日	小さな旅(防災研修三地震・煙・シスター)と昭和記念公園で遊ぼう!	立川防災館 昭和記念公園
5	7月3日	日	民踊ハレード練習①(夏期半日活动)	公民館
6	7月24日	日	民踊ハレード練習②(夏期半日活动)	公民館
7	7月31日	日	民踊ハレード自主練習(午前中)	公民館
8	8月5日	金	福生七夕まつり民踊ハレード参加(午後5時ごろから)	福生市内
9	8月28日	日	台宿打合せ(午後から)午前中は地域の防災訓練に参加しよう	公民館
10	9月10日	土	台宿(~11日) 新潟県湯沢町他	新潟県湯沢町他
11	9月25日	日	四市交流スポーツ(担当 羽村市) 羽村動物公園	羽村市
12	10月16日	日	学級生企画 ホウリング & カラオケと映画鑑賞	青梅、昭島
13	11月6日	日	四市交流ハイキング(担当 あきる野市) -- 中止 --	
14	11月20日	日	軽スポーツ&とん汁会で楽しもう	多摩川中央公園
15	12月4日	日	ダンス練習 & 陶芸(成形)	公民館
16	12月11日	日	ダンス練習 & カラオケ	公民館
17	1月15日	日	ダンス練習 & 陶芸(絵付け・釉薬かけ)	公民館
18	1月29日	日	ダンス練習 & 弁論大会準備	公民館
19	2月12日	日	四市交流弁論大会(担当 福生市) (ダンス発表)	公民館
20	2月26日	日	ダンス練習 & 来年度の計画づくり	公民館
21	3月11日	日	開級式	公民館

第2章 公民館10年のあゆみ 5障がい者と公民館

平成25(2013)年度 青年学校にのほらっは

回	月日	曜	内容	場所
1	5月12日	日	開級式、活動計画話し合い	公民館4・5集会室
2	5月26日	日	施設見学	サイエンスドーム 八王子
3	6月9日	日	ダンス & カラオケ	公民館4・5集会室
4	6月23日	日	昭和記念公園を散策しよう!	昭和記念公園
5	7月7日	日	民謡パレード練習 & 合宿話し合い	公民館4・5集会室
6	8月4日	日	民謡パレード練習	公民館4・5集会室
7	8月9日	金	七夕民謡パレード参加	福生市内
8	8月24日	土	合宿(～25日)	山梨県石和
9	9月8日	日	三市交流、クリスマス話し合い DVD鑑賞	公民館4・5集会室
10	10月6日	日	三市交流(担当 あさる野市)	昭和記念公園
11	10月20日	日	ダンス & 制作活動	公民館4・5集会室
12	11月17日	日	軽スポーツ & とん汁会	多摩川中央公園
13	11月24日	日	三市交流(担当 福生市)	公民館4・5集会室
14	12月1日	日	にじはらクリスマス会(調理&プレゼント交換) 小さな旅話し合い	調理室ほか
15	12月15日	日	三市交流(担当 羽村市)	羽村市
16	1月19日	日	ダンス & 室内ゲーム	公民館4・5集会室
17	2月2日	日	小さな旅	立川防災館 昭和文庫記念館
18	2月23日	日	ダンス & 制作活動	公民館4・5集会室
19	3月2日	日	ダンス & 1年間の振り返り	公民館4・5集会室
20	3月9日	日	開級式	公民館4・5集会室

平成26(2014)年度 青年学校にのほらっは

回	月日	曜	内容	場所
1	5月11日	日	開級式、活動計画話し合い	公民館4・5集会室
2	5月25日	日	ダンス&30周年記念事業話し合い	公民館4・5集会室
3	6月8日	日	ゲーム & 制作(昭和記念公園は雨天中止)	公民館4・5集会室
4	6月22日	日	ボウリングに行こう!	新東京ダイヤモンドホール
5	7月6日	日	民謡パレード練習 & 合宿話し合い	福祉センター
6	7月27日	日	民謡パレード練習 & 30周年記念事業準備	公民館4・5集会室
7	8月8日	金	七夕民謡パレード参加	福生市内
8	8月31日	日	防災訓練 & 30周年記念事業準備	公民館4・5集会室
9	9月7日	日	絵手紙を描こう! & 合宿話し合い	公民館4・5集会室
10	9月27日	土	合宿(～28日)	栃木県那珂川郡
11	10月5日	日	ダンス & 30周年記念事業準備	公民館4・5集会室
12	11月9日	日	小さな旅	江戸東京たてもの園
13	11月16日	日	軽スポーツ&とん汁会	多摩川中央公園
14	12月7日	日	三市交流(担当 福生市)	公民館4・5集会室
15	12月21日	日	クリスマス会	調理室・公民館
16	1月18日	日	ダンス&30周年記念事業準備	公民館4・5集会室
17	2月15日	日	三市交流(担当 羽村市)	羽村市
18	2月22日	日	30周年記念事業準備	公民館4・5集会室
19	3月8日	日	開級式 & 30周年記念行事	公民館4・5集会室

平成28(2016)年度 青年学級にじのはらっぱ

回	月日	曜	内容	場所
1	5月8日	日	開級式&活動計画話し合い(半日活动) にじの会①	公民館4・5集会所
2	5月22日	日	三市交流(担当 あさる野市) 昭和記念公園 ※雨天中止	昭和記念公園
3	6月12日	日	ダンス & 草木染め(公民館サークル: 草木染め蒔の会)	公民館4・5集会所
4	7月3日	日	民謡/ハレード練習 & 本館まつの準備・クッキング話し合い にじの会②	公民館4・5集会所
5	7月24日	日	民謡/ハレード練習(半日活动)	公民館4・5集会所
6	8月5日	金	七夕民謡/ハレード参加	福生市内
7	8月21日	日	クッキング & 合宿話し合い	調理室、 公民館4・5集会所
8	9月11日	日	防災訓練 & 小さな旅話し合い	公民館4・5集会所
9	9月24日	土	合宿(～25日)	川の博物館 名栗げんきプラザ
10	10月16日	日	ダンス & 合宿まとめ にじの会③	公民館4・5集会所
11	11月20日	日	小さな旅	智光山公園
12	11月27日	日	三市交流(担当 福生市) (ダンス&合宿)	公民館4・5集会所
13	12月18日	日	三市交流(担当 羽村市)	羽村市
14	12月25日	日	ダンス&クリスマス会	公民館4・5集会所
15	1月15日	日	ボウリング大会	ボウリング場
16	2月12日	日	室内活動 & 一年間振り返り	公民館4・5集会所
17	2月26日	日	クッキング・動画鑑賞	調理室、美術室、視聴覚室
18	3月19日	日	開級式(半日活动) にじの会④	公民館4・5集会所

平成27(2015)年度 青年学級にじのはらっぱ

回	月日	曜	内容	場所
1	5月17日	日	開級式 & 活動計画話し合い(半日活动)	公民館4・5集会所
2	5月24日	日	三市交流(担当 あさる野市) ※雨天中止	昭和記念公園
3	6月14日	日	ダンス & 製作活動(折り紙: 公民館サークル協働)	公民館4・5集会所
4	6月28日	日	本館まつの準備 & 舞台鑑賞	公民館4・5集会所
5	7月5日	日	民謡/ハレード練習(半日活动)	公民館4・5集会所
6	7月26日	日	民謡/ハレード練習 & 活動話し合い	公民館4・5集会所
7	8月7日	金	七夕民謡/ハレード参加	福生市内
8	8月23日	日	クッキング	調理室、 4・5集会所
9	9月13日	日	防災訓練 & 小さな旅話し合い	公民館4・5集会所
10	9月26日	土	合宿(～27日)	東伊豆熱川ハイッ
11	10月11日	日	ダンス & 合宿まとめ	公民館4・5集会所
12	10月25日	日	小さな旅	羽村市動物公園
13	11月15日	日	軽スポーツ & とん汁大会	多摩川中央公園
14	11月29日	日	三市交流(担当 福生市) (ダンス&笑いヨガ: 公民館サークル協働)	公民館4・5集会所
15	12月13日	日	三市交流(担当 羽村市)	羽村市
16	1月17日	日	新春ボウリング & 新年会	近隣のボウリング場
17	2月14日	日	ダンス & 製作活動	公民館4・5集会所
18	2月28日	日	室内活動 & 一年間振り返り	さくら会館ホール
19	3月13日	日	開級式(半日活动)	さくら会館ホール

## 青年学級「にじのはらっぱ」の学級生に感謝

柳 正

「にじのはらっぱ」、何とすがすがしく夢のある名前だろうか。この「にじのはらっぱ」は、障害者青年学級の愛称であることはご存じの通りである。

実は、この名が付けられたのは、遡ること32年前の昭和60年の青年学級が誕生してはじめての夏の合宿のときだったと記憶している。それは、清里高原の清泉寮の前に広がるゆるやかな牧草地の向こう側空一面に綺麗な虹がかかったのです。そのメルヘンの風景を見た女性の学級生から「私たちの学級を“にじのはらっぱ”にしよう」と提案され、この名前が付けられたのです。

私が「にじのはらっぱ」に魅かれ、かかわりを続けているのは“学級生から癒されている”とも言えるからだ。それは学級生の人に対する思いやりや仲間と共に支えあったり、いたわりあったりする、まさに汚れの無い純粹性、いわゆる人間性の豊かさを持ち続けているからだ実感する。毎回の学級活動の彼らのドラマが、私自身の生き方に気づきを与えてくれている。だから学級生に感謝だ。

さて、青年学級「にじのはらっぱ」の前身は、市内中学校の身障学級の教員やそれを支える方々のボランティアで行われていた。その教員たちや保護者が熱心に市へお願いして、公民館の事業となった。昭和60年6月から公民館が障害者青年学級に取り組んで来た意義は大きいと感じる。その理由は、一つに、公民館は学びの場であること。二つ目に、公民館は人と人との出会いの場であるからだ。

誰でも学ぶ権利を有し、その機会が保障されなければならない。そして、人は人の中で育ち生かされている。障害があろうとなかろうと共にふれあう場があることこそ、当たり前前の社会なのである。それがノーマライゼーションの社会であり共生社会実現の一步であるからだ。

私なりに青年学級が公民館に位置づけられたことの重要性に、「ユネスコ学習権宣言」を思い起こす。このユネスコ学習権（1985.3.29 第4回ユネスコ国際成人教育会議）には、次のように綴られている。

「ユネスコ学習権宣言」 1985年3月29日採択（子どもの権利条約をすすめる会訳）

学習権を承認するか否かは、人類にとって、これまでもまして重要な課題となっている。

学習権とは、

読み書きの権利であり、

問い続け、深く考える権利であり、

想像し、創造する権利であり、

自分自身の世界を読み取り、歴史をつづる権利であり、

あらゆる教育の手だてを得る権利であり、  
個人的・集団的力量を発揮させる権利である。

……中略……

もし、わたしたちが戦争を避けようとするなら、平和に生きることを学び、お互いに  
理解し合うことを学ばねばならない。

“学習”こそはキーワードである。

学習権なくしては、人間的発達はありえない。

……以下省略……

今、国では障害者虐待防止法や差別解消法等を整備し、障害者が地域で当たり前の生活  
を営むことが当然である福祉社会いわゆる、誰もが共に暮らす社会＝「共生社会の実現・  
ソーシャルインクルージョン」を目指している。

最後に、障害者青年学級「にじのはらっぱ」が継続されてきた要因は、それを構成する  
学級生はもとより、この事業と学級生を支える公民館職員とスタッフ・ボランティアであ  
ることは言うまでもない。これからも「にじのはらっぱ」が継続されていくことを祈念す  
る一人である。

